

県内経済の動向  
—令和2年3月—

資料編

福岡県

企画・地域振興部調査統計課



# 目 次

◎ 県内経済の動向の変遷 .....	1 ～ 2
--------------------	-------

## 企業部門

### ◎ 生 産

1 鉱工業生産指数（総合） .....	3
2 鉱工業出荷指数（総合） .....	4
3 鉱工業在庫指数（総合） .....	5
4 鉄鋼業 .....	6
5 汎用・生産用機械工業 .....	7
6 輸送機械工業 .....	8
7 四輪自動車生産台数（九州） .....	9
8 化学工業 .....	10
9 食料品・たばこ工業 .....	11
10 所定外労働時間（製造業） .....	12

### ◎ 貿 易

1 輸出通関実績額 .....	13
2 輸出通関実績額の内訳（主要品目別） .....	14
3 主要地域別輸出状況 .....	15
4 輸入通関実績額 .....	16
5 輸入通関実績額の内訳（主要品目別） .....	17
6 主要地域別輸入状況 .....	18

### ◎ 設備投資

1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果） 北部九州の企業における設備投資見込み .....	19
2 建築着工 .....	20
3 『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果） .....	21
4 『九州地域設備投資計画調査』（日本政策投資銀行調査結果） .....	22

### ◎ 企業景況

1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果） .....	23
2 『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果） .....	24
3 『福岡県中小企業動向調査（小企業編）』（日本政策金融公庫福岡支店調査結果） .....	25
4 『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果） .....	26
5 『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果） .....	27

◎ 企業収益	
1 『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）	28

◎ 企業倒産	
1 倒産件数	29
2 倒産負債額	30

## 家計部門

◎ 消費	
1 二人以上世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）	31
2 二人以上世帯サービス支出額（九州）	32
3 小売業販売額（全国、九州・沖縄）	33
4 百貨店販売額	34
5 スーパー販売額	35
6 コンビニエンス・ストア及び専門量販店販売額	36
7 新車登録台数	37
8 新車登録台数の内訳	38
9 延べ宿泊者数	39
10 インターネットを利用した支出状況（九州・沖縄）	40

◎ 雇用	
1 求人・求職状況	41
2 きまって支給する給与	42
3 就業状態	43
4 雇用保険被保険者数	44

## その他関係指標

◎ 住宅投資	
1 新設住宅着工戸数	45
2 新設住宅着工戸数の内訳（利用関係別）	46

◎ 公共投資	
1 公共工事請負額	47
2 公共工事請負額の内訳	48

◎ 物価	
1 消費者物価指数	49
2 企業物価指数	50
3 原油価格とガソリン価格	51

◎	金 融	
1	預金残高（国内銀行）	5 2
2	貸出金残高（国内銀行）	
3	金利（九州・沖縄地銀 2 1 行貸出約定平均金利）	5 3
4	株価の変動	5 4
5	為替の変動	5 5
6	長期国債利回りの変動	
◎	景気動向指数	
1	福岡県の景気動向指数	5 6
2	福岡県の累積動向指数	5 7
◎	地域経済動向の変遷	5 8
◎	日本経済	
○	『月例経済報告』（内閣府）	5 9
○	四半期別 GDP 速報	6 0
○	政府経済見通し（主要経済指標）	6 1
○	海外主要国の経済見通し・日銀の経済見通し	6 2
◎	海外経済	
1	主要経済指標の国際比較（1）	6 3
2	主要経済指標の国際比較（2）	6 4

【県内経済の動向の変遷】

		2019年	2020年
		12月	1月
基 調 判 断		—	—
企 業 部 門	生 産	生産は、振れを伴いつつも、高水準で推移している。	生産は、振れを伴いつつも、高水準で推移している。
	貿 易	輸出、輸入ともに、高水準で推移しているものの、足元で弱い動きもみられる。	輸出、輸入ともに、高水準で推移しているものの、足元で弱い動きもみられる。
	設 備 投 資	2019年度の設備投資は、前年度を上回る見込みとなっている。	2019年度の設備投資は、前年度を上回る見込みとなっている。
	企 業 景 況	企業の業況判断は、製造業を中心に慎重さが増している。	企業の業況判断は、製造業を中心に慎重さが増している。
	企 業 倒 産	倒産件数は、低水準ながらも増加の兆しがみられる。	倒産件数は、低水準ながらも緩やかな増加傾向にある。
家 計 部 門	消 費	消費は、緩やかに増加しているものの、消費税率引上げの影響もみられる。	消費は、緩やかに増加しているものの、消費税率引上げの影響もみられる。
	雇 用	雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。	雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。
そ の 他 関 係 指 標	住 宅 投 資	新設住宅着工は、持ち直しの動きがみられる。	新設住宅着工は、持ち直しの動きがみられる。
	公 共 投 資	公共工事請負額（2019年4～11月計）は、前年度を下回っている。	公共工事請負額（2019年4～12月計）は、前年度を下回っている。
	物 価	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、緩やかに上昇している。 企業物価は、このところ下落テンポが鈍化している。	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、緩やかに上昇している。 企業物価は、このところ横ばいとなっている。
	金 融	10月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。	11月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。
( 参 考 )		株式相場（日経平均株価）は、このところ23,800～24,000 円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ109円台で推移している。 長期金利は、このところ0.1～0.1%の間で推移している。	株式相場（日経平均株価）は、このところ23,300～24,000 円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ109～110円台で推移している。 長期金利は、このところ0.1～0.1%の間で推移している。

		2020年	
		2月	3月
基 調 判 断		<p>福岡県の景気は、海外経済減速の影響がみられるものの、基調としては緩やかに拡大している。県内経済の先行きについては、各種政策効果が発現するなかで、緩やかな景気拡大基調が続くことが期待される。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を注視するとともに、日韓関係の先行き、通商問題や中国等海外経済の動向、金融資本市場の変動の影響、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。</p>	—
企 業 部 門	生 産	生産は、このところ一服感がみられる。	生産は、このところ一服感がみられる。
	貿 易	輸出は、高水準で推移している。 輸入は、弱い動きが続いている。	輸出は、高水準で推移している。 輸入は、弱い動きが続いている。
	設 備 投 資	2019年度の設備投資は、前年度を上回る見込みとなっている。	2019年度の設備投資は、前年度を上回る見込みとなっている。
	企 業 景 況	企業の業況判断は、製造業を中心に慎重さが増している。	企業の業況判断は、製造業を中心に慎重さが増している。
	企 業 倒 産	倒産件数は、低水準ながらも緩やかな増加傾向にある。	倒産件数は、低水準ながらも緩やかな増加傾向にある。
家 計 部 門	消 費	消費は、緩やかに増加しているものの、消費税率引上げの影響もみられる。	一部に弱めの動きがみられる。
	雇 用	雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。	雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。
そ の 他 関 係 指 標	住 宅 投 資	新設住宅着工は、足元で弱めの動きがみられる。	新設住宅着工は、足元で弱めの動きがみられる。
	公 共 投 資	公共工事請負額（2019年4～12月計）は、前年度を下回っている。	公共工事請負額（2019年4月～2020年2月計）は、前年度を下回っている。
	物 価	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、緩やかに上昇している。 企業物価は、このところ横ばいとなっている。	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、緩やかに上昇している。 企業物価は、このところ緩やかに下落している。
	金 融	12月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。	1月の金融機関の貸出金残高は、前年を上回った。
( 参 考 )		<p>株式相場（日経平均株価）は、このところ22,900～23,800 円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ108～109円台で推移している。 長期金利は、このところ0.0～0.1%の間で推移している。</p>	<p>株式相場（日経平均株価）は、このところ16,500～19,500 円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ107～111円台で推移している。 長期金利は、このところ0.0～0.1%の間で推移している。</p>

# 生産

## 1 鉱工業生産指数（総合）（2020年1月）

(1) 前月比：3か月連続の上昇

(2) 業種別の前月比（寄与度順）

プラス：輸送機械工業、汎用・生産用機械工業 等

マイナス：電子部品・デバイス工業、食料品・たばこ工業 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	106.8	2.8
	2月	105.3	▲ 1.4
	3月	105.3	0.0
	4月	108.5	3.0
	5月	107.8	▲ 0.6
	6月	101.3	▲ 6.0
	7月	107.7	6.3
	8月	101.5	▲ 5.8
	9月	111.5	9.9
	10月	101.5	▲ 9.0
	11月	101.9	0.4
	12月	102.2	0.3
2020年	1月	103.8	1.6

(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	107.6	▲ 0.2
	4～6月	107.9	0.3
	7～9月	106.5	▲ 1.3
	10～12月	107.1	0.6
2019年	1～3月	105.8	▲ 1.2
	4～6月	105.9	0.1
	7～9月	106.9	0.9
	10～12月	101.9	▲ 4.7

(2015年=100)

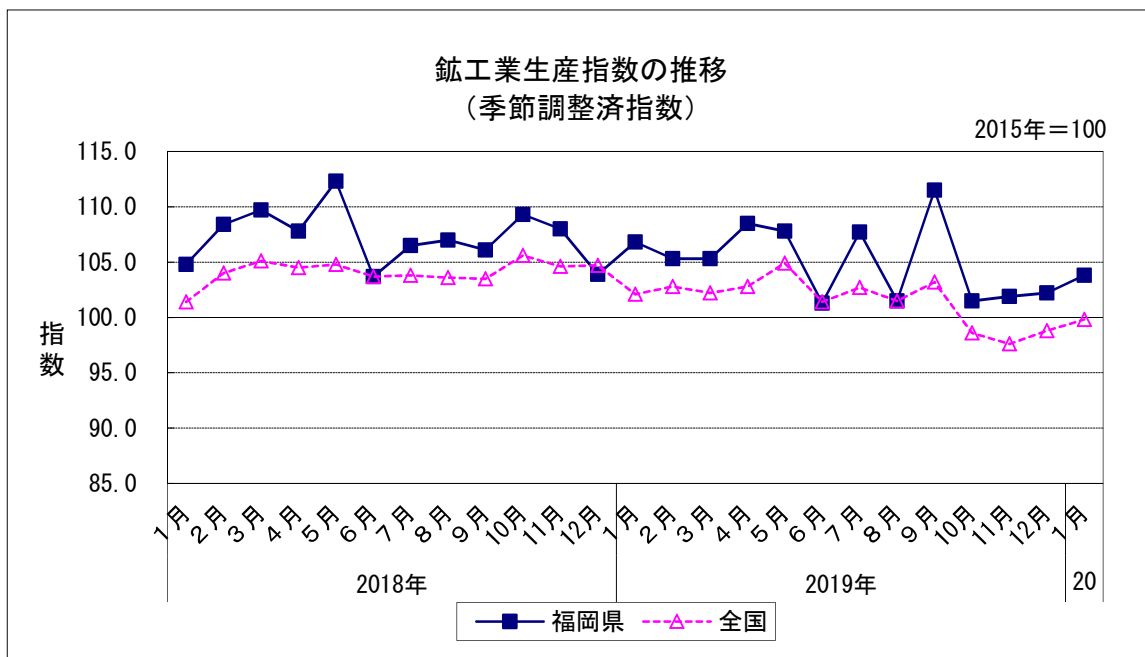
	指数	前年比
2017年	107.1	4.3
2018年	107.4	0.3
2019年	104.8	▲ 2.4

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」

※月及び四半期は季節調整済指数、年は原指数による。前月比、前期比及び前年比は増減率（％）。

※2019年以降は年間補正前の数値である。

(以下、出荷、在庫及び業種別についても同様。)





# 生産

## 2 鉱工業出荷指数（総合）（2020年1月）

(1) 前月比：4か月ぶりの上昇

(2) 業種別の前月比（寄与度順）

プラス：輸送機械工業、化学工業 等

マイナス：食料品・たばこ工業、ゴム製品工業 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	108.3	3.9
	2月	106.0	▲ 2.1
	3月	104.5	▲ 1.4
	4月	108.5	3.8
	5月	108.2	▲ 0.3
	6月	99.7	▲ 7.9
	7月	104.4	4.7
	8月	103.0	▲ 1.3
	9月	109.1	5.9
	10月	102.9	▲ 5.7
	11月	102.9	0.0
	12月	100.9	▲ 1.9
2020年	1月	103.8	2.9

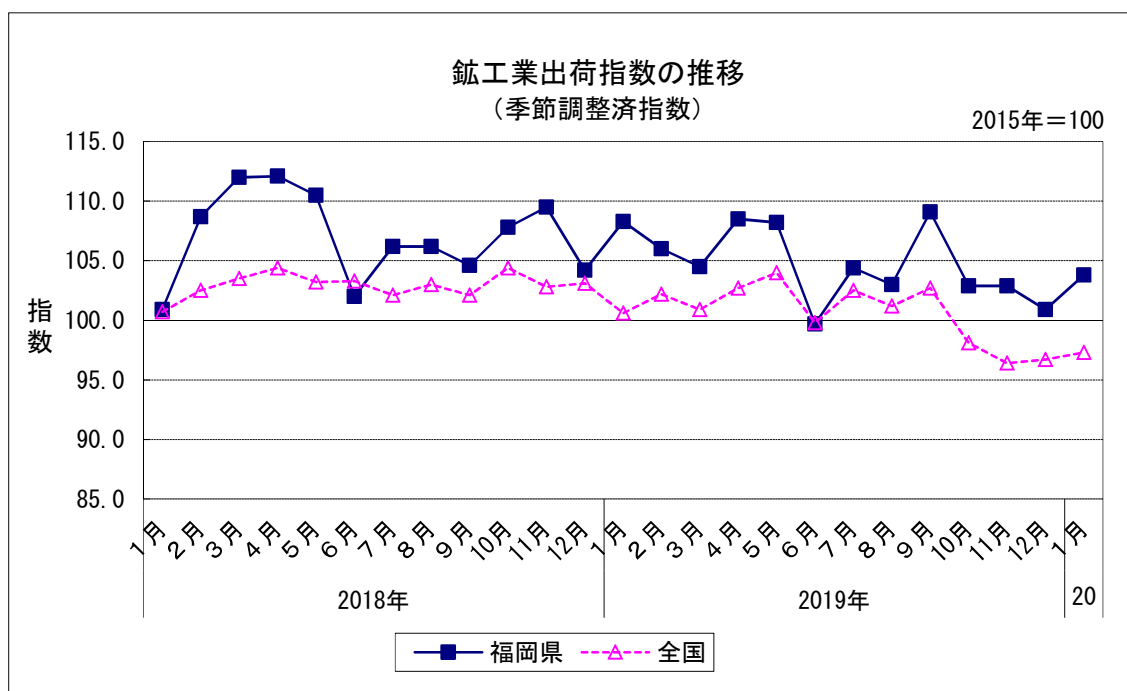
(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	107.2	▲ 0.2
	4～6月	108.2	0.9
	7～9月	105.7	▲ 2.3
	10～12月	107.2	1.4
	2019年	1～3月	106.3
4～6月	105.5	▲ 0.8	
7～9月	105.5	0.0	
10～12月	102.2	▲ 3.1	

(2015年=100)

	指数	前年比
2017年	106.7	4.1
2018年	107.2	0.5
2019年	104.6	▲ 2.4

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 3 鋳工業在庫指数（総合）（2020年1月）

- (1) 前月比：3か月ぶりの低下
- (2) 業種別の前月比（寄与度順）  
 プラス：輸送機械工業、汎用・生産用機械工業 等  
 マイナス：電子部品・デバイス工業、鉄鋼業 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	131.2	▲ 5.5
	2月	104.9	▲ 20.0
	3月	110.8	5.6
	4月	108.4	▲ 2.2
	5月	104.2	▲ 3.9
	6月	100.9	▲ 3.2
	7月	121.3	20.2
	8月	99.8	▲ 17.7
	9月	108.5	8.7
	10月	106.1	▲ 2.2
	11月	108.9	2.6
	12月	140.0	28.6
2020年	1月	129.5	▲ 7.5

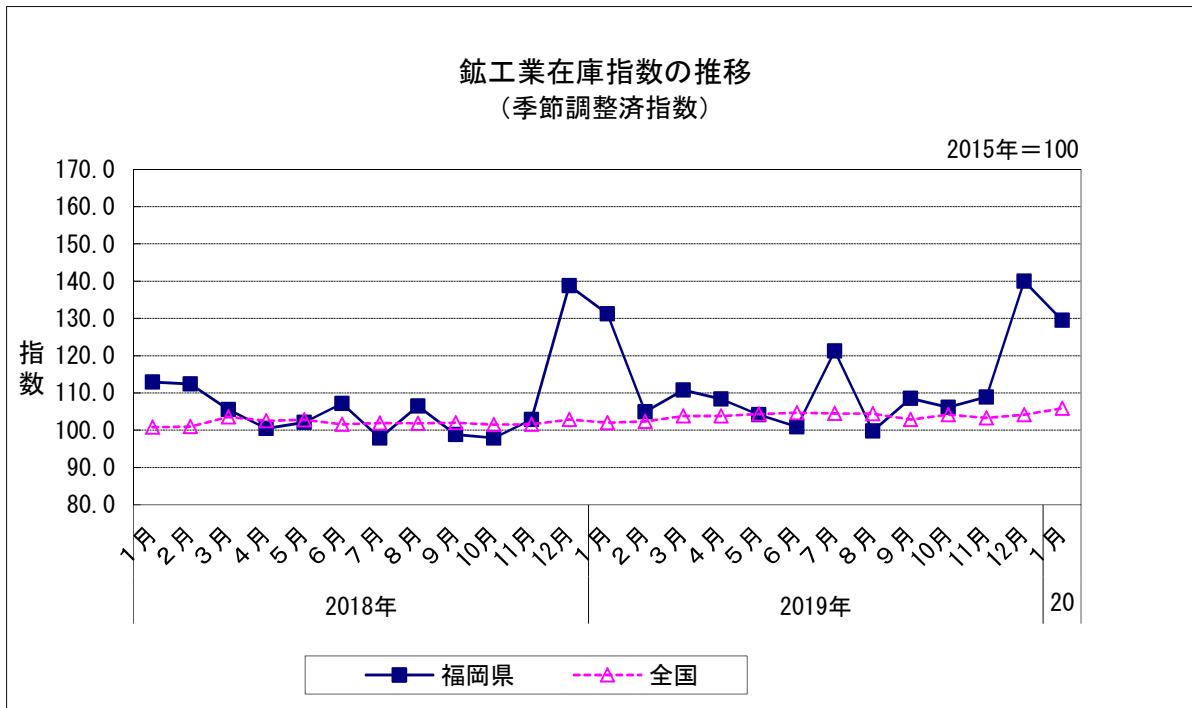
(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	105.5	▲ 3.3
	4～6月	107.2	1.6
	7～9月	98.8	▲ 7.8
	10～12月	138.8	40.5
2019年	1～3月	110.8	▲ 20.2
	4～6月	100.9	▲ 8.9
	7～9月	108.5	7.5
	10～12月	140.0	29.0

(2015年=100)

	指数	前年比
2017年	104.7	2.6
2018年	135.8	29.7
2019年	137.0	0.9

資料出所：福岡県調査統計課「鋳工業指数」  
 ※四半期・年の数値は期末値。



生 産

4 鉄鋼業（2020年1月）  
 (1) 前月比：4か月連続の低下  
 マイナスに寄与した主な品目：特殊鋼熱間圧延鋼材、H形鋼 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	97.3	▲ 3.9
	2月	95.3	▲ 2.1
	3月	99.4	4.3
	4月	102.0	2.6
	5月	101.7	▲ 0.3
	6月	96.3	▲ 5.3
	7月	105.0	9.0
	8月	88.4	▲ 15.8
	9月	99.1	12.1
	10月	98.5	▲ 0.6
	11月	96.9	▲ 1.6
	12月	94.2	▲ 2.8
2020年	1月	93.6	▲ 0.6

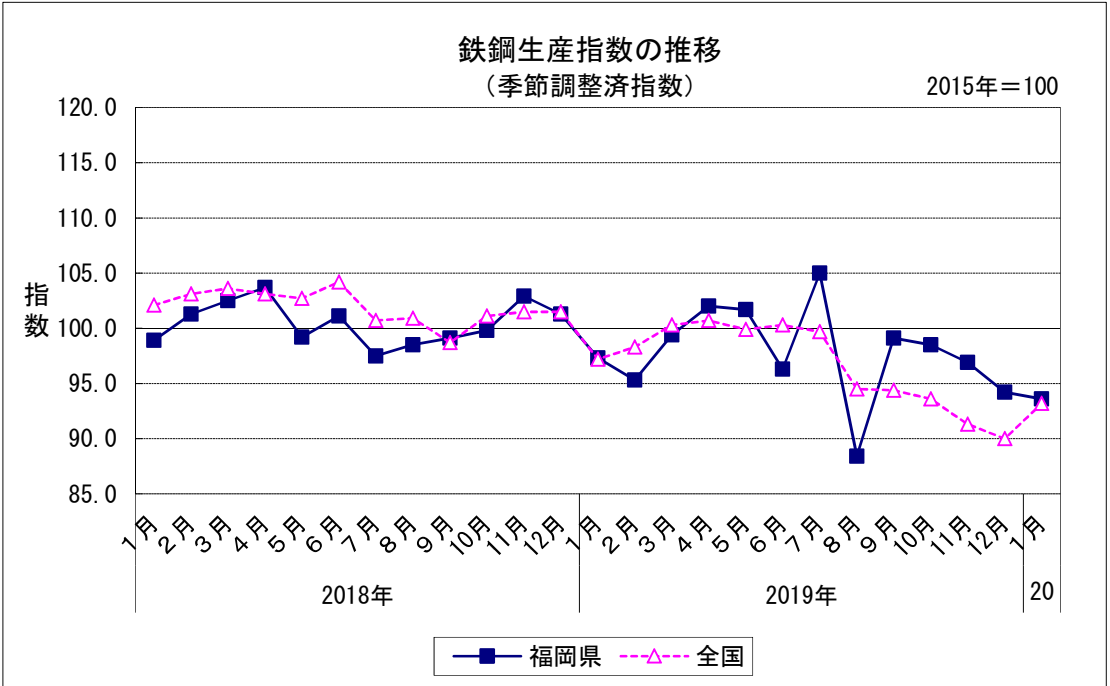
(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	100.9	▲ 0.8
	4～6月	101.3	0.4
	7～9月	98.4	▲ 2.9
	10～12月	101.3	2.9
	2019年	1～3月	97.3
4～6月	100.0	2.8	
7～9月	97.5	▲ 2.5	
10～12月	96.5	▲ 1.0	

(2015年=100)

	指数	前年比
2017年	100.2	2.7
2018年	100.5	0.3
2019年	97.2	▲ 3.3

資料出所：福岡県調査統計課「鉄工業指数」



# 生 産

**5 汎用・生産用機械工業（2020年1月）**  
 (1) 前月比：2か月ぶりの上昇  
 プラスに寄与した主な品目：ショベル系掘削機、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、金型 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	93.5	▲ 3.3
	2月	97.3	4.1
	3月	99.7	2.5
	4月	91.1	▲ 8.6
	5月	103.7	13.8
	6月	86.6	▲ 16.5
	7月	90.1	4.0
	8月	85.1	▲ 5.5
	9月	139.9	64.4
	10月	91.0	▲ 35.0
	11月	98.1	7.8
	12月	91.7	▲ 6.5
2020年	1月	104.5	14.0

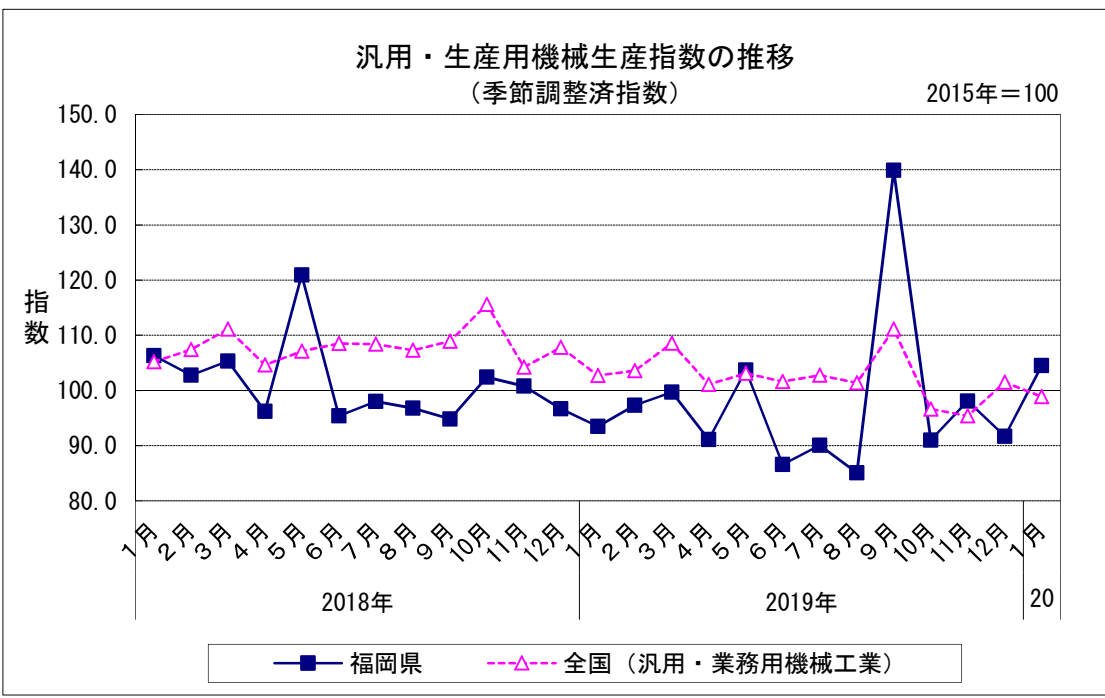
(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	104.8	▲ 8.8
	4～6月	104.2	▲ 0.6
	7～9月	96.5	▲ 7.4
	10～12月	100.0	3.6
2019年	1～3月	96.8	▲ 3.2
	4～6月	93.8	▲ 3.1
	7～9月	105.0	11.9
	10～12月	93.6	▲ 10.9

(2015年=100)

	指数	前年比
2017年	107.6	8.2
2018年	101.3	▲ 5.9
2019年	97.6	▲ 3.7

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 6 輸送機械工業（2020年1月）

(1) 前月比：2か月ぶりの上昇

プラスに寄与した主な品目：四輪自動車、シャシー及び車体部品  
駆動伝導及び操縦装置部品 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	119.2	3.6
	2月	113.1	▲ 5.1
	3月	110.6	▲ 2.2
	4月	117.2	6.0
	5月	121.3	3.5
	6月	102.5	▲ 15.5
	7月	113.2	10.4
	8月	110.6	▲ 2.3
	9月	114.1	3.2
	10月	110.8	▲ 2.9
	11月	113.9	2.8
	12月	107.4	▲ 5.7
2020年	1月	118.1	10.0

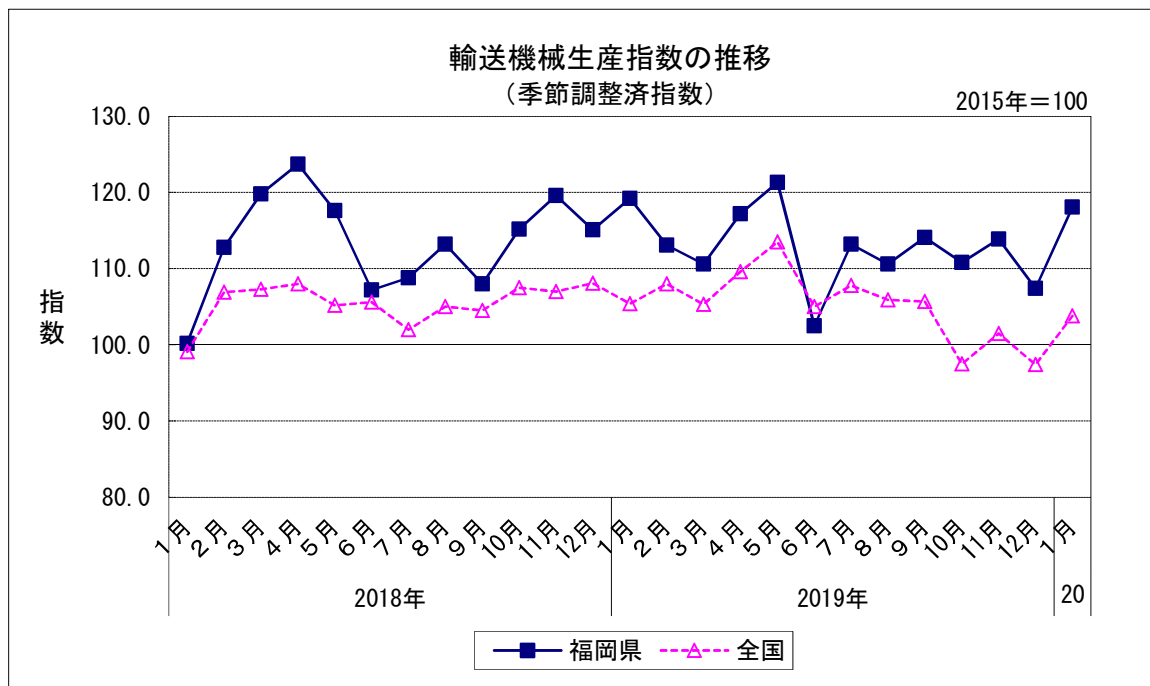
(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	110.9	2.4
	4～6月	116.2	4.8
	7～9月	110.0	▲ 5.3
	10～12月	116.6	6.0
2019年	1～3月	114.3	▲ 2.0
	4～6月	113.7	▲ 0.5
	7～9月	112.6	▲ 1.0
	10～12月	110.7	▲ 1.7

(2015年=100)

	指数	前年比
2017年	110.2	4.0
2018年	113.6	3.1
2019年	112.7	▲ 0.8

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 7 四輪自動車生産台数（九州）（2020年1月）

（1）前年同月比：4か月連続の低下

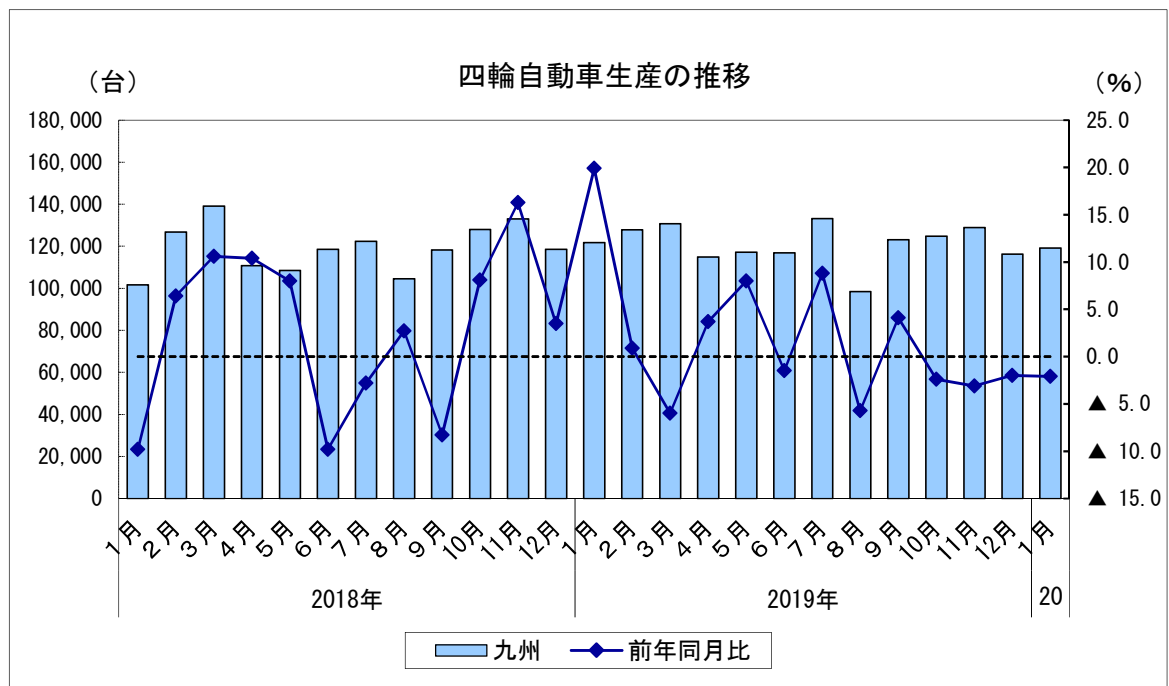
		台数	前年同月比
2019年	1月	121,802	19.9
	2月	127,833	0.9
	3月	130,721	▲ 6.0
	4月	114,932	3.7
	5月	117,182	8.0
	6月	116,882	▲ 1.5
	7月	133,126	8.8
	8月	98,495	▲ 5.7
	9月	123,096	4.1
	10月	124,847	▲ 2.4
	11月	128,868	▲ 3.1
	12月	r 116,245	▲ 2.0
2020年	1月	p 119,188	▲ 2.1

		台数	前年同期比
2018年	1～3月	367,458	2.8
	4～6月	337,951	1.7
	7～9月	345,101	▲ 3.2
	10～12月	379,485	9.3
	1～3月	380,356	3.5
2019年	4～6月	348,996	3.3
	7～9月	354,717	2.8
	10～12月	r 369,960	▲ 2.5

	台数	前年比
2017年	1,393,561	3.1
2018年	1,429,995	2.6
2019年	r 1,454,029	1.7

資料出所：九州経済産業局

※ pは速報値、rは確報値・年間補正值。



# 生 産

## 8 化学工業（2020年1月）

(1) 前月比：3か月連続の上昇

プラスに寄与した主な品目：触媒、ビスフェノールA、医薬品 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	109.5	3.0
	2月	109.4	▲ 0.1
	3月	108.8	▲ 0.5
	4月	112.4	3.3
	5月	113.6	1.1
	6月	115.1	1.3
	7月	115.0	▲ 0.1
	8月	110.1	▲ 4.3
	9月	114.9	4.4
	10月	103.0	▲ 10.4
	11月	107.9	4.8
	12月	110.4	2.3
2020年	1月	114.5	3.7

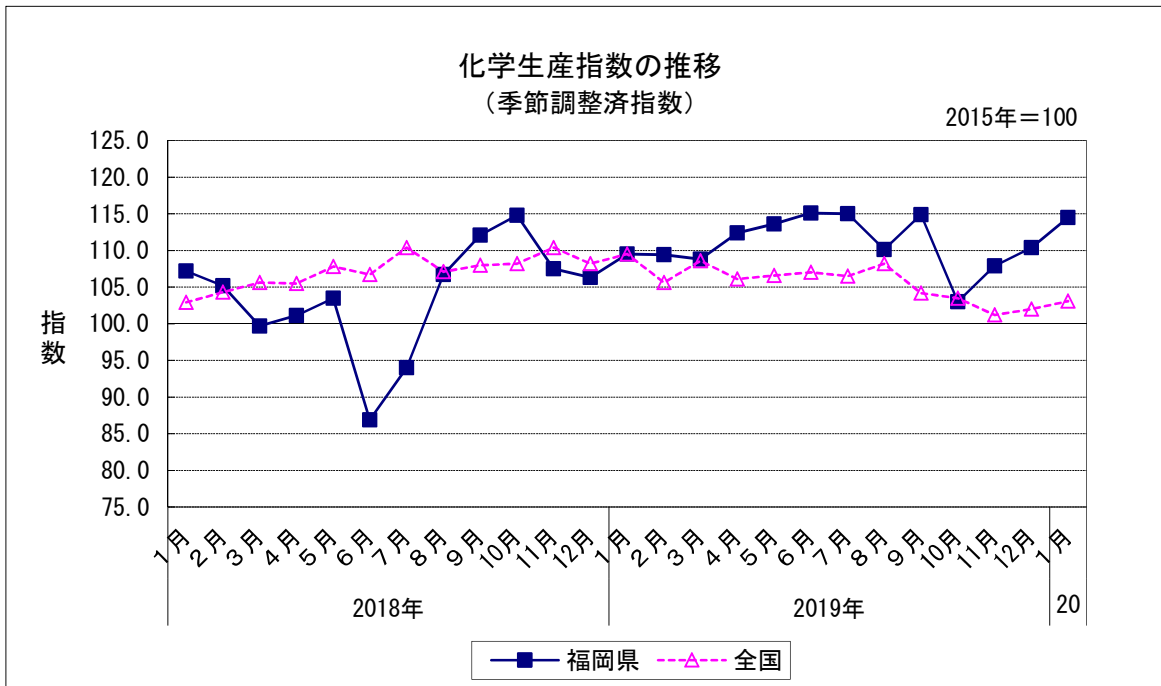
(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	104.0	▲ 4.8
	4～6月	97.2	▲ 6.5
	7～9月	104.3	7.3
	10～12月	109.5	5.0
2019年	1～3月	109.2	▲ 0.3
	4～6月	113.7	4.1
	7～9月	113.3	▲ 0.4
	10～12月	107.1	▲ 5.5

(2015年=100)

	指数	前年比
2017年	108.2	4.8
2018年	104.0	▲ 3.9
2019年	110.7	6.4

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生 産

## 9 食料品・たばこ工業（2020年1月）

(1) 前月比：2か月ぶりの低下

マイナスに寄与した主な品目：その他の調味料、ビール 等

(2015年=100)

		指数	前月比
2019年	1月	96.6	5.0
	2月	95.0	▲ 1.7
	3月	86.6	▲ 8.8
	4月	93.8	8.3
	5月	87.1	▲ 7.1
	6月	88.8	2.0
	7月	93.8	5.6
	8月	94.5	0.7
	9月	97.7	3.4
	10月	95.7	▲ 2.0
	11月	93.5	▲ 2.3
	12月	96.4	3.1
2020年	1月	92.5	▲ 4.0

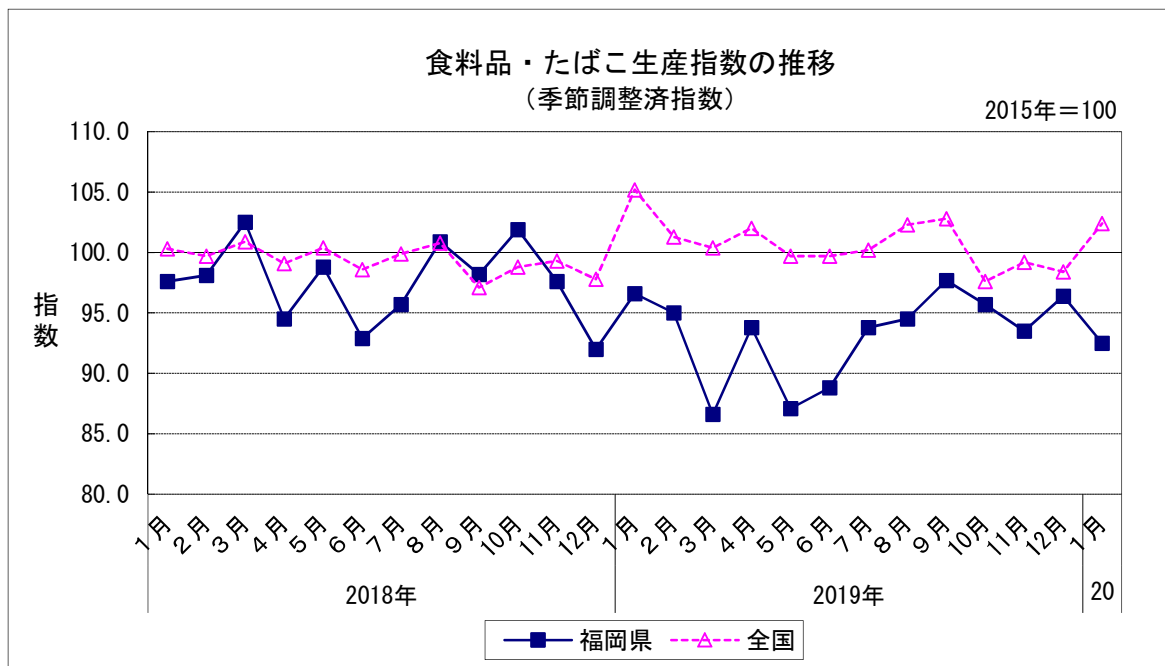
(2015年=100)

		指数	前期比
2018年	1～3月	99.4	▲ 1.1
	4～6月	95.4	▲ 4.0
	7～9月	98.3	3.0
	10～12月	97.2	▲ 1.1
2019年	1～3月	92.7	▲ 4.6
	4～6月	89.9	▲ 3.0
	7～9月	95.3	6.0
	10～12月	95.2	▲ 0.1

(2015年=100)

	指数	前年比
2017年	99.5	▲ 2.8
2018年	97.4	▲ 2.1
2019年	93.5	▲ 4.0

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」





# 生産

## 10 所定外労働時間（製造業）（2020年1月）

（1）前年同月比：22か月連続の低下

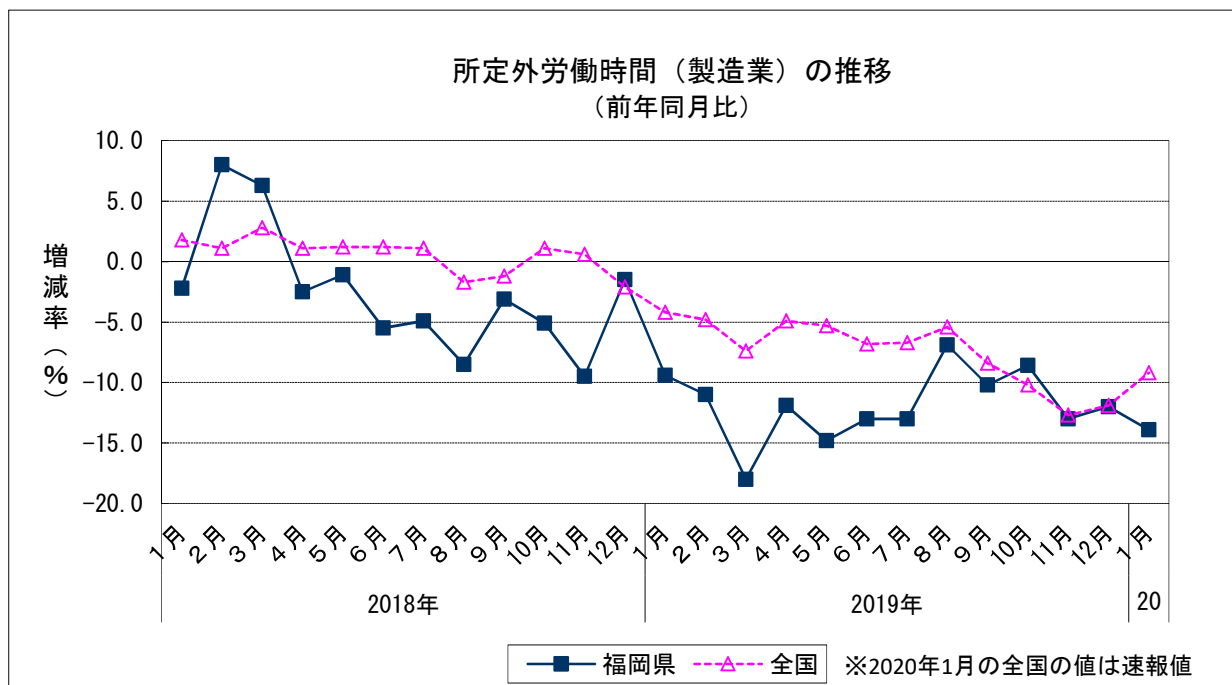
（2015年=100）

		所定外労働時間	指数	前年同月比
2019年	1月	16.5	88.2	▲ 9.4
	2月	17.9	95.7	▲ 11.0
	3月	16.9	90.4	▲ 18.0
	4月	17.0	90.9	▲ 11.9
	5月	15.5	82.9	▲ 14.8
	6月	16.2	86.6	▲ 13.0
	7月	16.7	89.3	▲ 13.0
	8月	16.2	86.6	▲ 6.9
	9月	16.8	89.8	▲ 10.2
	10月	17.0	90.9	▲ 8.6
	11月	16.6	88.8	▲ 13.0
	12月	16.8	89.8	▲ 12.0
2020年	1月	14.2	75.9	▲ 13.9

	所定外労働時間	前年比
2017年	19.4	3.7
2018年	18.9	▲ 2.6
2019年	16.7	▲ 11.9

資料出所：

福岡県調査統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」  
 対象：製造業、30人以上の事業所  
 ※前年同月比、前年比はそれぞれの指数比による。  
 ※指数は、基準年を更新し、2015年を100と  
 している。



# 貿易

## 1 輸出通関実績額（2020年1月） （1）前年同月比：2か月連続のプラス

		輸出通関実績額	前年同月比
2019年	1月	373,896	▲ 4.7
	2月	414,939	▲ 1.3
	3月	480,295	▲ 0.1
	4月	465,122	1.9
	5月	400,261	▲ 7.5
	6月	460,880	▲ 2.8
	7月	453,332	▲ 3.9
	8月	430,558	▲ 9.6
	9月	441,695	▲ 13.0
	10月	497,032	▲ 6.0
	11月	480,770	▲ 0.5
	12月	500,710	3.8
2020年	1月	389,775	4.2

		輸出通関実績額	前年同期比
2018年	1～3月	1,294,047	▲ 3.2
	4～6月	1,363,250	2.8
	7～9月	1,455,460	4.8
	10～12月	1,494,231	▲ 0.7
2019年	1～3月	1,269,129	▲ 1.9
	4～6月	1,326,263	▲ 2.7
	7～9月	1,325,585	▲ 8.9
	10～12月	1,478,512	▲ 1.1

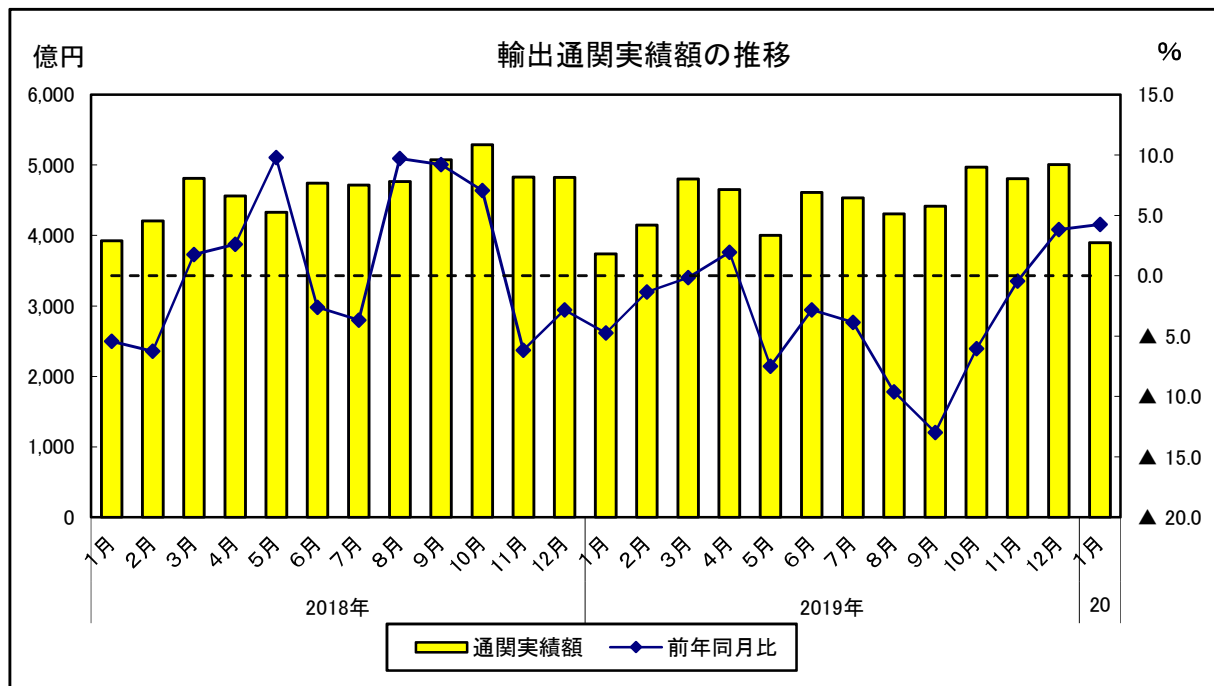
	輸出通関実績額	前年比
2017年	5,556,056	23.2
2018年	5,606,988	0.9
2019年	5,399,489	▲ 3.7

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸出通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

福岡県内の港から輸出されたものが計上されており、他県で生産・加工等がされたものも含まれる。



# 貿易

## 2 輸出通関実績額の内訳（2020年1月）

(1) 主要品目別前年同月比

プラス：電気機器、半導体等電子部品、自動車等、有機化合物等  
 マイナス：一般機械、タイヤ・チューブ、鉄鋼、精密機器類

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
2019年	1月	373,896	77,092	59,640	114,849	51,119	17,342	19,866	8,583	3,899	81,147
	2月	414,939	72,833	53,628	123,562	72,072	22,060	19,888	10,880	4,785	88,859
	3月	480,295	93,832	71,054	139,848	76,969	23,728	24,857	12,095	5,931	103,034
	4月	465,122	95,208	72,546	133,091	69,701	27,521	18,623	10,574	6,455	103,951
	5月	400,261	84,034	66,298	121,112	50,612	22,946	23,774	7,791	4,180	85,811
	6月	460,880	99,432	76,454	141,194	56,689	24,417	22,662	8,885	4,779	102,821
	7月	453,332	104,826	82,548	151,556	48,983	26,211	17,396	9,230	5,521	89,608
	8月	430,558	117,301	96,339	125,840	50,873	18,916	23,596	9,480	4,153	80,398
	9月	441,695	111,293	91,054	139,953	51,801	19,386	20,556	9,606	5,139	83,961
	10月	497,032	117,090	94,092	166,942	48,122	21,541	20,579	11,882	6,011	104,865
	11月	480,770	99,999	81,443	175,551	59,964	20,154	19,957	10,527	8,381	86,237
	12月	500,710	99,220	78,784	161,704	74,145	20,656	18,483	10,893	5,642	109,967
2020年	1月	389,775	82,698	67,209	132,168	40,628	15,564	18,209	9,186	3,559	87,764

(単位：%)

		前年同月比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
2019年	1月	▲ 4.7	▲ 0.3	0.2	20.1	▲ 23.3	8.2	▲ 4.4	▲ 37.7	▲ 37.5	▲ 15.5
	2月	▲ 1.3	11.0	14.9	▲ 3.8	▲ 12.8	1.4	▲ 11.7	0.5	▲ 2.2	6.0
	3月	▲ 0.1	13.4	21.9	3.2	▲ 11.0	▲ 4.2	▲ 3.1	▲ 5.2	▲ 29.8	▲ 1.5
	4月	1.9	11.5	12.5	▲ 9.9	▲ 4.8	21.7	▲ 8.4	2.6	3.1	14.9
	5月	▲ 7.5	2.6	6.5	▲ 3.1	▲ 27.0	▲ 8.8	5.1	▲ 15.6	▲ 12.4	▲ 9.4
	6月	▲ 2.8	14.4	19.0	▲ 5.1	▲ 25.9	▲ 4.1	▲ 5.4	▲ 6.1	▲ 21.5	5.8
	7月	▲ 3.9	11.3	14.6	6.4	▲ 32.4	15.9	▲ 11.8	4.2	▲ 30.3	▲ 13.2
	8月	▲ 9.6	12.7	16.8	▲ 8.5	▲ 37.5	▲ 15.4	▲ 0.0	▲ 32.2	▲ 6.4	▲ 9.7
	9月	▲ 13.0	▲ 7.4	▲ 0.6	▲ 3.4	▲ 35.9	1.3	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 38.7	▲ 15.2
	10月	▲ 6.0	2.8	6.2	▲ 0.6	▲ 40.1	▲ 7.4	▲ 5.9	▲ 11.1	▲ 14.9	3.6
	11月	▲ 0.5	2.4	10.3	11.1	▲ 18.3	▲ 10.5	▲ 14.5	▲ 5.3	70.2	▲ 6.3
	12月	3.8	24.8	31.2	▲ 2.0	17.8	▲ 8.6	▲ 13.2	▲ 11.3	21.2	▲ 3.6
2020年	1月	4.2	7.3	12.7	15.1	▲ 20.5	▲ 10.3	▲ 8.3	7.0	▲ 8.7	8.2

(単位：百万円)

	実績額									
	総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
2017年	5,556,056	1,093,881	832,901	1,757,279	909,836	255,095	272,884	127,939	78,425	1,060,717
2018年	5,606,988	1,089,316	824,049	1,696,528	906,217	268,292	269,766	137,119	74,093	1,165,657
2019年	5,399,489	1,172,160	923,881	1,695,201	711,050	264,877	250,237	120,427	64,875	1,120,661

(単位：%)

	前年比									
	総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
2017年	23.2	27.5	28.9	27.0	31.5	5.1	10.4	23.3	5.9	16.9
2018年	0.9	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 3.5	▲ 0.4	5.2	▲ 1.1	7.2	▲ 5.5	9.9
2019年	▲ 3.7	7.6	12.1	▲ 0.1	▲ 21.5	▲ 1.3	▲ 7.2	▲ 12.2	▲ 12.4	▲ 3.9

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

注) 自動車等は、自動車及び自動車の部分品

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

福岡県内の港から輸出されたものが計上されており、他県で生産・加工等がされたものも含まれる。

# 貿易

## 3 主要地域別輸出状況（2020年1月）

### （1）前年同月比

アジア：3か月連続のプラス

北米：6か月連続のマイナス

西欧：3か月連続のプラス

		アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
		実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
2019年	1月	234,911	▲ 6.6	75,389	▲ 10.7	53,047	▲ 14.5	19,569	▲ 29.4	73,130	19.8	22,537	▲ 28.9
	2月	266,817	2.8	106,578	15.8	45,368	▲ 30.0	21,411	▲ 31.1	71,798	12.5	30,611	▲ 25.0
	3月	308,281	3.5	109,855	2.2	65,358	▲ 3.6	26,792	▲ 2.9	88,137	39.1	29,307	▲ 30.0
	4月	315,328	13.9	108,764	6.5	64,908	10.7	23,106	▲ 12.3	81,284	▲ 3.4	27,710	▲ 34.1
	5月	265,074	▲ 1.3	100,928	3.1	48,498	2.1	20,330	▲ 25.2	58,778	▲ 11.4	29,662	▲ 21.7
	6月	294,537	4.8	109,480	▲ 0.9	49,601	▲ 11.2	23,000	▲ 6.1	78,348	4.0	30,403	▲ 20.3
	7月	300,109	1.0	114,421	▲ 1.6	50,704	▲ 4.9	24,000	2.4	82,433	3.1	29,127	18.5
	8月	290,533	▲ 6.5	97,979	▲ 18.1	50,882	▲ 8.6	21,493	▲ 8.8	59,457	▲ 26.7	22,758	▲ 10.0
	9月	297,786	▲ 13.6	106,659	▲ 12.7	52,188	▲ 28.2	25,610	▲ 2.2	58,298	▲ 23.2	28,520	▲ 2.2
	10月	312,443	▲ 10.8	117,792	▲ 14.0	45,804	▲ 29.7	27,509	▲ 1.8	88,311	▲ 4.4	24,161	▲ 8.3
	11月	313,980	0.6	124,970	9.6	45,720	▲ 30.9	31,775	20.6	81,849	▲ 9.3	30,229	15.2
	12月	327,123	13.9	138,941	33.8	50,877	▲ 10.7	30,470	8.1	79,570	▲ 13.2	34,204	23.2
2020年	1月	237,587	1.1	85,971	14.0	40,731	▲ 23.2	20,419	4.3	71,050	▲ 2.8	28,915	28.3

	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
2017年	3,367,622	23.8	1,099,034	19.2	899,705	40.8	315,912	6.6	1,074,194	50.5	440,067	8.5
2018年	3,537,892	5.1	1,307,323	19.0	726,556	▲ 19.2	320,075	1.3	925,401	▲ 13.9	391,801	▲ 11.0
2019年	3,526,923	▲ 0.3	1,311,757	0.3	622,955	▲ 14.3	295,065	▲ 7.8	901,393	▲ 2.6	339,230	▲ 13.4

2019年 12月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	327,123	13.9	138,941	33.8	50,877	▲ 10.7	30,470	8.1	79,570	▲ 13.2	34,204	23.2
電気機器	88,363	29.0	8,419	▲ 0.7	21,603	62.1	2,789	▲ 19.2	4,220	▲ 15.1	5,464	13.0
半導体等 電子部品	75,566	34.7	4,362	▲ 14.1	19,392	77.0	1,968	▲ 22.7	1,043	▲ 31.6	2,148	▲ 10.2
自動車等	78,064	15.5	63,028	41.6	2,713	▲ 66.7	6,711	▲ 10.8	50,065	▲ 14.1	8,451	360.6
一般機械	56,527	28.6	36,226	67.2	6,259	▲ 45.2	7,455	206.8	8,559	▲ 11.1	5,478	▲ 1.7
タイヤ・チューブ	3,250	10.2	1,033	107.1	305	93.5	139	14.7	4,498	2.8	2,683	▲ 8.3
鉄鋼	12,600	▲ 13.1	2,868	2.4	1,216	3.6	605	▲ 50.5	827	▲ 49.2	573	▲ 41.6
有機化合物	8,229	▲ 14.2	2,944	0.8	1,951	▲ 27.0	713	▲ 6.2	1,108	▲ 20.3	717	▲ 7.8
精密機器類	5,414	18.8	1,180	▲ 33.4	2,238	79.6	964	169.9	70	▲ 2.8	132	635.3
その他	74,676	▲ 1.3	23,244	9.7	14,591	▲ 22.6	11,094	▲ 9.9	10,225	▲ 9.1	10,705	▲ 0.9

2020年 1月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	237,587	1.1	85,971	14.0	40,731	▲ 23.2	20,419	4.3	71,050	▲ 2.8	28,915	28.3
電気機器	72,924	11.5	5,123	▲ 19.9	15,823	32.6	2,357	▲ 15.7	3,463	▲ 34.6	4,832	▲ 2.6
半導体等 電子部品	64,006	15.0	2,514	▲ 34.8	13,665	45.7	2,030	▲ 11.0	1,022	▲ 28.6	2,164	▲ 13.7
自動車等	60,411	12.1	52,554	38.4	271	▲ 95.2	4,046	▲ 0.4	46,138	5.9	5,704	2113.7
一般機械	26,519	▲ 22.1	10,860	▲ 19.1	7,480	▲ 38.5	3,659	78.4	6,825	▲ 23.6	4,275	▲ 18.0
タイヤ・チューブ	2,071	▲ 21.7	186	▲ 59.8	404	104.7	120	1.1	3,511	1.5	1,983	▲ 17.6
鉄鋼	11,933	▲ 1.0	2,079	▲ 2.7	1,283	▲ 15.4	814	92.8	1,286	▲ 47.9	798	▲ 11.1
有機化合物	6,615	7.6	1,858	24.4	1,431	▲ 23.7	370	25.0	833	▲ 14.7	1,450	56.1
精密機器類	3,245	▲ 15.7	683	▲ 46.2	1,343	▲ 11.9	462	40.7	96	308.1	190	956.4
その他	53,871	▲ 5.3	12,628	3.2	12,698	▲ 30.0	8,591	▲ 9.5	8,899	5.6	9,684	23.2

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合があります。

福岡県内の港から輸出されたものが計上されており、他県で生産・加工等がされたものも含まれる。

# 貿易

## 4 輸入通関実績額（2020年1月）

（1）前年同月比：6か月連続のマイナス

		輸入通関実績額	前年同月比
2019年	1月	247,350	4.5
	2月	209,056	▲ 9.5
	3月	229,213	▲ 0.7
	4月	219,723	▲ 1.5
	5月	241,802	▲ 1.8
	6月	221,286	▲ 7.9
	7月	245,431	2.3
	8月	209,171	▲ 10.1
	9月	217,055	▲ 9.5
	10月	231,138	▲ 13.7
	11月	220,614	▲ 14.5
	12月	216,068	▲ 8.4
2020年	1月	236,753	▲ 4.3

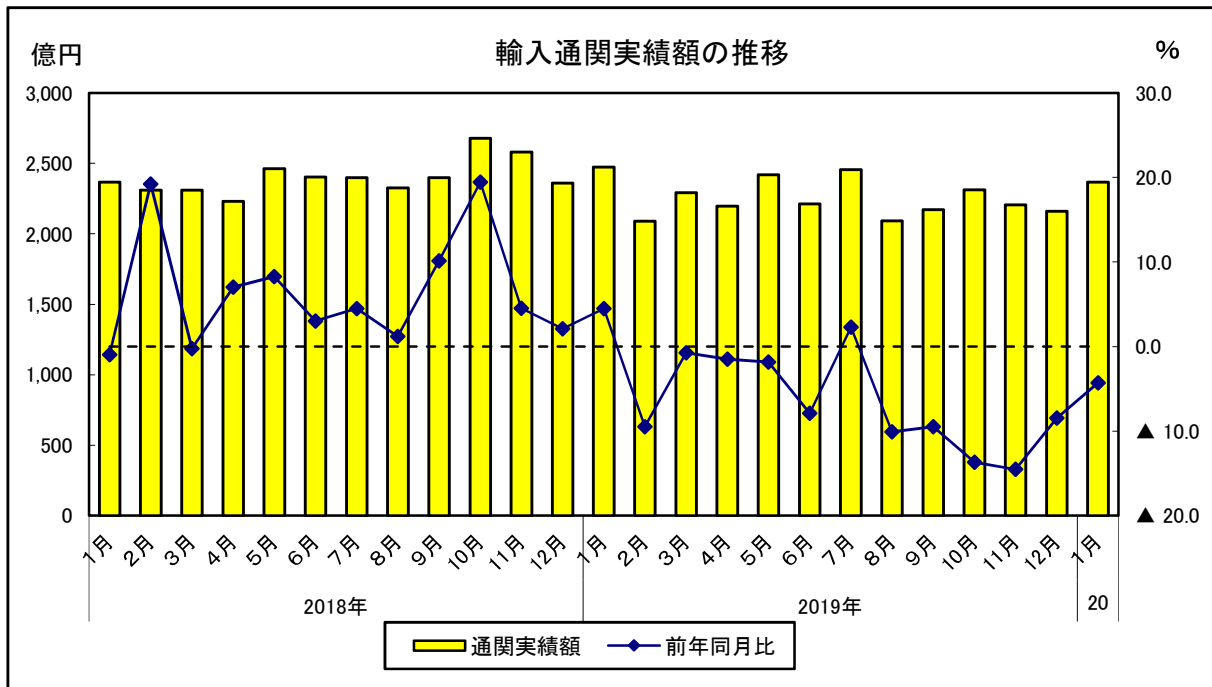
		輸入通関実績額	前年同期比
2018年	1～3月	698,567	5.2
	4～6月	709,659	6.1
	7～9月	712,362	5.2
	10～12月	761,981	8.5
2019年	1～3月	685,618	▲ 1.9
	4～6月	682,811	▲ 3.8
	7～9月	671,657	▲ 5.7
	10～12月	667,820	▲ 12.4

	輸入通関実績額	前年比
2017年	2,712,866	13.5
2018年	2,882,570	6.3
2019年	2,707,905	▲ 6.1

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸入通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 5 輸入通関実績額の内訳（2020年1月）

(1) 主要品目別前年同月比

プラス：半導体等電子部品、液化天然ガス

マイナス：電気機器、食料品及び動物、一般機械、石炭  
自動車の部分品、鉄鋼等

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガス	石炭	自動車 の 部分品	鉄鋼	その他
2019年	1月	247,350	57,460	23,292	27,733	18,254	4,199	10,886	14,822	7,524	106,471
	2月	209,056	46,423	20,847	26,069	15,467	8,099	8,632	11,610	6,409	86,346
	3月	229,213	48,853	18,551	28,890	15,978	12,028	9,149	11,627	8,447	94,240
	4月	219,723	48,897	21,819	32,457	14,997	1,631	7,563	10,240	8,101	95,837
	5月	241,802	51,197	19,416	31,473	19,267	8,281	12,212	12,357	7,190	99,824
	6月	221,286	52,322	19,875	26,897	18,663	4,882	9,411	12,751	6,429	89,931
	7月	245,431	60,450	24,293	27,344	18,420	5,220	10,713	14,118	8,048	101,119
	8月	209,171	48,882	20,439	24,882	14,614	6,851	6,517	11,237	6,148	90,041
	9月	217,055	53,739	22,106	24,710	15,249	1,795	8,202	13,372	5,980	94,007
	10月	231,138	54,634	23,605	25,796	14,303	3,904	8,743	13,917	7,322	102,517
	11月	220,614	53,369	21,638	24,648	15,866	3,962	8,285	14,514	6,281	93,689
	12月	216,068	52,549	21,577	25,626	15,239	6,713	7,284	10,842	5,582	92,233
2020年	1月	236,753	56,637	24,254	24,980	16,875	7,294	7,648	13,363	7,474	102,482

(単位：%)

		前年同月比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガス	石炭	自動車 の 部分品	鉄鋼	その他
2019年	1月	4.5	5.2	0.1	13.6	11.9	▲74.3	58.5	3.3	▲1.8	10.7
	2月	▲9.5	▲1.6	7.1	▲15.9	▲2.3	▲31.8	▲26.6	▲3.0	▲12.8	▲8.1
	3月	▲0.7	1.5	▲10.1	15.2	6.5	▲42.6	5.7	▲12.8	44.5	0.3
	4月	▲1.5	8.6	13.8	18.0	0.5	▲79.7	▲46.0	▲20.3	▲1.3	3.6
	5月	▲1.8	4.2	▲0.8	▲5.0	5.9	▲9.6	33.2	▲17.9	▲4.6	▲4.9
	6月	▲7.9	0.8	▲6.3	▲5.0	5.2	▲39.5	▲8.2	▲14.7	▲17.1	▲11.2
	7月	2.3	10.0	8.2	5.8	▲8.9	▲24.8	30.8	▲1.4	▲3.3	▲0.0
	8月	▲10.1	▲4.7	▲3.7	5.5	▲21.4	▲39.8	▲15.6	▲12.2	▲13.3	▲10.2
	9月	▲9.5	▲6.1	▲1.3	2.9	▲8.5	▲84.5	▲4.2	▲10.6	▲30.5	▲4.3
	10月	▲13.7	▲6.6	▲2.9	▲10.1	▲24.6	▲59.3	3.4	▲9.2	▲13.8	▲14.5
	11月	▲14.5	▲11.3	▲16.7	▲9.3	▲35.8	▲21.0	▲35.0	0.9	▲20.3	▲11.7
	12月	▲8.4	▲7.5	▲5.9	▲3.6	▲7.7	▲39.4	▲20.9	▲15.0	▲13.7	▲4.5
2020年	1月	▲4.3	▲1.4	4.1	▲9.9	▲7.6	73.7	▲29.7	▲9.8	▲0.7	▲3.7

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガス	石炭	自動車 の 部分品	鉄鋼	その他
2017年		2,712,866	632,721	269,325	299,353	209,247	111,894	89,250	177,666	86,430	1,106,306
2018年		2,882,570	634,846	262,628	325,314	213,652	129,996	115,605	167,016	91,227	1,204,912
2019年		2,707,905	628,774	257,459	326,527	196,317	67,565	107,597	151,408	83,462	1,146,255

(単位：%)

		前年比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガス	石炭	自動車 の 部分品	鉄鋼	その他
2017年		13.5	16.3	14.4	4.1	8.0	9.3	28.1	13.6	31.6	13.9
2018年		6.3	0.3	▲2.5	8.7	2.1	16.2	29.5	▲6.0	5.6	8.9
2019年		▲6.1	▲1.0	▲2.0	0.4	▲8.1	▲48.0	▲6.9	▲9.3	▲8.5	▲4.9

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

# 貿易

## 6 主要地域別輸入状況（2020年1月）

### (1) 前年同月比

アジア：6か月連続のマイナス

北米：8か月連続のマイナス

西欧：2か月ぶりのマイナス

		アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
		実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
2019年	1月	183,803	▲ 8.9	81,379	▲ 14.4	17,091	▲ 2.8	26,155	▲ 1.7	18,198	▲ 0.6	16,235	▲ 36.4
	2月	154,900	▲ 11.2	56,826	▲ 17.5	16,605	▲ 8.7	22,762	▲ 4.3	14,751	▲ 7.0	12,623	▲ 15.0
	3月	169,098	▲ 3.7	70,363	▲ 16.9	18,484	▲ 14.5	19,544	▲ 16.3	14,243	▲ 7.3	12,240	▲ 0.2
	4月	161,104	▲ 3.4	73,833	▲ 7.7	17,690	▲ 7.4	22,627	▲ 6.0	19,424	▲ 19.8	10,423	▲ 14.3
	5月	165,455	▲ 5.6	78,688	▲ 1.3	16,449	▲ 12.9	18,982	▲ 22.6	20,320	▲ 8.9	14,003	▲ 7.5
	6月	163,651	▲ 1.3	74,384	▲ 0.3	17,017	▲ 6.5	20,621	▲ 14.4	17,062	▲ 13.5	14,197	▲ 20.5
	7月	180,282	▲ 6.2	80,087	▲ 8.9	20,339	▲ 2.8	25,935	▲ 1.7	18,512	▲ 8.7	12,365	▲ 10.7
	8月	152,471	▲ 10.8	67,219	▲ 7.6	15,769	▲ 15.7	20,969	▲ 13.0	14,502	▲ 14.5	13,192	▲ 3.4
	9月	162,182	▲ 7.2	73,715	▲ 6.3	17,596	▲ 4.4	21,655	▲ 15.1	15,715	▲ 11.4	13,825	▲ 10.7
	10月	168,150	▲ 11.3	72,296	▲ 10.4	18,361	▲ 3.2	23,425	▲ 17.1	16,600	▲ 28.7	19,321	▲ 3.6
	11月	160,483	▲ 13.2	73,064	▲ 10.7	16,788	▲ 11.5	22,099	▲ 23.6	17,169	▲ 10.6	15,022	▲ 25.2
	12月	162,144	▲ 9.5	71,896	▲ 4.4	18,066	▲ 7.0	21,893	▲ 17.4	13,976	▲ 14.2	12,662	▲ 6.8
2020年	1月	177,967	▲ 3.2	84,272	▲ 3.6	16,066	▲ 6.0	24,276	▲ 7.2	15,507	▲ 14.8	13,193	▲ 18.7

	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
2017年	1,986,203	▲ 10.0	841,736	▲ 6.6	213,085	▲ 2.9	303,839	▲ 27.6	195,074	▲ 22.7	159,542	▲ 2.6
2018年	2,072,098	▲ 4.3	883,735	▲ 5.0	222,744	▲ 4.5	305,198	▲ 0.4	217,696	▲ 11.6	170,221	▲ 6.7
2019年	1,983,724	▲ 4.3	873,751	▲ 1.1	210,255	▲ 5.6	266,666	▲ 12.6	200,472	▲ 7.9	166,108	▲ 2.4

2019年 12月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	162,144	▲ 9.5	71,896	▲ 4.4	18,066	▲ 7.0	21,893	▲ 17.4	13,976	▲ 14.2	12,662	▲ 6.8
電気機器	49,356	▲ 6.6	18,199	▲ 2.6	3,001	▲ 11.5	14,874	▲ 15.3	1,042	▲ 35.5	1,346	▲ 21.5
半導体等 電子部品	21,158	▲ 6.9	5,724	▲ 24.6	144	▲ 64.4	14,496	▲ 14.7	69	▲ 64.1	17	▲ 162.9
食料品及び動物 一般機械	12,990	▲ 3.2	5,497	▲ 7.4	1,016	▲ 14.6	154	▲ 40.1	4,054	▲ 28.1	2,304	▲ 23.5
液化天然ガス	11,404	▲ 9.4	6,247	▲ 18.3	2,533	▲ 24.9	656	▲ 10.3	1,608	▲ 16.3	2,020	▲ 16.2
石炭	3,273	▲ 52.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
自動車の部分品	1,474	▲ 7.0	455	全増	0	-	1	▲ 0.2	711	全増	0	-
鉄鋼	8,388	▲ 19.1	4,089	▲ 25.3	1,378	▲ 11.1	73	▲ 26.8	468	▲ 35.1	808	▲ 15.9
その他	3,481	▲ 14.5	541	▲ 52.5	2,576	▲ 21.5	254	▲ 33.4	29	▲ 73.2	265	▲ 18.5
	71,780	▲ 7.6	36,868	▲ 0.7	7,561	▲ 20.0	5,880	▲ 22.5	6,064	▲ 3.4	5,918	▲ 5.4

2020年 1月	アジア		中国		韓国		台湾		北米		西欧	
	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比	実績額	前年同月比
総額	177,967	▲ 3.2	84,272	▲ 3.6	16,066	▲ 6.0	24,276	▲ 7.2	15,507	▲ 14.8	13,193	▲ 18.7
電気機器	53,885	▲ 0.9	21,318	▲ 11.0	2,001	▲ 35.8	16,647	▲ 4.1	973	▲ 33.0	1,426	▲ 22.9
半導体等 電子部品	24,191	▲ 4.7	6,806	▲ 47.0	132	▲ 69.5	16,197	▲ 3.9	51	▲ 72.6	12	▲ 4.4
食料品及び動物 一般機械	12,479	▲ 23.1	5,415	▲ 4.0	645	▲ 15.3	262	▲ 52.7	4,479	▲ 8.5	2,028	▲ 3.5
液化天然ガス	12,056	▲ 5.4	6,991	▲ 14.0	2,022	▲ 35.7	763	▲ 10.9	1,667	▲ 80.5	2,766	▲ 32.6
石炭	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
自動車の部分品	2,106	▲ 33.4	0	-	0	-	0	全減	1,209	▲ 22.6	0	-
鉄鋼	9,856	▲ 11.1	5,632	▲ 4.4	1,204	▲ 27.7	72	▲ 34.6	556	▲ 11.0	1,050	▲ 10.9
その他	3,666	▲ 10.1	1,160	▲ 115.0	2,121	▲ 20.0	168	▲ 40.3	16	▲ 61.1	263	▲ 28.1
	83,919	▲ 1.0	43,756	▲ 3.2	8,074	▲ 9.0	6,363	▲ 15.6	6,607	▲ 30.2	5,660	▲ 14.7

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

## 設備投資

### 1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

#### （1）福岡県の2019年度設備投資見込み

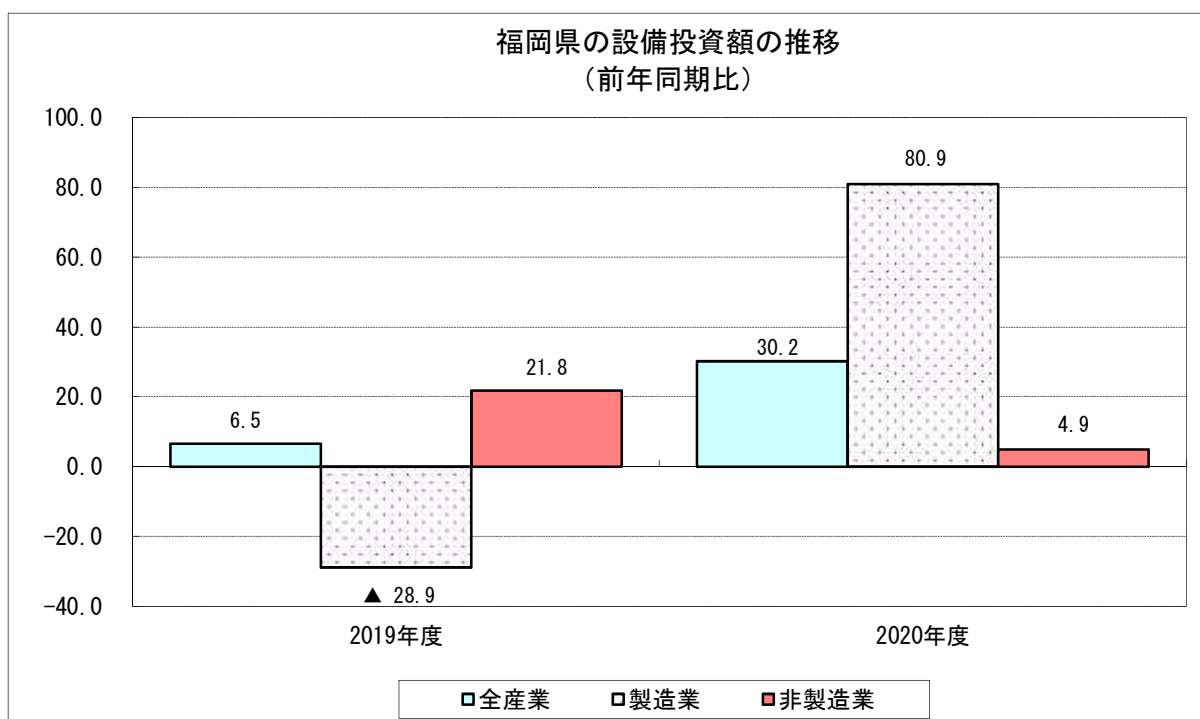
製造業は前年を下回るものの、非製造業が前年を上回ることから、全産業では前年を6.5%上回る見込みとなっている。

（本社ベース）

（対前年同期比、%：金額データ）

法人企業景気予測調査	福岡県		北部九州3県			
	全産業	業種別		規模別		
		製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
2019年度	6.5	▲ 28.9	21.8	11.3	▲ 10.5	7.8
2020年度	30.2	80.9	4.9	6.3	11.9	▲ 16.2

※ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く。



#### 注）調査の概要

- 1) 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 2) 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 3) 調査時点 2020年2月15日
- 4) 対象期間 2019年度は見込み。
- 5) 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金1千万円以上（ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の企業。  
対象企業：621社（うち、大企業（資本金10億円以上）132社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）168社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が321社）。  
製造業 167社 非製造業 454社
- 6) 回収企業数 大企業129社（回収率97.7%）、中堅企業157社（同93.5%）、中小企業285社（同88.8%）  
回収企業 571社 《うち福岡県分 382社（製造業 89社 非製造業 293社）》



## 設備投資

### 2 建築着工（居住専用住宅等除く）（2020年1月）

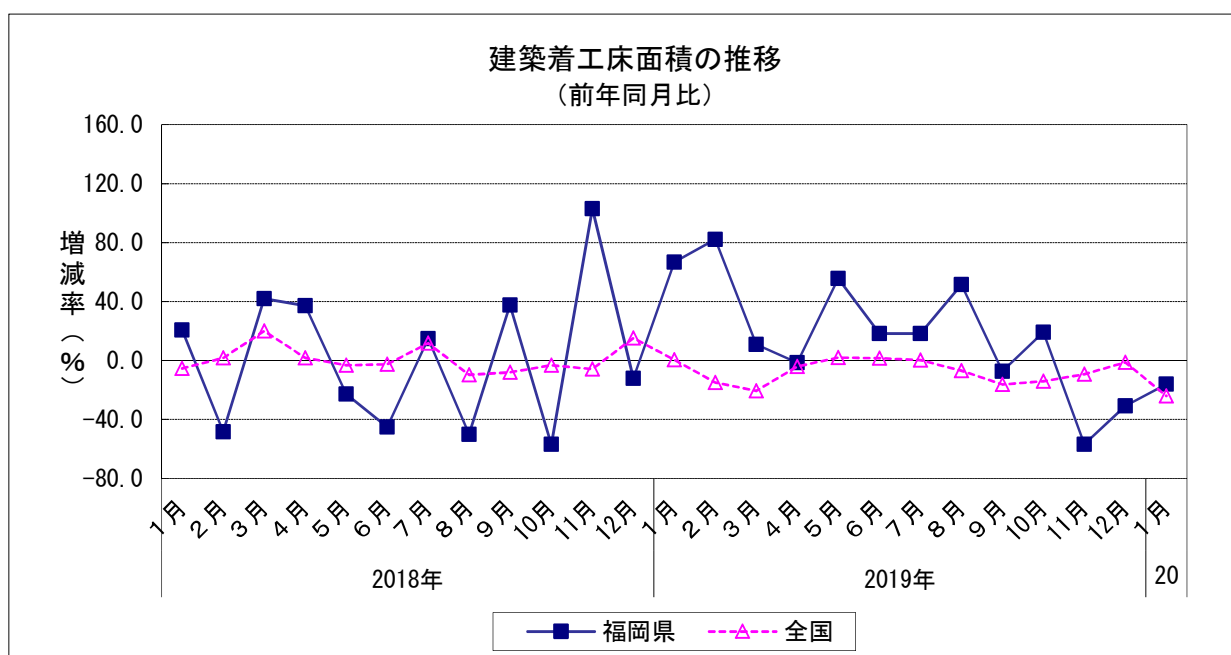
- (1) 着工床面積  
前年同月比：3か月連続のマイナス
- (2) 着工工事費予定額  
前年同月比：3か月連続のマイナス

	着工床面積 前年同月比		着工予定額 前年同月比		
	値	増減率	値	増減率	
2019年	1月	204,491	66.6	52,935	124.8
	2月	196,349	82.1	39,078	117.7
	3月	144,788	10.8	31,895	25.1
	4月	166,073	▲ 1.6	36,790	26.9
	5月	226,250	55.6	41,062	48.0
	6月	182,148	18.3	30,718	14.4
	7月	191,055	18.3	42,163	▲ 6.6
	8月	178,937	51.5	33,213	91.6
	9月	186,134	▲ 7.4	47,848	13.0
	10月	140,745	19.1	32,142	51.8
	11月	97,431	▲ 56.9	18,625	▲ 60.8
	12月	114,626	▲ 30.9	18,352	▲ 45.2
2020年	1月	171,589	▲ 16.1	38,938	▲ 26.4

資料：国土交通省「建築着工統計調査」  
着工床面積単位：㎡  
着工予定額単位：百万円  
※全建築物計から、居住専用住宅、  
居住専用準住宅、居住産業併用建築物  
及び農林水産業用建築物を除いたもの  
である。

	着工床面積 前年同期比		着工予定額 前年同期比		
	値	増減率	値	増減率	
2018年	1～3月	361,261	▲ 10.4	67,003	▲ 15.6
	4～6月	468,242	▲ 21.0	83,563	▲ 18.2
	7～9月	480,487	▲ 8.3	104,819	5.1
	10～12月	510,133	▲ 11.2	102,193	▲ 10.1
2019年	1～3月	545,628	51.0	123,908	84.9
	4～6月	574,471	22.7	108,570	29.9
	7～9月	556,126	15.7	123,225	17.6
	10～12月	352,802	▲ 30.8	69,119	▲ 32.4

	着工床面積	前年比	着工予定額	前年比
2017年	2,094,218	▲ 0.9	394,911	▲ 1.4
2018年	1,820,123	▲ 13.1	357,578	▲ 9.5
2019年	2,029,027	11.5	424,821	18.8



## 設備投資

### 3 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）（2019年12月）

#### （1）九州・沖縄の2019年度設備投資計画

製造業、非製造業ともに前年度を上回ることから、全産業では前年度を15.2%上回る計画となっている。

規模別にみても、大企業、中堅企業、中小企業のいずれも前年度を上回る計画となっている。

（対前年同期比、%：金額データ）

企業短期経済観測調査	全産業	業種別		規模別		
		製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
(2018年度上期)	10.0	11.3	8.9	—	—	—
(2018年度下期)	7.4	11.8	4.5	—	—	—
2018年度通期	8.4	11.6	6.2	11.0	▲ 10.7	9.8
(2019年度上期)	21.1	44.0	3.6	—	—	—
(2019年度下期)	11.1	27.4	▲ 0.2	—	—	—
2019年度通期	15.2	34.5	1.3	16.9	5.3	10.5

注) 1)回答期間:11月13日～12月12日

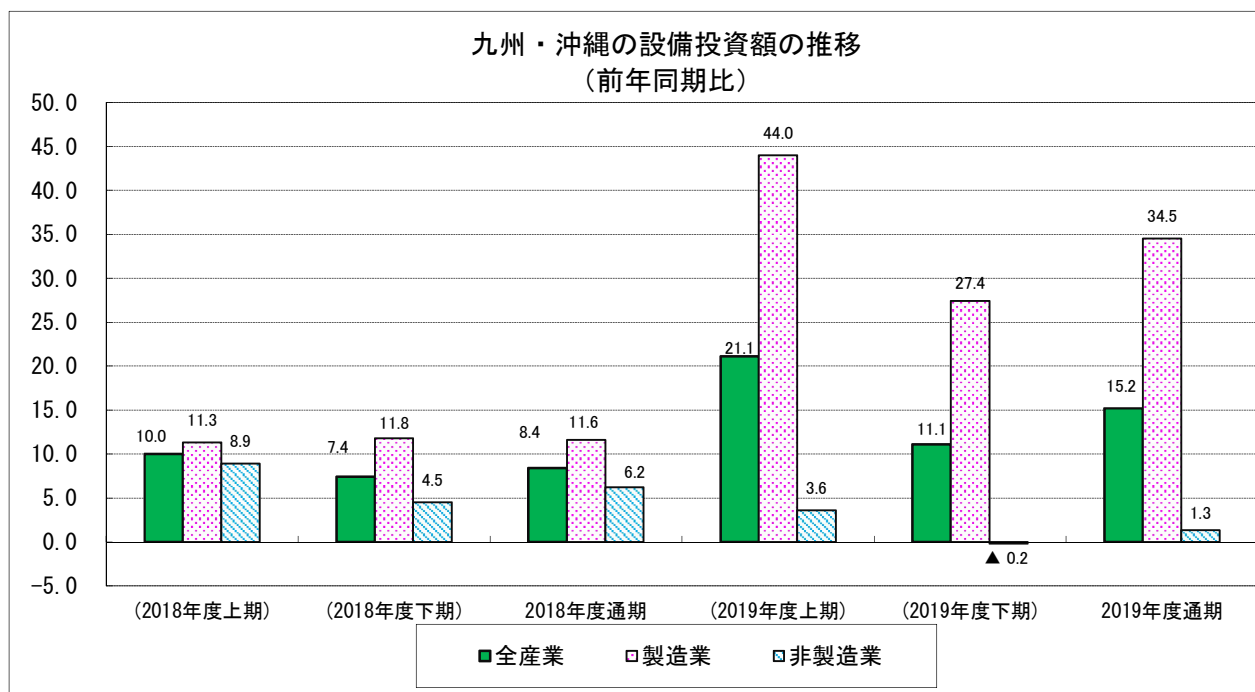
2)対象企業:九州・沖縄の企業 1,135社

3)含む土地投資額

4)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

5)2017年6月短観より、企業規模別の上期・下期別の前年比の掲載取り止め。

	対象	回答	回答率
製造業	383	381	99.5%
非製造業	752	749	99.6%
全産業	1,135	1,130	99.6%



## 設備投資

### 4 『九州地域設備投資計画調査』（日本政策投資銀行調査結果）

#### (1) 福岡県の2019年度設備投資計画

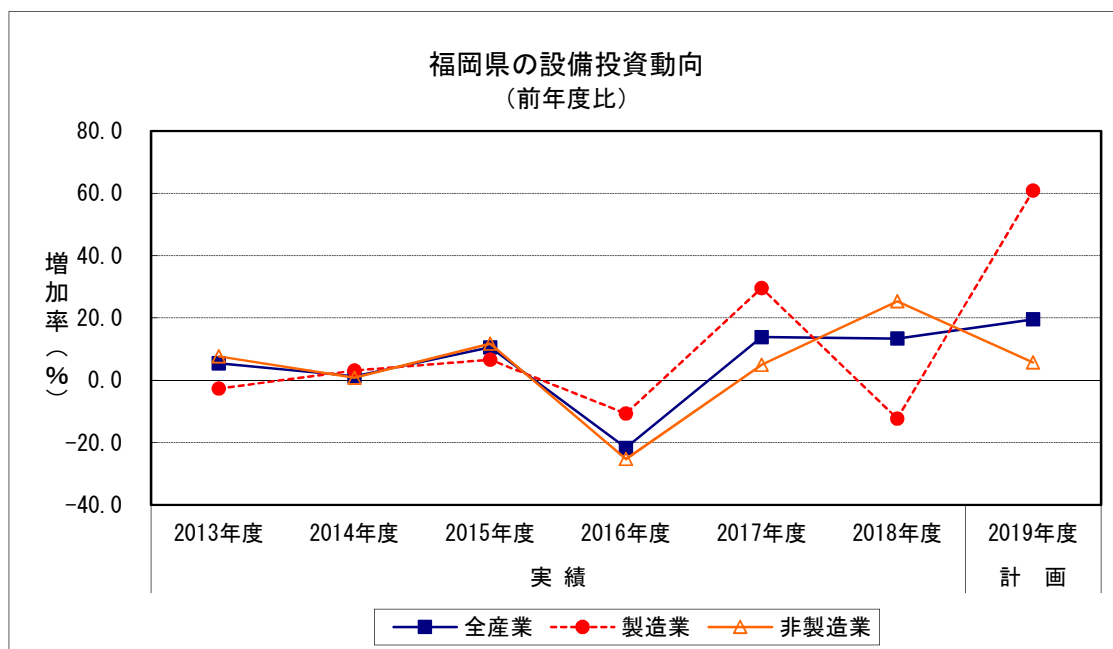
前年度比 19.5%増（製造業60.9%増、非製造業5.7%増）

製造業、非製造業ともに増加することから、全体で増加する。

#### 福岡県の設備投資動向

(単位：%)

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 計画
全産業	5.4	1.3	10.6	▲21.7	13.8	13.4	19.5
製造業	▲2.7	3.1	6.6	▲10.7	29.6	▲12.3	60.9
非製造業	7.7	0.8	11.7	▲25.3	5.0	25.3	5.7



#### (参考) 九州の設備投資動向

(単位：%)

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 計画
全産業	19.6	3.4	6.6	▲4.2	11.5	17.6	15.8
製造業	▲4.9	20.8	0.4	▲8.6	16.1	11.6	13.2
非製造業	31.8	▲2.9	9.5	▲2.2	7.2	22.6	17.9

#### 注) 調査の概要

- 1) 調査期間 2019年5月30日から6月24日まで
- 2) 対象企業 全産業（但し、金融保険業等を除く）に属する原則資本金1億円以上の企業  
回答会社数 527社
- 3) 調査方法 個別企業に対するアンケート方式

## 企業景況

### 1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

#### (1) 福岡県の企業景況判断（2020年1～3月期）

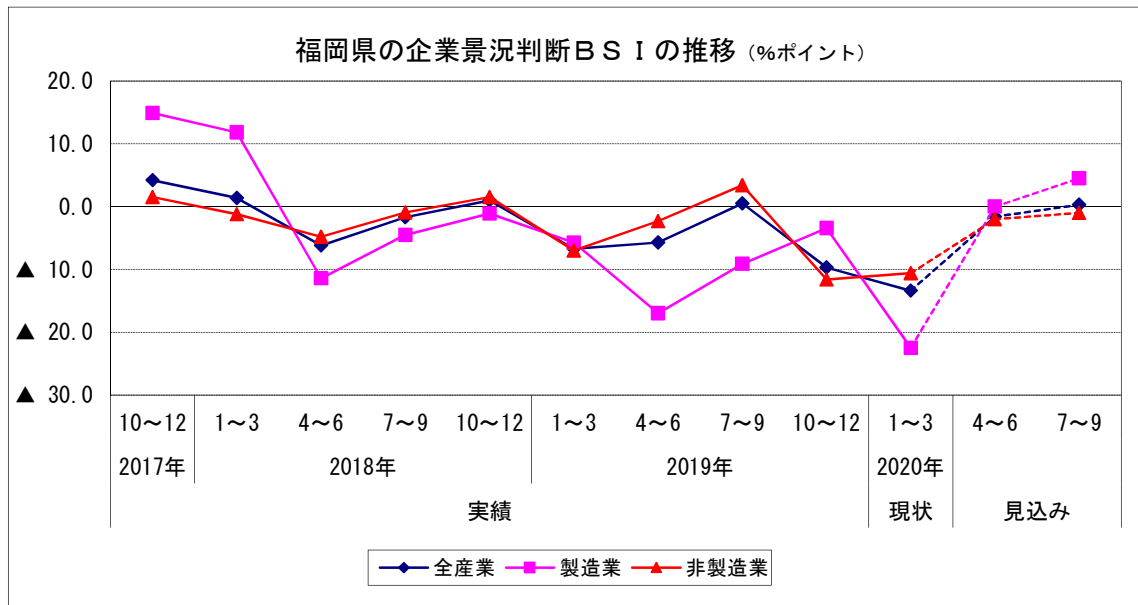
全産業：「下降」超幅が拡大している  
 製造業：「下降」超幅が拡大している  
 非製造業：「下降」超幅が縮小している

(原数値)

(%ポイント)

法人企業景気予測調査			景況判断BSI（福岡県）			景況判断BSI（北部九州3県）				
			全産業	業種別		全産業	規模別			
				製造業	非製造業		大企業	中堅企業	中小企業	
2017年	10～12月期	実績	4.2	14.9	1.5	5.4	7.9	11.3	0.7	
2018年	1～3月期		1.4	11.8	▲1.2	0.0	2.0	2.2	▲2.3	
	4～6月期		▲6.2	▲11.4	▲4.8	▲6.7	▲2.7	▲8.3	▲7.6	
	7～9月期		▲1.7	▲4.5	▲0.9	▲1.0	0.7	4.8	▲5.4	
	10～12月期		1.0	▲1.1	1.5	1.3	0.7	7.4	▲2.4	
2019年	1～3月期		▲6.7	▲5.7	▲7.0	▲6.4	▲6.0	▲2.6	▲9.0	
	4～6月期		▲5.7	▲17.0	▲2.3	▲5.5	0.8	▲5.0	▲8.7	
	7～9月期		0.5	▲9.1	3.4	▲3.0	0.0	▲1.3	▲5.3	
	10～12月期		▲9.7	▲3.4	▲11.6	▲8.8	▲3.8	▲14.4	▲8.1	
2020年	1～3月期		見込み	▲13.4	▲22.5	▲10.6	▲15.4	▲3.9	▲16.6	▲20.0
	4～6月期			▲1.6	0.0	▲2.0	▲4.4	▲5.4	▲1.9	▲5.3
	7～9月期			0.3	4.5	▲1.0	▲0.2	0.0	▲1.3	0.4

※BSI = 「上昇」 - 「下降」社数の構成比



#### 注) 調査の概要

- 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 調査時点 2020年2月15日
- 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金1千万円以上（ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の企業。  
 対象企業：621社（うち、大企業（資本金10億円以上）132社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）168社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が321社）。  
 製造業 167社 非製造業 454社
- 回収企業数 大企業129社（回収率97.7%）、中堅企業157社（同93.5%）、中小企業285社（同88.8%）  
 回収企業 571社 《うち福岡県分 382社（製造業 89社 非製造業 293社）》

## 企業景況

### 2 『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果）

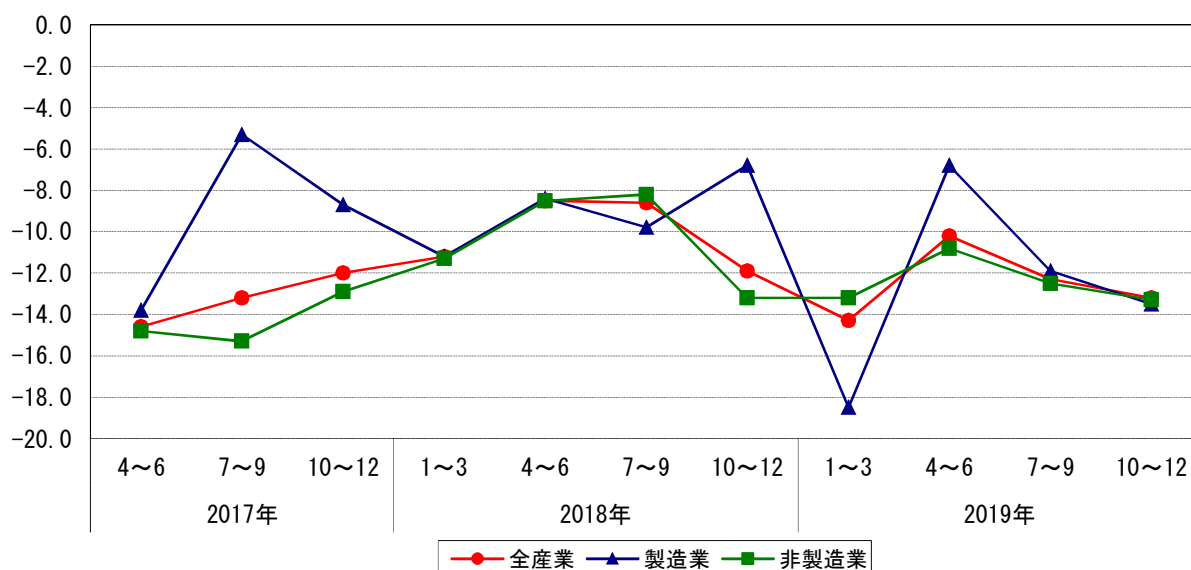
(1) 中小企業の業況判断DI（2019年10～12月期）

ア 全産業	▲13.2	、前期から	0.9ポイント	マイナス幅が拡大
イ 製造業	▲13.5	、前期から	1.6ポイント	マイナス幅が拡大
非製造業	▲13.3	、前期から	0.8ポイント	マイナス幅が拡大

		前期比(季節調整値)		
		全産業	製造業	非製造業
2017年	4～6月期	▲14.6	▲13.8	▲14.8
	7～9月期	▲13.2	▲5.3	▲15.3
	10～12月期	▲12.0	▲8.7	▲12.9
2018年	1～3月期	▲11.2	▲11.2	▲11.3
	4～6月期	▲8.5	▲8.4	▲8.5
	7～9月期	▲8.6	▲9.8	▲8.2
	10～12月期	▲11.9	▲6.8	▲13.2
2019年	1～3月期	▲14.3	▲18.5	▲13.2
	4～6月期	▲10.2	▲6.8	▲10.8
	7～9月期	▲12.3	▲11.9	▲12.5
	10～12月期	▲13.2	▲13.5	▲13.3

※毎年4-6月期に、前年以前の季節調整値の入れ替えを行っている

管内中小企業の業況判断DIの推移



資料：第158回中小企業景況調査（2019年10-12月期）結果から、福岡県分を使用

- 1) 調査時点 2019年11月15日
- 2) 対象期間 2019年10-12月期の業況判断
- 3) 調査対象 中小企業基本法に定義する、全国の中小企業

## 企業景況

### 3 『福岡県中小企業動向調査(小企業編)』 (日本政策金融公庫福岡支店調査結果)

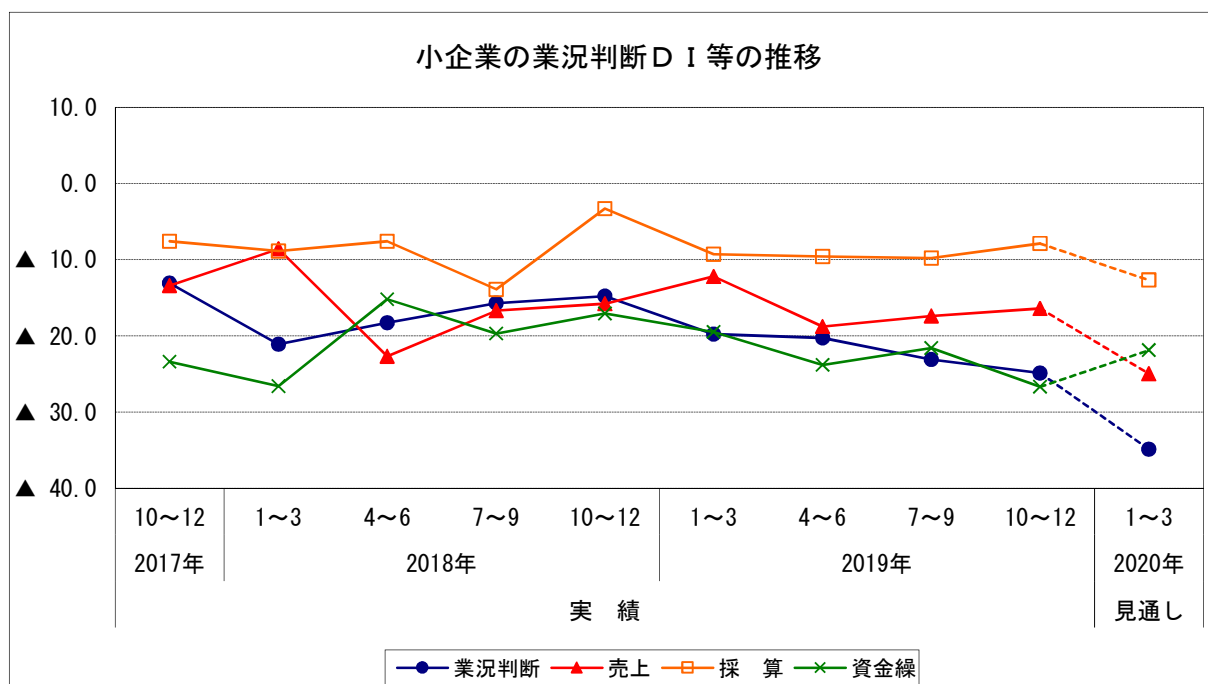
#### (1) 2019年10～12月期の概況

前期に比べ、業況判断D Iはマイナス幅が1.8ポイント拡大し、売上D Iは1.0ポイント縮小した。

#### (2) 2020年1～3月期の見通し

今期に比べ、業況判断D Iはマイナス幅が10.0ポイント拡大し、売上D Iは8.6ポイント拡大する見通しとなっている。

		業況判断	売上	採算	資金繰
2017年	10～12月期	▲ 13.1	▲ 13.4	▲ 7.6	▲ 23.4
	1～3月期	▲ 21.1	▲ 8.6	▲ 8.9	▲ 26.6
2018年	4～6月期	▲ 18.3	▲ 22.7	▲ 7.6	▲ 15.2
	7～9月期	▲ 15.7	▲ 16.7	▲ 13.9	▲ 19.7
	10～12月期	▲ 14.8	▲ 15.8	▲ 3.3	▲ 17.1
2019年	1～3月期	▲ 19.8	▲ 12.2	▲ 9.3	▲ 19.5
	4～6月期	▲ 20.3	▲ 18.8	▲ 9.6	▲ 23.8
	7～9月期	▲ 23.1	▲ 17.4	▲ 9.8	▲ 21.6
	10～12月期	▲ 24.9	▲ 16.4	▲ 7.9	▲ 26.7
2020年	1～3月期	▲ 34.9	▲ 25.0	▲ 12.7	▲ 21.9



#### 注) 調査の概要

- 1) 調査時点 2019年12月中旬
- 2) 調査対象 日本政策金融公庫福岡県内取引先369企業
- 3) 有効回答数 218企業 (有効回答率59.1%)
  - 製造業 (従業員20人未満) 22企業、卸売業 (同10人未満) 26企業、小売業 (同10人未満) 56企業、飲食店・宿泊業 (同10人未満) 34企業、サービス業 (同20人未満) 46企業、建設業 (同20人未満) 28企業、その他 (同20人未満) 6企業

## 企業景況

### 4 『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果）

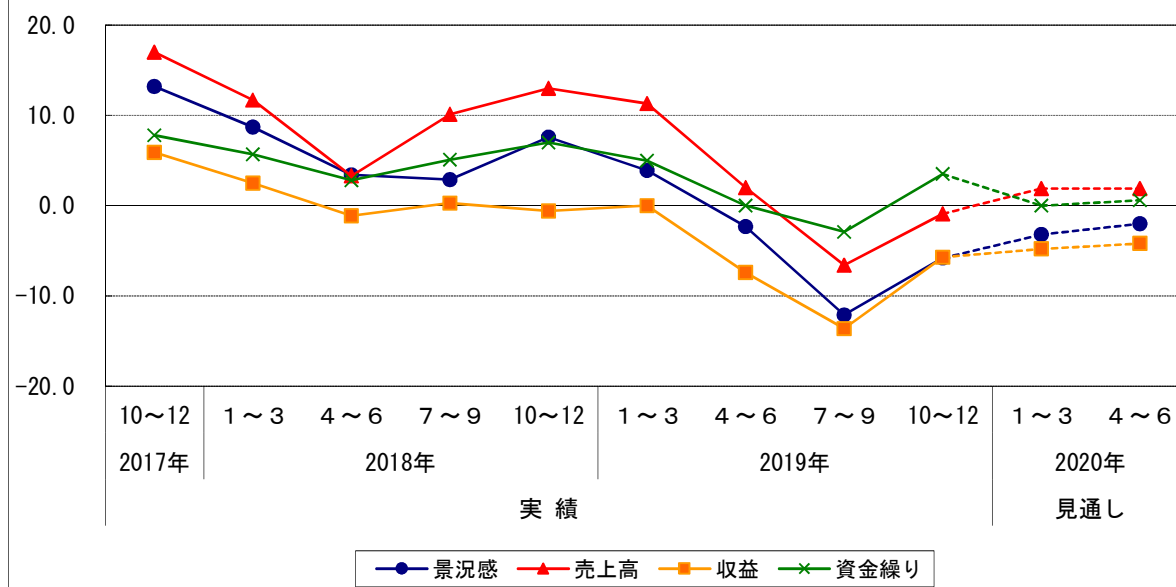
(1) 2019年10～12月期の概況（前回調査比）

- ア 景況感： 6.3ポイント改善、「悪化」超幅が縮小した。
- イ 売上高： 5.7ポイント改善、「減少」超幅が縮小した。
- ウ 収益： 7.9ポイント改善、「減少」超幅が縮小した。
- エ 資金繰り： 6.4ポイント改善、「好転」超に転じた。

(単位：%)

			景況感	売上高	収益	資金繰り	
2017年	10～12月期	実績	13.2	17.0	5.9	7.8	
	1～3月期		8.7	11.7	2.5	5.7	
2018年	4～6月期		3.4	3.3	▲1.1	2.8	
	7～9月期		2.9	10.1	0.3	5.1	
	10～12月期		7.6	13.0	▲0.6	7.0	
2019年	1～3月期		3.9	11.3	0.0	5.0	
	4～6月期		▲2.3	2.0	▲7.4	0.0	
	7～9月期		▲12.1	▲6.6	▲13.6	▲2.9	
	10～12月期		▲5.8	▲0.9	▲5.7	3.5	
2020年	1～3月期		見通し	▲3.2	1.9	▲4.8	0.0
	4～6月期			▲2.0	1.9	▲4.2	0.6

九州の企業景況感BSI等の推移



注) 調査の概要

- 1) 調査対象：株式会社西日本シティ銀行の主要取引先616社（今回の回答社数313社，回答率50.8%）  
地域別回答企業：福岡県267社（構成比85.3%）、福岡県外九州各県46社（同14.7%）
- 2) 調査方法：アンケート方式
- 3) 調査時期：2019年12月1日

※景況動向はBSI方式で表示：BSIとは、「好転・増加・上昇」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・下落」の企業割合を差し引いた指標。

## 企業景況

### 5 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）

(1) 九州・沖縄の業況判断（2019年12月）

- ・全産業 2 四半期ぶりに悪化
- ・製造業 悪化
- ・非製造業 悪化
- ・規模別では、大企業、中堅企業、中小企業すべてで悪化

（「良い」-「悪い」、回答社数構成比%ポイント）

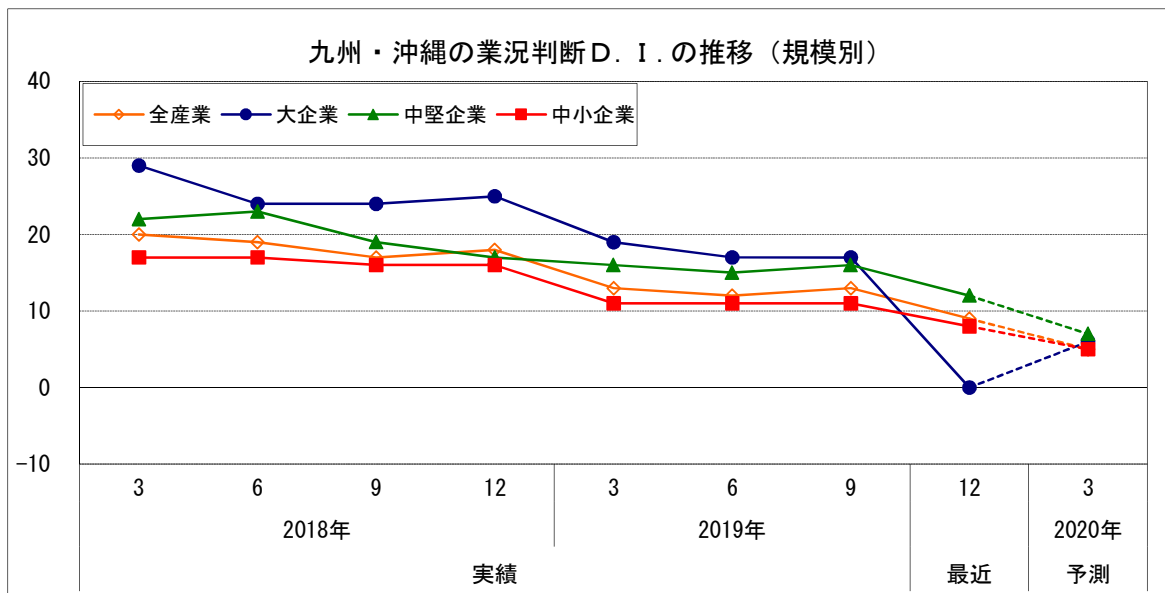
企業短期経済観測調査			業況判断D. I.					
			全産業	業種別		規模別		
				製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
2018年	3月	実績	20	18	21	29	22	17
	6月		19	20	18	24	23	17
	9月		17	15	18	24	19	16
	12月		18	13	20	25	17	16
2019年	3月	最近	13	5	17	19	16	11
	6月		12	5	17	17	15	11
	9月		13	2	18	17	16	11
	12月		9	▲2	14	0	12	8
2020年	3月	予測	5	▲3	9	6	7	5

注) 1)回答期間:11月13日～12月12日

2)対象企業:九州・沖縄の企業 1,135社

3)2018年3月調査において調査対象企業の見直しが行われた。長期時系列グラフ・データは、2017年12月調査までの旧ベースデータと2018年3月調査の新ベースデータを接続。

	対象	回答	回答率
製造業	383	381	99.5%
非製造業	752	749	99.6%
全産業	1,135	1,130	99.6%





## 企業収益

### 1 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行 福岡支店調査結果）（2019年12月）

#### （1）経常利益（九州・沖縄）

2019年度経常利益（計画）は、前年度比3.9%減

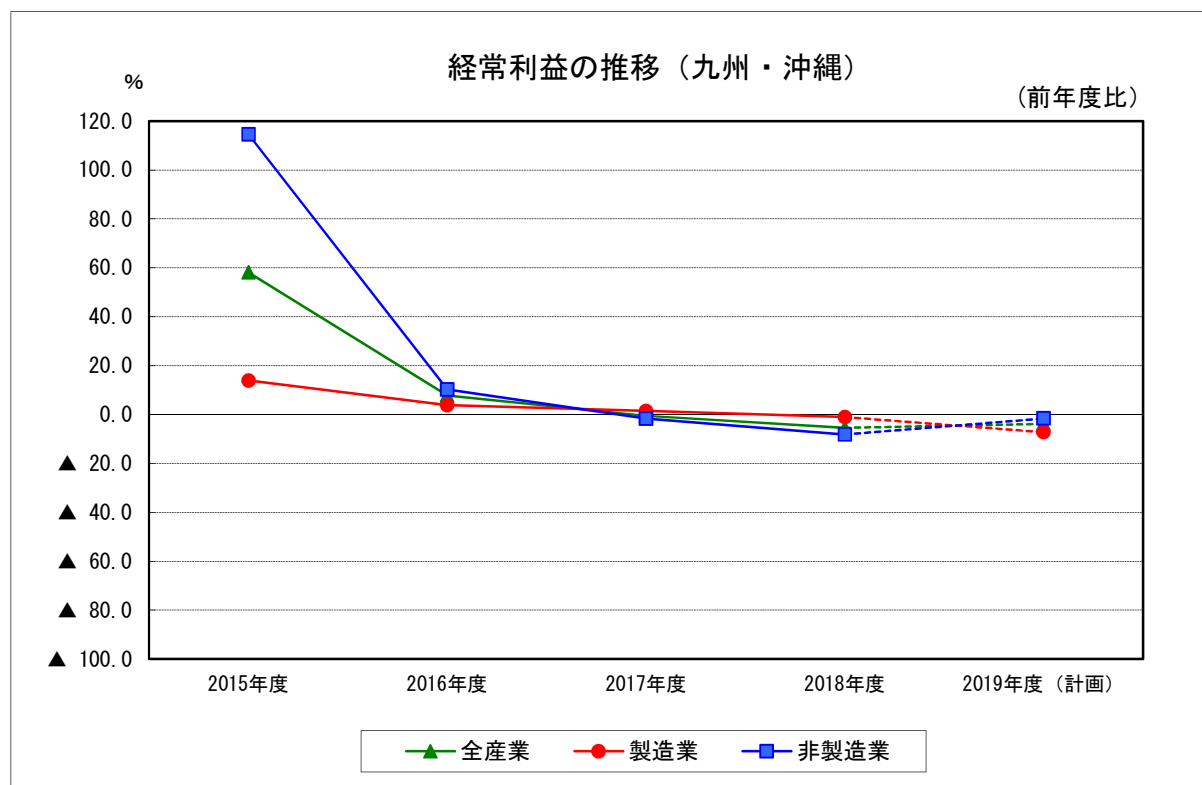
	前年度比 %		
	全産業	製造業	非製造業
2015年度	58.1	13.9	114.6
(除 電力・ガス)	18.0	-	21.8
2016年度	7.7	3.8	10.2
(除 電力・ガス)	9.9	-	14.8
2017年度	▲ 0.6	1.4	▲ 1.7
(除 電力・ガス)	2.1	-	2.6
2018年度	▲ 5.5	▲ 1.1	▲ 8.2
(除 電力・ガス)	▲ 3.5	-	▲ 5.1
2019年度（計画）	▲ 3.9	▲ 7.3	▲ 1.7
(除 電力・ガス)	▲ 3.4	-	▲ 0.6

注) 1)回答期間:11月13日～12月12日

2)対象企業:九州・沖縄の企業 1,135社

3)2018年3月調査において調査対象企業の見直しが行われた。計表中の計数のうち、2016年度以前は調査対象企業見直し前の旧ベースデータ、2017年度以降は見直し後の新ベースデータ。

	対象	回答	回答率
製造業	383	381	99.5%
非製造業	752	749	99.6%
全産業	1,135	1,130	99.6%



## 企業倒産

### 1 倒産件数（2020年2月）

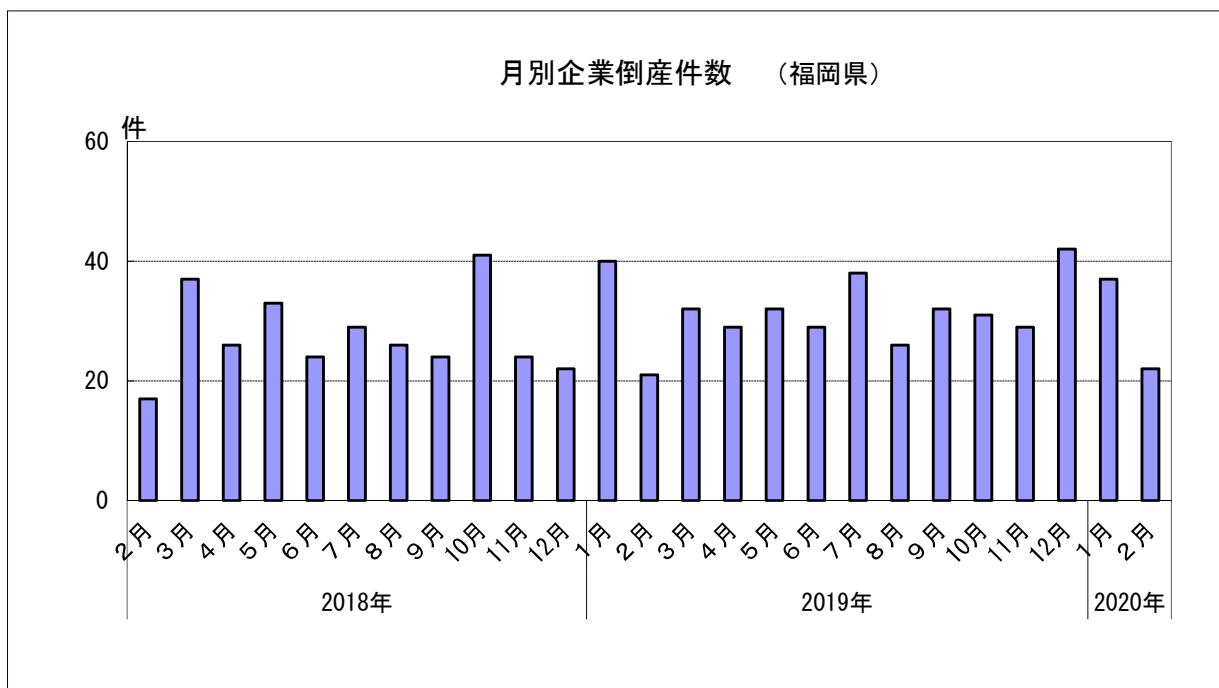
（1）前年同月比：2か月ぶりのプラス

	倒産件数	前年同月比	前年同月差	
2019年	2月	21	23.5	4
	3月	32	▲ 13.5	▲ 5
	4月	29	11.5	3
	5月	32	▲ 3.0	▲ 1
	6月	29	20.8	5
	7月	38	31.0	9
	8月	26	0.0	0
	9月	32	33.3	8
	10月	31	▲ 24.4	▲ 10
	11月	29	20.8	5
	12月	42	90.9	20
	2020年	1月	37	▲ 7.5
2月		22	4.8	1

	倒産件数	前年同期比	前年同期差	
2018年	1～3月	74	▲ 1.3	▲ 1
	4～6月	83	16.9	12
	7～9月	79	33.9	20
	10～12月	87	4.8	4
2019年	1～3月	93	25.7	19
	4～6月	90	8.4	7
	7～9月	96	21.5	17
	10～12月	102	17.2	15

	企業倒産	前年比	前年差
2017年	288	▲ 10.3	▲ 33
2018年	323	12.2	35
2019年	381	18.0	58

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業倒産状況（負債1,000万円以上）」



## 企業倒産

### 2 倒産負債額（2020年2月）

（1）前年同月比：4か月連続のプラス

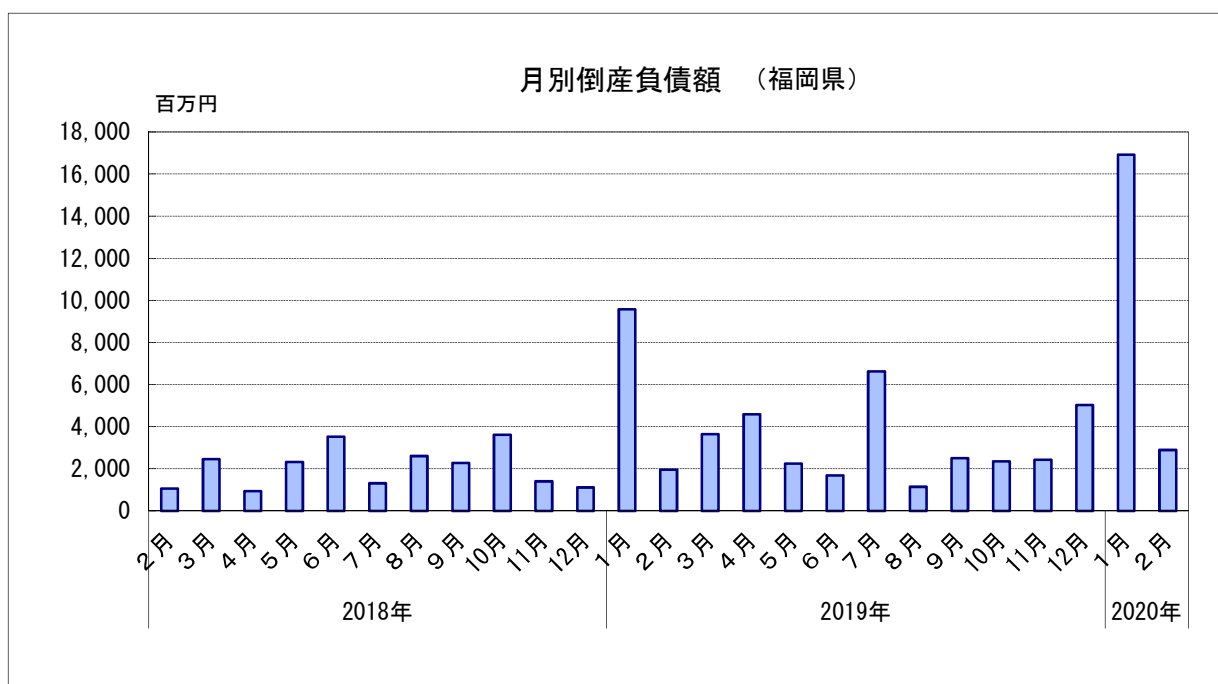
		倒産負債額	前年同月比
2019年	2月	1,957	85.1
	3月	3,648	48.9
	4月	4,590	387.8
	5月	2,243	▲ 3.4
	6月	1,686	▲ 52.2
	7月	6,620	406.5
	8月	1,152	▲ 55.9
	9月	2,494	9.7
	10月	2,342	▲ 35.3
	11月	2,432	74.2
	12月	5,036	353.3
	2020年	1月	16,925
2月		2,898	48.1

		倒産負債額	前年同期比
2018年	1～3月	5,447	▲ 24.1
	4～6月	6,793	▲ 47.8
	7～9月	6,190	24.2
	10～12月	6,126	▲ 58.0
2019年	1～3月	15,183	178.7
	4～6月	8,519	25.4
	7～9月	10,266	65.8
	10～12月	9,810	60.1

	倒産負債額	前年比
2017年	39,773	19.7
2018年	24,556	▲ 38.3
2019年	43,778	78.3

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業倒産状況（負債1,000万円以上）」

倒産負債額単位：百万円



# 消 費

1 二人以上世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）（2019年12月）  
 (1) 前年同月比：2か月連続のマイナス（3か月移動平均）

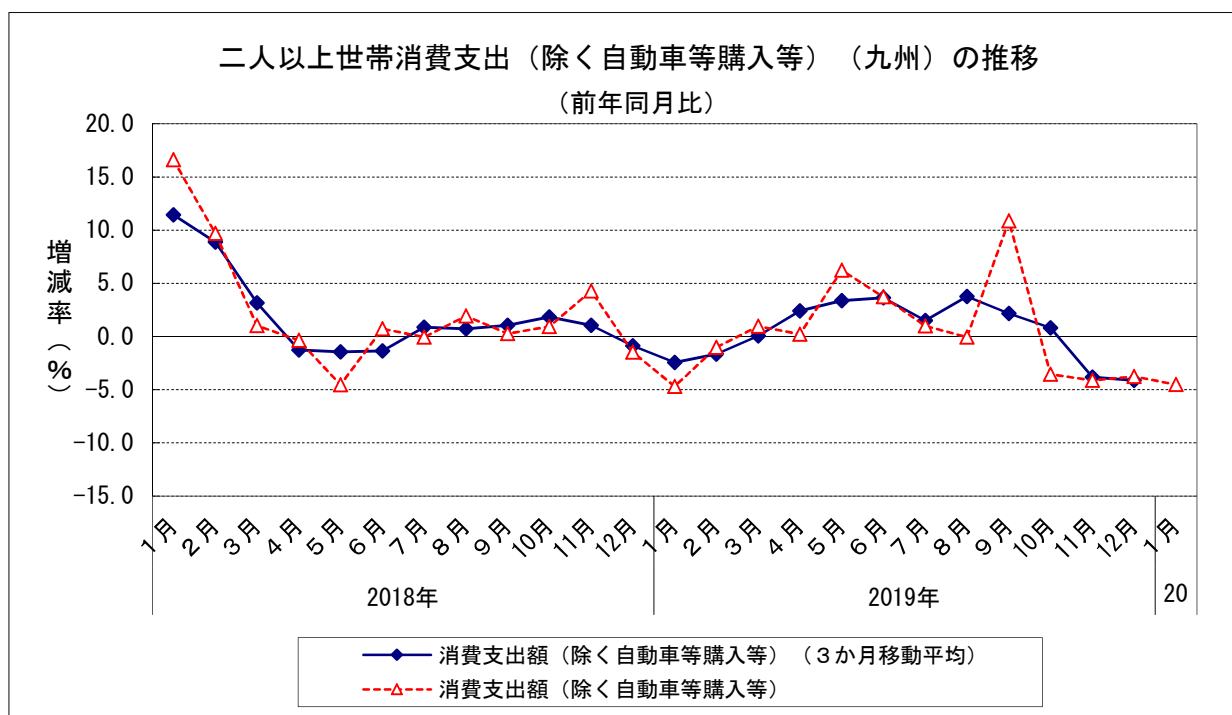
		消費支出額 a	住居の設備修繕・維持 +自動車等購入費 +仕送り金 b	消費支出額 (除く自動車等購入等)		消費支出額 (除く自動車等購入等) (3か月移動平均)	
				a - b	前年同月比		前年同月比
2019年	1月	288,559	20,326	268,233	▲ 4.7	267,221	▲ 2.4
	2月	255,310	15,404	239,906	▲ 1.0	258,251	▲ 1.7
	3月	297,351	30,738	266,613	1.0	252,073	0.1
	4月	273,972	24,273	249,699	0.2	258,350	2.4
	5月	276,499	17,760	258,739	6.2	251,239	3.4
	6月	265,759	20,481	245,278	3.7	251,048	3.7
	7月	278,314	29,186	249,128	1.0	250,935	1.5
	8月	276,493	18,093	258,400	▲ 0.1	255,860	3.8
	9月	286,474	26,421	260,053	10.9	255,185	2.2
	10月	264,517	17,416	247,101	▲ 3.6	249,908	0.8
	11月	259,636	17,067	242,569	▲ 4.1	257,374	▲ 3.8
	12月	296,157	13,704	282,453	▲ 3.8	260,392	▲ 4.1
2020年	1月	269,863	13,709	256,154	▲ 4.5	...	...

資料出所:総務省「家計調査」

単位:円

※消費支出額（除く自動車等購入等）とは、消費支出総額から振れが大きい「自動車等購入」や「住居の設備修繕・維持」、「仕送り金」を除外した額である。

※2018年1月に調査で使用する家計簿の改正が行われたため、前年同月比の値には当該改正の影響による変動が含まれ得る。



# 消費

## 2 二人以上世帯サービス支出額（九州）（2019年12月）

（1）前年同月比：4か月連続のマイナス（3か月移動平均）

		サービス支出			財支出		
			3か月移動平均 前年同月比	うち教養娯楽 サービス支出	3か月移動平均 前年同月比		3か月移動平均 前年同月比
2019年	1月	101,668	▲ 0.9	14,412	12.1	133,293	▲ 4.7
	2月	97,730	▲ 1.1	16,410	14.3	123,276	▲ 3.4
	3月	99,966	0.6	15,724	3.4	140,010	▲ 1.3
	4月	100,592	5.3	14,150	6.2	126,491	▲ 0.5
	5月	108,229	4.6	18,888	2.3	129,938	1.8
	6月	94,888	4.3	15,563	6.5	128,323	2.1
	7月	94,941	▲ 2.2	13,196	▲ 2.5	134,619	3.1
	8月	98,458	0.5	17,261	0.8	135,965	5.4
	9月	104,614	▲ 2.7	17,235	1.1	137,740	5.6
	10月	98,394	▲ 4.5	16,217	▲ 3.1	131,221	5.4
	11月	94,063	▲ 8.2	14,521	▲ 6.4	130,749	1.4
	12月	100,689	▲ 7.2	15,931	▲ 6.9	159,503	▲ 0.2
2020年	1月	95,853	...	13,521	...	127,693	...

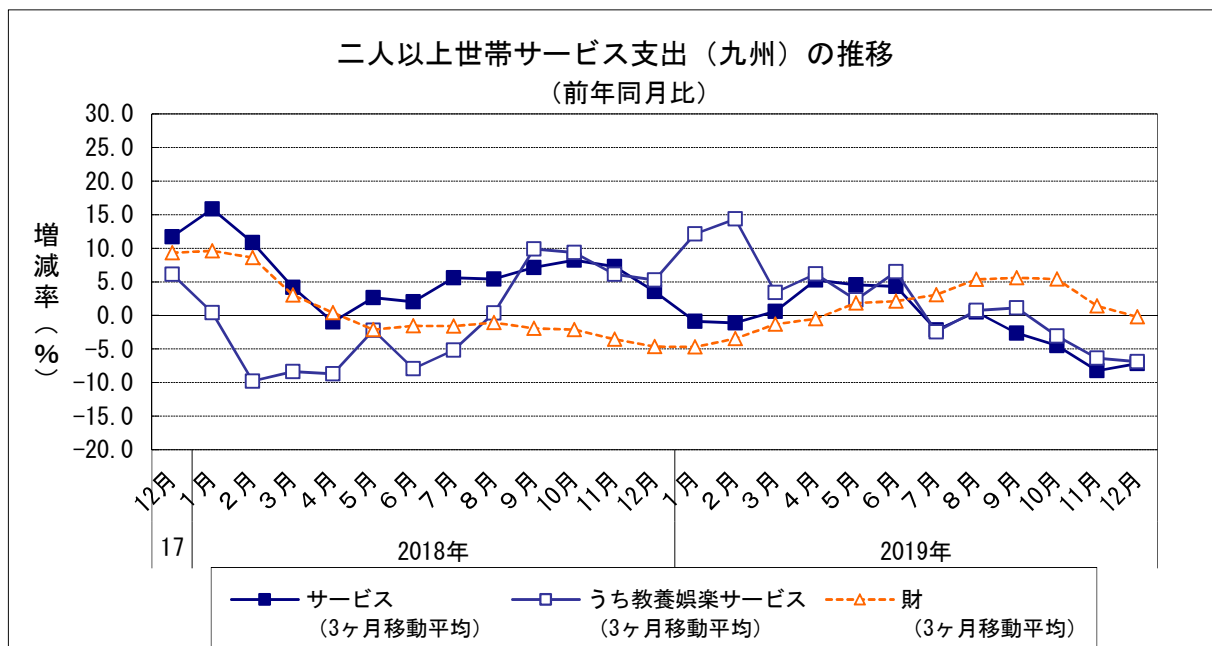
資料出所：総務省「家計調査」

単位：円

※前表の消費支出額（除く自動車等購入等）（a-b）から「こづかい（使途不明）」と「交際費」を除いたものをサービス支出と財支出とに分類したものである。

※サービス支出……財（商品）の購入以外のサービスへの支出（例：外食、家賃、運賃、通信料、宿泊料、パック旅行費、月謝、放送受信料等、映画・演劇・スポーツ等入場料、スポーツクラブ会費、インターネット接続料、理美容サービス代など）

※2018年1月に調査で使用する家計簿の改正が行われたため、前年同月比の値には当該改正の影響による変動が含まれ得る。



## 消費

### 3 小売業販売額（全国、九州・沖縄）（2020年1月）

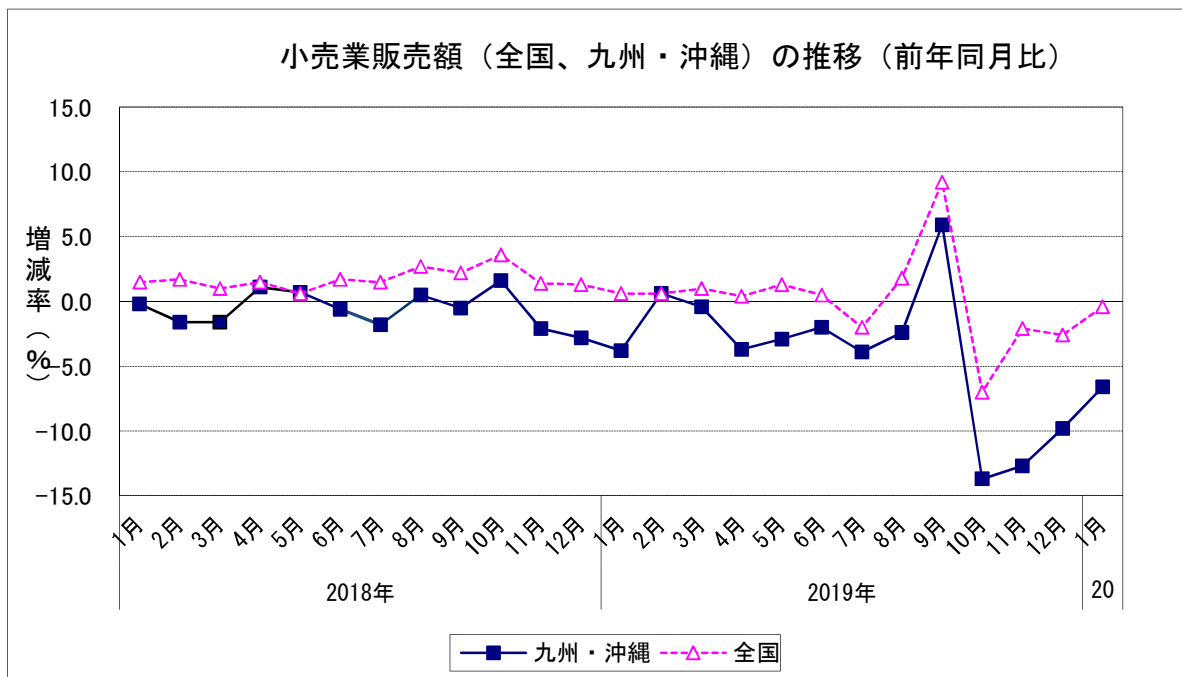
- (1) 前年同月比（全国）：4か月連続のマイナス  
 (2) 前年同月比（九州・沖縄）：4か月連続のマイナス

		全国		九州・沖縄	
		販売額	前年同月比	販売額	前年同月比
2019年	1月	11,831	0.6	1,331	▲ 3.8
	2月	11,037	0.6	1,301	0.6
	3月	12,798	1.0	1,496	▲ 0.4
	4月	12,035	0.4	1,392	▲ 3.7
	5月	11,988	1.3	1,388	▲ 2.9
	6月	11,827	0.5	1,362	▲ 2.0
	7月	12,163	▲ 2.0	1,394	▲ 3.9
	8月	12,029	1.8	1,381	▲ 2.4
	9月	12,603	9.2	1,437	5.9
	10月	11,108	▲ 7.0	1,197	▲ 13.7
	11月	11,865	▲ 2.1	1,229	▲ 12.7
	12月	13,763	▲ 2.6	1,467	▲ 9.8
2020年	1月	11,783	▲ 0.4	1,243	▲ 6.6

資料出所：経済産業省「商業動態統計」  
 販売額単位：10億円

		全国	
		販売額	前年同月比
2017年	10～12月	37,432	1.9
	1～3月	35,405	1.4
2018年	4～6月	35,592	1.3
	7～9月	35,770	2.2
	10～12月	38,196	2.0
2019年	1～3月	35,667	0.7
	4～6月	35,850	0.7
	7～9月	36,794	2.9
	10～12月	36,736	▲ 3.8

	小売業販売額 (全国)	前年比 (全国)
2017年	142,514	1.9
2018年	144,965	1.7
2019年	145,047	0.1



# 消費

## 4 百貨店販売額（2020年1月）

(1) 前年同月比(全店ベース)：4か月連続のマイナス

		百貨店 販売額	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
2019年	1月	27,993	0.8	0.8
	2月	23,358	4.1	4.1
	3月	26,578	▲ 2.6	1.8
	4月	22,823	▲ 3.9	0.3
	5月	23,414	▲ 2.2	1.8
	6月	24,384	▲ 2.0	1.9
	7月	26,840	▲ 4.5	▲ 0.9
	8月	21,697	▲ 6.2	▲ 2.1
	9月	25,689	10.9	15.6
	10月	21,161	▲ 17.7	▲ 14.5
	11月	25,334	▲ 11.0	▲ 7.8
	12月	33,674	▲ 6.9	▲ 3.2
2020年	1月	24,936	▲ 10.9	▲ 4.7

		百貨店 販売額	前年同期比 (全店)
2018年	1～3月	77,499	2.3
	4～6月	72,557	2.9
	7～9月	74,405	0.0
	10～12月	90,362	0.5
	1～3月	77,929	0.6
2019年	4～6月	70,621	▲ 2.7
	7～9月	74,226	▲ 0.2
	10～12月	80,169	▲ 11.3

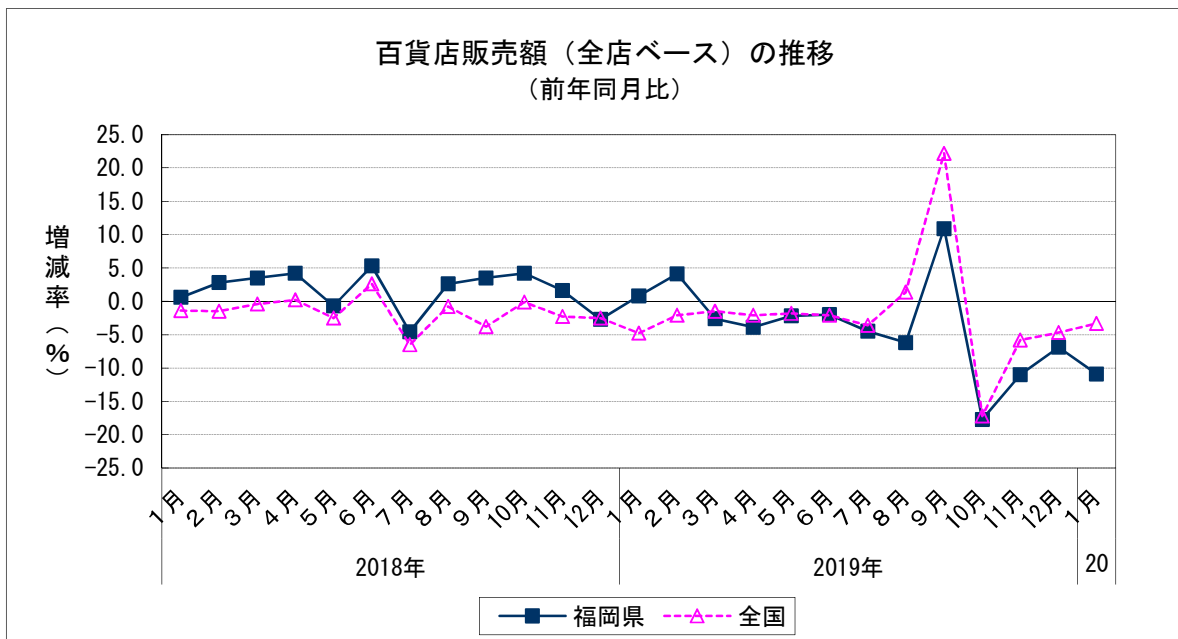
	百貨店販売額	前年比(全店)
2017年	310,602	1.4
2018年	314,823	1.4
2019年	302,945	▲ 3.8

資料出所：経済産業省「商業動態統計」

販売額単位：百万円

※2019年以前の販売額が年間補正後の額である。

※既存店ベースの百貨店販売額の金額は公表されていない。



## 消費

### 5 スーパー販売額（2020年1月）

（1）前年同月比（全店ベース）：4か月連続のマイナス

		スーパー 販売額	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
2019年	1月	29,789	▲ 1.9	▲ 2.4
	2月	26,243	▲ 0.5	0.4
	3月	29,436	0.6	1.6
	4月	28,265	▲ 2.0	▲ 0.5
	5月	29,303	▲ 0.5	1.0
	6月	29,140	0.7	2.0
	7月	30,841	▲ 5.2	▲ 5.4
	8月	31,691	1.8	0.5
	9月	30,748	8.4	8.4
	10月	28,387	▲ 5.7	▲ 6.5
	11月	29,009	▲ 1.4	▲ 1.6
	12月	36,907	▲ 2.4	▲ 2.5
2020年	1月	29,571	▲ 0.7	▲ 1.1

		スーパー 販売額	前年同期比 (全店)
2018年	1～3月	85,986	1.8
	4～6月	87,201	0.3
	7～9月	92,042	0.5
	10～12月	97,369	▲ 1.4
	2019年	1～3月	85,468
4～6月	86,708	▲ 0.6	
7～9月	93,280	1.3	
10～12月	94,303	▲ 3.1	

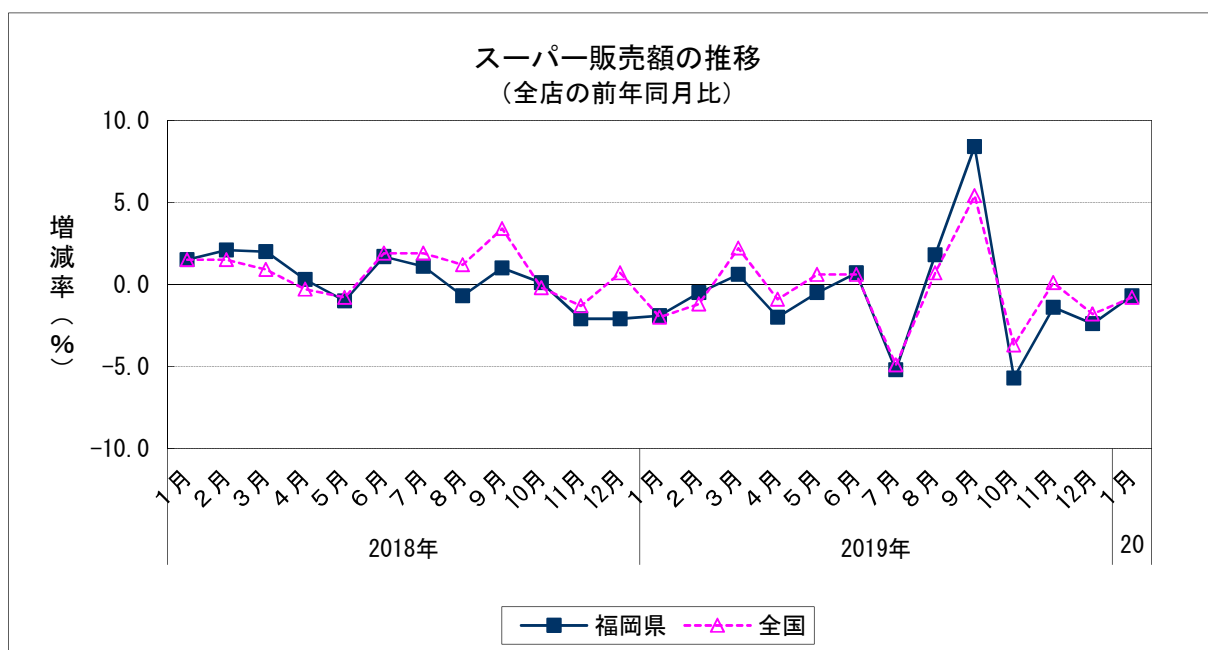
	スーパー販売額	前年比(全店)
2017年	361,746	▲ 0.9
2018年	362,605	0.2
2019年	359,759	▲ 0.8

資料出所：経済産業省「商業動態統計」

販売額単位：百万円

※2019年以前の販売額が年間補正後の額である。

※商業動態統計の見直しがあったことから、2015年7月以降の前年（同期、同月）比増減率は、ギャップを修正するリンク係数で処理した数値で計算している。





# 消費

## 6 コンビニエンス・ストア及び専門量販店販売額（2020年1月）

- (1) コンビニエンスストア前年同月比（全店ベース）：4か月連続のプラス
- (2) 家電大型専門店の前年同月比（全店ベース）：4か月連続のマイナス
- (3) ドラッグストアの前年同月比（全店ベース）：3か月連続のプラス
- (4) ホームセンターの前年同月比（全店ベース）：4か月連続のマイナス

		コンビニエンス・ストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター	
		販売額 (百万円)	前年同月比 (全店)	販売額 (百万円)	前年同月比 (全店)	販売額 (百万円)	前年同月比 (全店)	販売額 (百万円)	前年同月比 (全店)
2019年	1月	40,700	3.1	13,139	▲ 2.7	22,215	7.6	8,565	2.9
	2月	38,543	4.9	10,711	▲ 0.5	21,485	9.2	7,756	2.7
	3月	43,121	2.1	15,294	4.5	24,702	5.9	9,508	0.4
	4月	42,184	2.7	11,879	▲ 0.7	24,604	9.7	10,454	▲ 4.0
	5月	43,459	3.1	12,585	5.5	24,304	5.4	10,977	3.9
	6月	42,864	1.1	13,279	8.8	24,129	7.0	9,827	1.4
	7月	45,489	▲ 1.1	14,485	▲ 8.7	24,799	3.6	9,649	▲ 7.7
	8月	45,558	0.4	14,238	14.1	23,782	1.9	9,908	1.3
	9月	42,995	▲ 0.9	18,403	57.6	26,135	15.7	10,976	23.1
	10月	43,929	4.8	9,197	▲ 12.8	22,502	▲ 3.0	9,404	▲ 4.4
	11月	42,129	2.8	10,495	▲ 10.0	22,706	3.7	9,481	▲ 0.0
	12月	45,401	1.0	14,520	▲ 12.4	25,875	3.3	10,888	▲ 2.1
2020年	1月	41,848	2.8	13,074	▲ 0.5	23,361	5.2	8,324	▲ 2.8

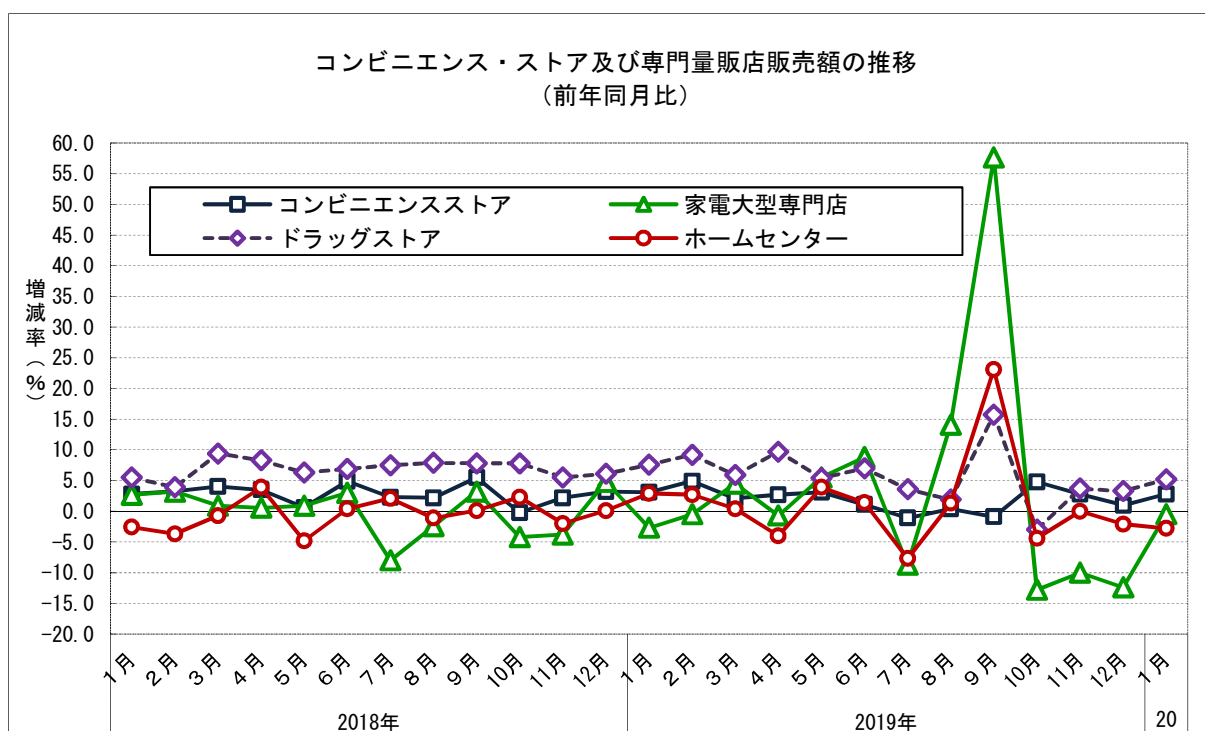
資料出所：経済産業省「商業動態統計」

販売額単位：百万円

※2019年までは年間補正済み数値。

※ドラッグストア販売額は、一部調査対象企業の数値の訂正があり、2019年1月～12月まで遡及して訂正（年間補正）が行われた。

2018年1月～12月分にリンク係数を乗じたものが2019年1月分以降と接続する。



# 消費

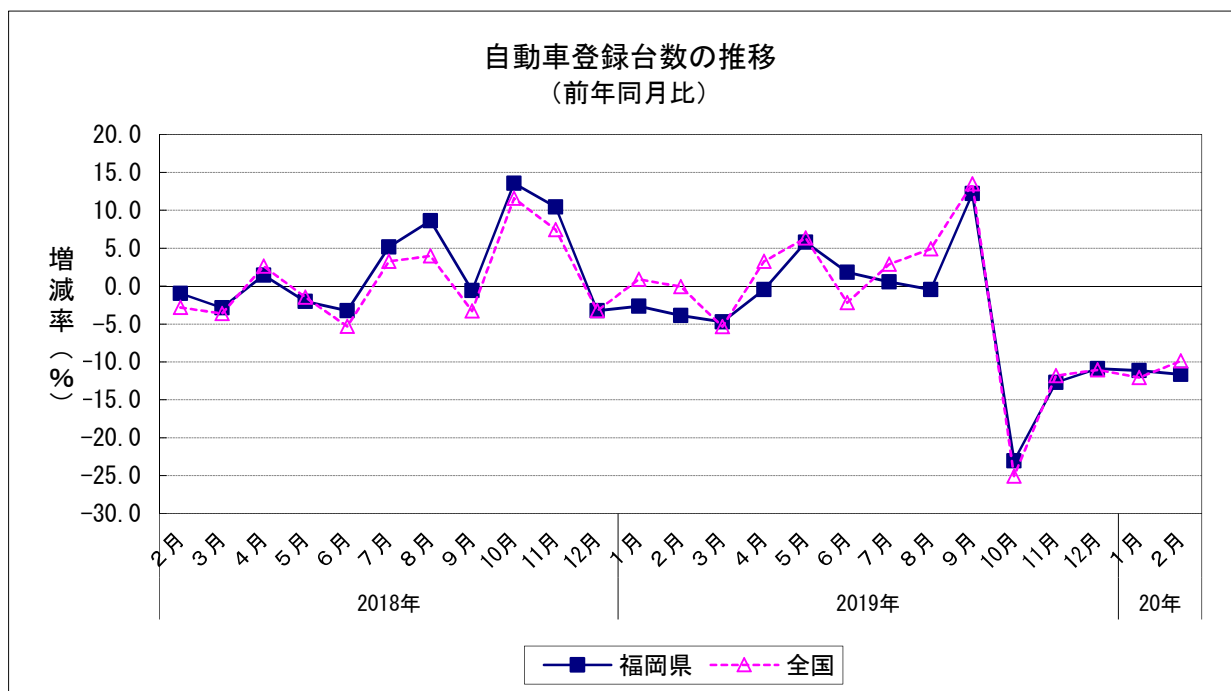
## 7 新車登録台数（2020年2月）（普通車，小型車，軽自動車）

（1）前年同月比：5か月連続のマイナス

		新車登録台数	前年同月比
2019年	2月	17,122	▲ 3.9
	3月	21,504	▲ 4.7
	4月	12,385	▲ 0.5
	5月	13,196	5.8
	6月	15,409	1.8
	7月	15,866	0.6
	8月	13,274	▲ 0.5
	9月	18,903	12.2
	10月	10,810	▲ 23.0
	11月	13,051	▲ 12.7
	12月	11,845	▲ 10.9
	2020年	1月	12,648
	2月	15,130	▲ 11.6

		新車登録台数	前年同期比
2017年	10~12月	39,653	▲ 0.3
	1~3月	55,003	▲ 1.0
2018年	4~6月	40,049	▲ 1.5
	7~9月	45,961	3.9
	10~12月	42,295	6.7
2019年	1~3月	52,858	▲ 3.9
	4~6月	40,990	2.3
	7~9月	48,043	4.5
	10~12月	35,706	▲ 15.6

	新車登録台数	前年比
2017年	180,099	9.1
2018年	183,308	1.8
2019年	177,597	▲ 3.1



## 消費

### 8 新車登録台数の内訳（2020年2月）

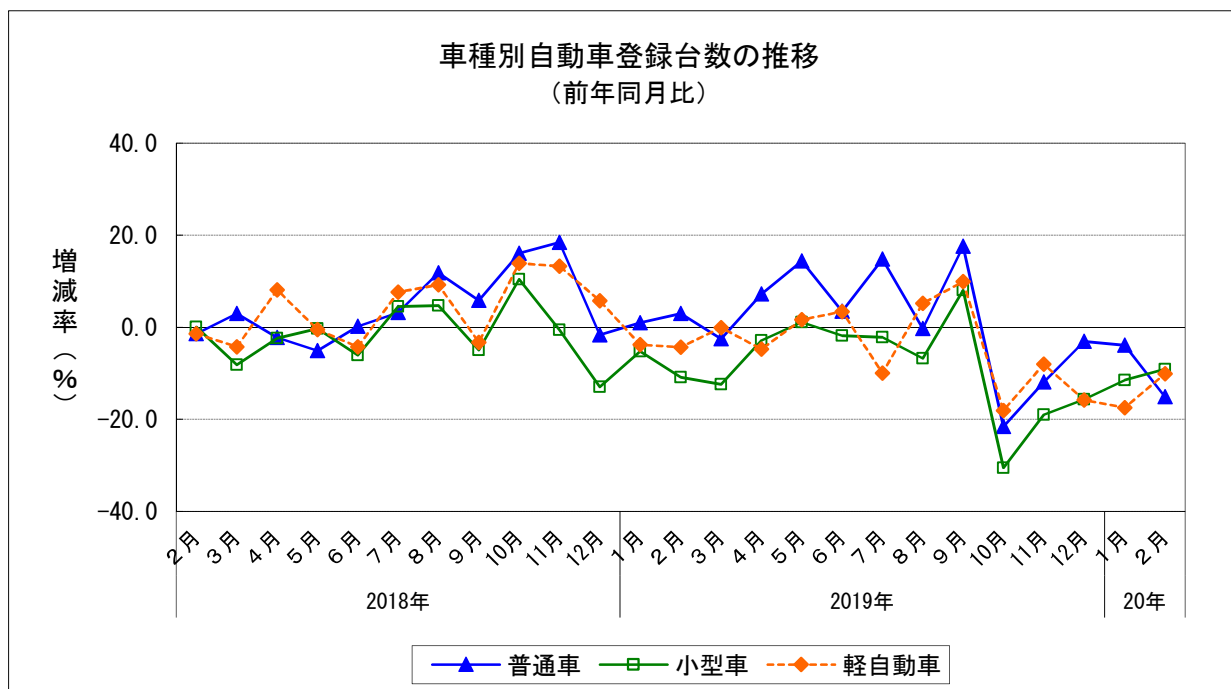
(1) 前年同月比

普通車： 5か月連続のマイナス

小型車： 5か月連続のマイナス

軽自動車： 5か月連続のマイナス

		普通車	前年同月比	小型車	前年同月比	軽自動車	前年同月比
2019年	2月	6,311	3.0	5,007	▲ 10.8	5,804	▲ 4.3
	3月	8,419	▲ 2.5	6,020	▲ 12.4	7,065	▲ 0.1
	4月	4,141	7.2	3,703	▲ 2.8	4,541	▲ 4.8
	5月	4,853	14.4	3,773	1.1	4,570	1.6
	6月	5,719	3.5	4,580	▲ 1.8	5,110	3.4
	7月	5,838	14.8	4,983	▲ 2.2	5,045	▲ 9.9
	8月	4,504	▲ 0.3	3,976	▲ 6.8	4,794	5.2
	9月	7,302	17.6	5,120	8.1	6,481	9.9
	10月	3,833	▲ 21.6	2,949	▲ 30.5	4,028	▲ 18.1
	11月	4,829	▲ 11.9	3,631	▲ 19.0	4,591	▲ 8.0
	12月	4,911	▲ 3.1	3,350	▲ 15.6	3,584	▲ 15.8
	2020年	1月	4,654	▲ 3.9	3,641	▲ 11.5	4,353
	2月	5,360	▲ 15.1	4,550	▲ 9.1	5,220	▲ 10.1



# 消費

## 9 延べ宿泊者数（2019年12月）

（1）前年同月比：3か月ぶりのマイナス

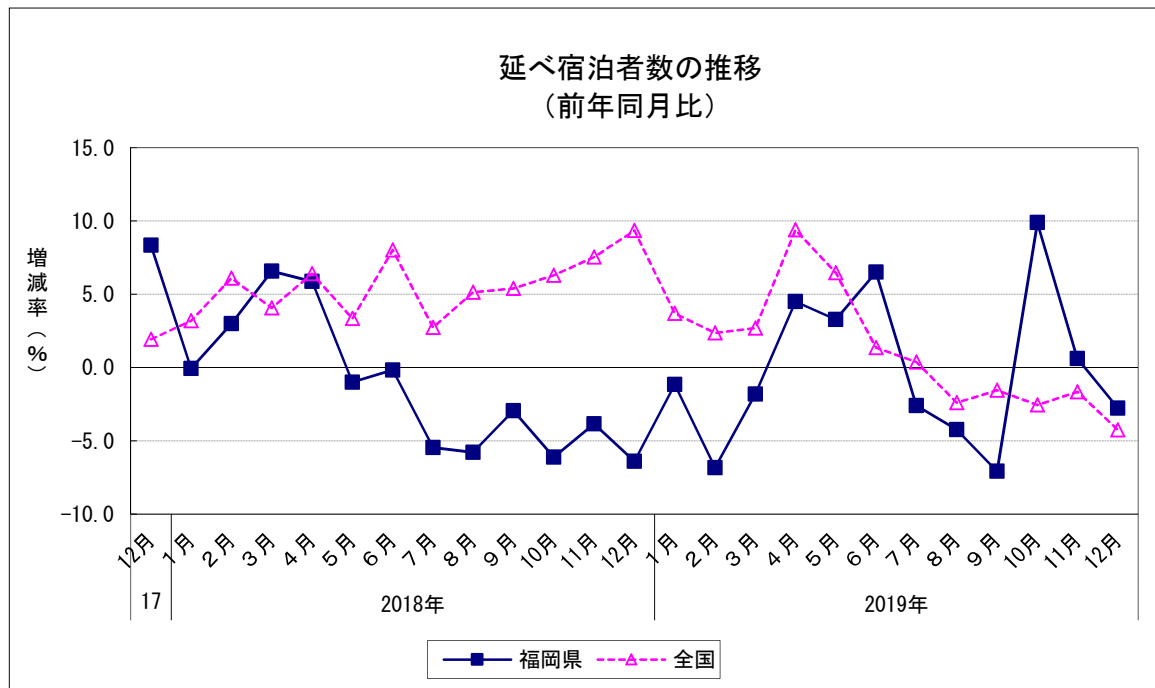
		延べ宿泊者数						稼働率	
		全体	前年同月比	日本人	前年同月比	外国人	前年同月比	全体	前年同月差
2018年	12月	1,368,280	▲ 6.4	1,101,780	▲ 7.7	266,500	▲ 0.4	70.0	▲ 2.5
	1月	1,252,540	▲ 1.2	942,690	▲ 3.9	309,850	8.3	64.1	▲ 0.7
2019年	2月	1,235,340	▲ 6.8	937,750	▲ 10.1	297,590	5.1	73.4	▲ 2.1
	3月	1,450,750	▲ 1.8	1,147,750	▲ 3.4	303,000	4.7	74.3	▲ 1.0
	4月	1,471,250	4.5	1,136,490	5.0	334,760	2.8	74.3	1.2
	5月	1,457,950	3.3	1,163,320	3.5	294,630	2.5	71.3	0.5
	6月	1,391,260	6.5	1,051,120	1.7	340,140	24.9	71.7	1.2
	7月	1,391,460	▲ 2.6	1,110,330	▲ 0.7	281,130	▲ 9.4	70.7	▲ 1.3
	8月	1,530,700	▲ 4.2	1,288,280	▲ 1.6	242,420	▲ 16.0	73.6	0.0
	9月	1,289,300	▲ 7.1	1,088,140	▲ 2.8	201,160	▲ 25.0	67.4	▲ 4.6
	10月	1,485,690	9.9	1,166,380	7.0	319,310	21.9	72.1	▲ 0.1
	11月	1,409,720	0.6	1,180,990	0.6	228,730	0.9	74.9	▲ 1.8
	12月	1,330,310	▲ 2.8	1,096,720	▲ 0.5	233,590	▲ 12.3	67.8	▲ 2.2

	延べ宿泊者数						稼働率	
	全体	前年比	日本人	前年比	外国人	前年比	全体	前年差
2017年	17,001,170	3.2	13,889,100	0.6	3,112,070	16.4	72.8	2.0
2018年	16,731,560	▲ 1.6	13,365,040	▲ 3.8	3,366,520	8.2	72.2	▲ 0.6
2019年	16,696,270	▲ 0.2	13,309,960	▲ 0.4	3,386,310	0.6	71.3	▲ 0.9

資料出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」

延べ宿泊者数単位：人泊

使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 消費

## 10 インターネットを利用した支出状況（九州・沖縄）（2020年1月）

（1）前年同月比：3か月ぶりのプラス

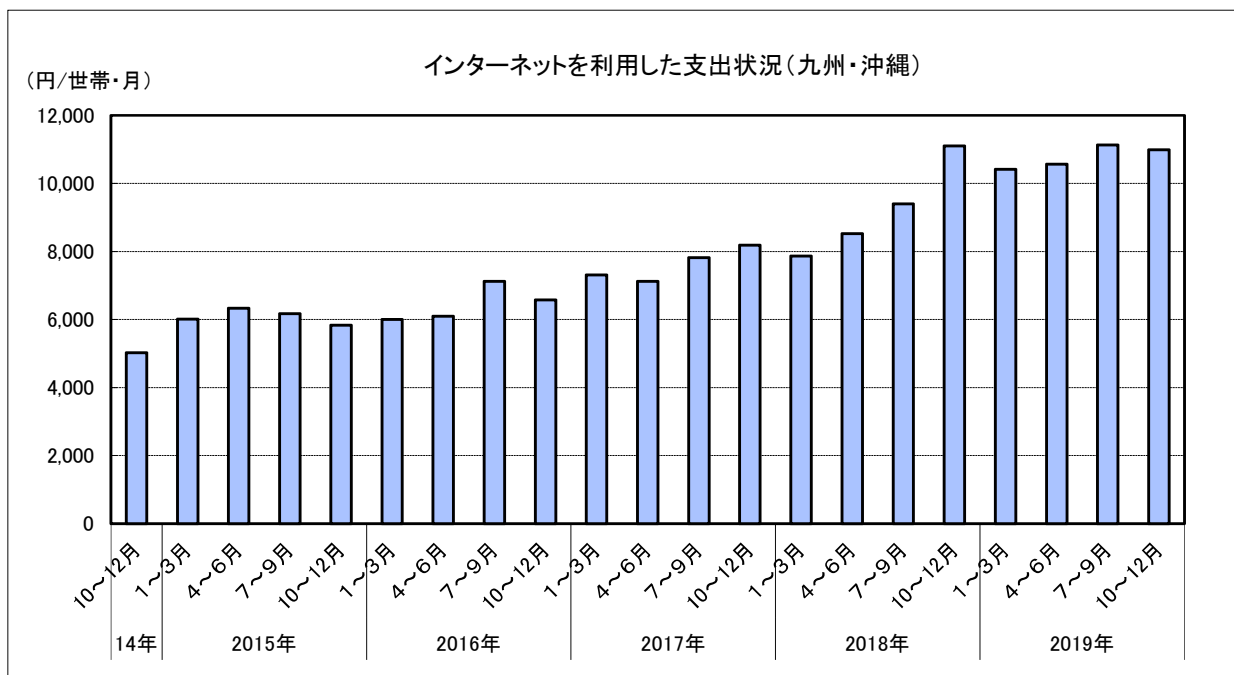
		支出額	前年同月比
2019年	1月	9,913	23.4
	2月	9,907	36.1
	3月	11,424	37.8
	4月	10,249	29.6
	5月	11,361	17.6
	6月	10,104	26.1
	7月	10,695	13.2
	8月	11,554	30.7
	9月	11,144	12.6
	10月	10,096	2.2
	11月	10,411	▲ 3.0
	12月	12,462	▲ 1.8
2020年	1月	10,882	9.8

		平均支出額	前年同期比
2017年	10~12月	8,190	24.6
	1~3月	7,868	7.6
2018年	4~6月	8,529	19.8
	7~9月	9,397	20.1
	10~12月	11,101	35.5
2019年	1~3月	10,415	32.4
	4~6月	10,571	24.0
	7~9月	11,131	18.5
	10~12月	10,990	▲ 1.0

	平均支出額	前年比
2017年	7,610	18.0
2018年	9,224	21.2
2019年	10,777	16.8

資料出所：総務省「家計消費状況調査」

支出額：1ヶ月・1世帯あたり支出額(二人以上世帯)



# 雇 用

## 1 求人・求職状況(2020年1月)

### (1) 有効求人倍率

ア 1.45倍 前月より0.11ポイント減 3か月ぶりの減少

イ 有効求人数：前月比7.0%減、有効求職者数：前月比0.03%減

※有効求人数、有効求職者数及び有効求人倍率はいずれも季節調整値

### ウ 地域別(原数値)

福岡…1.70、北九州…1.44、筑豊…1.26、筑後…1.47

### (2) 新規求人数(原数値)

37,323人 前年同月比：24.6%減 2か月ぶりの減少

### 産業別の前年同月比較

減少産業：金融業・保険業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業

医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業、製造業

不動産業・物品賃貸業、生活関連サービス業・娯楽業

情報通信業、サービス業(他に分類されないもの)

建設業、学術研究・専門技術サービス業

### (3) 新規求職者数(原数値)

20,265人 前年同月比：1.4%減 2か月ぶりの減少

		有効求人倍率	前月差	前年同月差
2019年	1月	1.57	0.01	▲0.04
	2月	1.59	0.02	▲0.01
	3月	1.60	0.01	0.02
	4月	1.62	0.02	0.03
	5月	1.58	▲0.04	▲0.01
	6月	1.58	0.00	▲0.03
	7月	1.56	▲0.02	▲0.06
	8月	1.57	0.01	▲0.04
	9月	1.56	▲0.01	▲0.04
	10月	1.54	▲0.02	▲0.05
	11月	1.55	0.01	▲0.03
	12月	1.56	0.01	0.00
2020年	1月	1.45	▲0.11	▲0.12

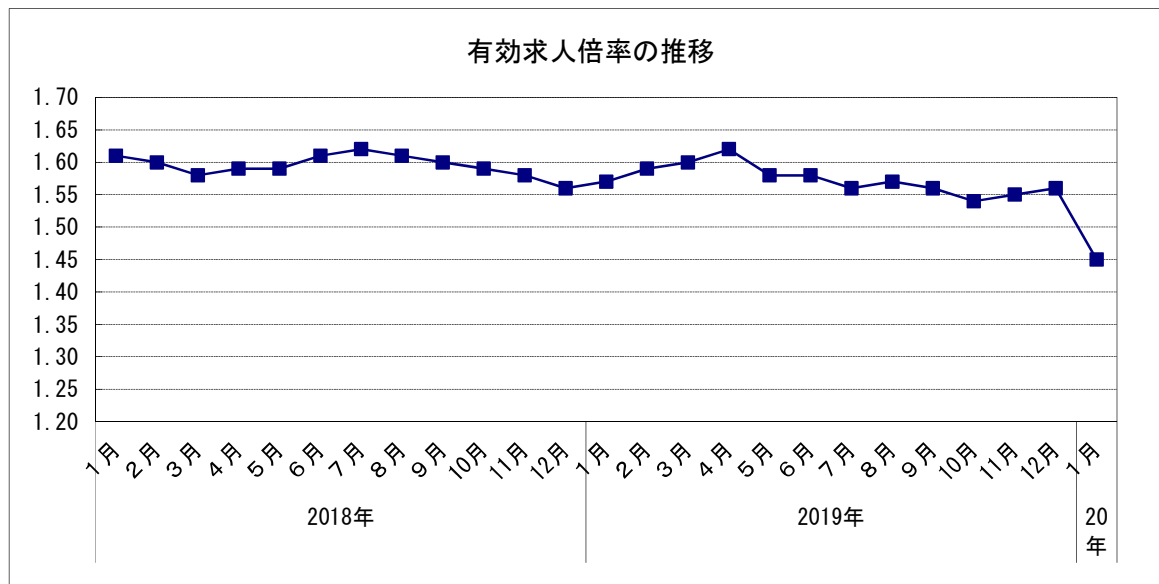
		有効求人倍率	前期差	前年同期差
2018年	1～3月	1.60	0.00	0.19
	4～6月	1.60	0.00	0.14
	7～9月	1.61	0.01	0.09
	10～12月	1.58	▲0.03	▲0.02
2019年	1～3月	1.59	0.01	▲0.01
	4～6月	1.59	0.00	▲0.01
	7～9月	1.56	▲0.03	▲0.05
	10～12月	1.55	▲0.01	▲0.03

	有効求人倍率	前年差
2016年度	1.36	0.20
2017年度	1.54	0.18
2018年度	1.59	0.05

資料出所：厚生労働省福岡労働局「雇用失業情勢について」

※数値は季節調整値。なお、2019年12月以前の数値は、

2020年1月分公表時に新季節指数により改定されている。



# 雇 用

## 2 きまって支給する給与（2020年1月）

(1) 前年同月比：0.8%増 26か月ぶりの増加

(2015年=100)

		きまって支給する給与			現金給与総額		
		金額	指数	前年同月比	金額	指数	前年同月比
2019年	1月	237,557	96.4	▲4.0	254,184	85.4	▲2.4
	2月	236,968	96.2	▲3.2	239,269	80.4	▲3.2
	3月	239,484	97.2	▲4.0	254,527	85.5	▲5.0
	4月	242,519	98.4	▲4.0	251,032	84.3	▲3.2
	5月	240,975	97.8	▲3.6	257,827	86.6	0.1
	6月	239,908	97.4	▲3.5	371,256	124.7	▲11.9
	7月	243,021	98.6	▲1.9	355,535	119.4	▲0.1
	8月	240,947	97.8	▲2.0	256,279	86.1	▲3.1
	9月	241,511	98.0	▲1.2	246,593	82.8	▲1.3
	10月	244,666	99.3	▲0.9	248,705	83.5	▲0.2
	11月	239,856	97.4	▲2.3	256,846	86.3	▲1.9
	12月	241,802	98.1	▲2.2	489,934	164.6	▲8.7
2020年	1月	239,566	97.2	0.8	255,086	85.7	0.4

年平均	現金給与総額		
	金額	指数	前年比
2016年	308,207	103.5	3.5
2017年	309,894	104.0	0.5
2018年	302,818	101.7	▲2.2

資料：福岡県調査統計課

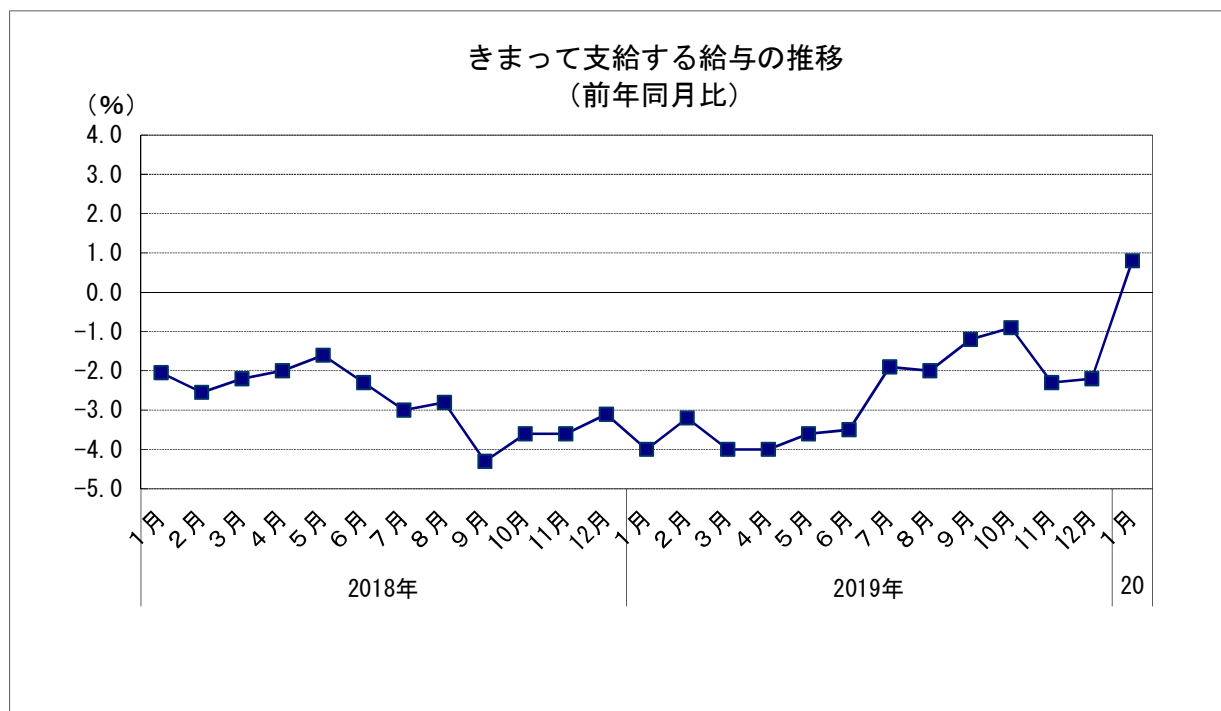
「毎月勤労統計調査地方調査」

対象：調査産業計、全規模（5人以上）の事業所  
単位：円、%

「きまって支給する給与」は、所定内給与と超過労働給与を合わせたもの。

「現金給与総額」は、きまって支給する給与に特別に支払われた給与（ボーナスなど）を合わせたもの。

前年同月比及び前年比は、指数により算出。



# 雇 用

## 3 就業状態（2019年10-12月期）

- (1) 就業者：2,592千人。前年同期と比べ35期連続の増加。
- (2) 完全失業者：74千人。前年同期と比べ増加。
- (3) 完全失業率：2.8%。前年同期と同じ。

\* 完全失業率＝「完全失業者」÷（「就業者」＋「完全失業者」）×100

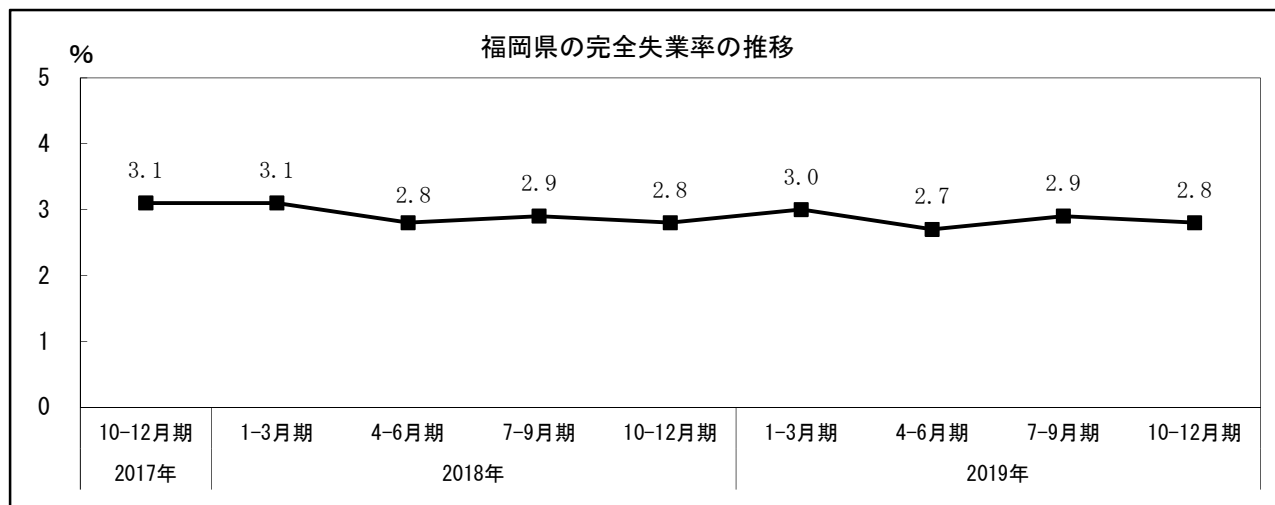
（単位：千人、％）

		労働力人口	就業者数	完全失業者数	非労働力人口	完全失業率
2014年		2,561	2,444	116	1,853	4.5
2015年		2,571	2,465	106	1,848	4.1
2016年		2,574	2,484	90	1,850	3.5
2017年		2,610	2,523	87	1,817	3.3
2018年		2,636	2,559	77	1,794	2.9
2019年	1-3月期	2,626	2,545	80	1,802	3.0
	4-6月期	2,679	2,607	72	1,746	2.7
	7-9月期	2,649	2,572	78	1,782	2.9
	10-12月期	2,666	2,592	74	1,767	2.8
前年同期増減		24	23	1	▲ 21	0.0

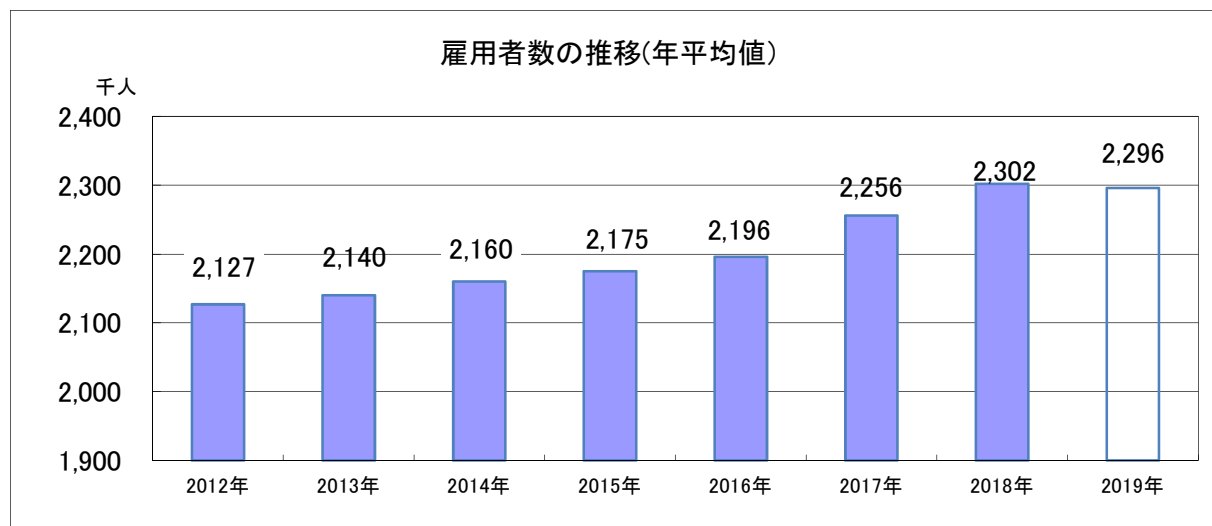
資料出所：総務省「労働力調査」

注）・1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算が行われ、前年までの過去5年間の四半期平均及び年平均結果が遡及改定されます。

注）・非労働力人口には、15歳未満は含みません。



資料出所：総務省「労働力調査」



注）・県の雇用者数は、労働力調査に基づく推計値であり、福岡県で独自に公表しているものです。

・2019年の雇用者数は、1～12月期の平均値です。



## 雇 用

### 4 雇用保険被保険者数（2020年1月）

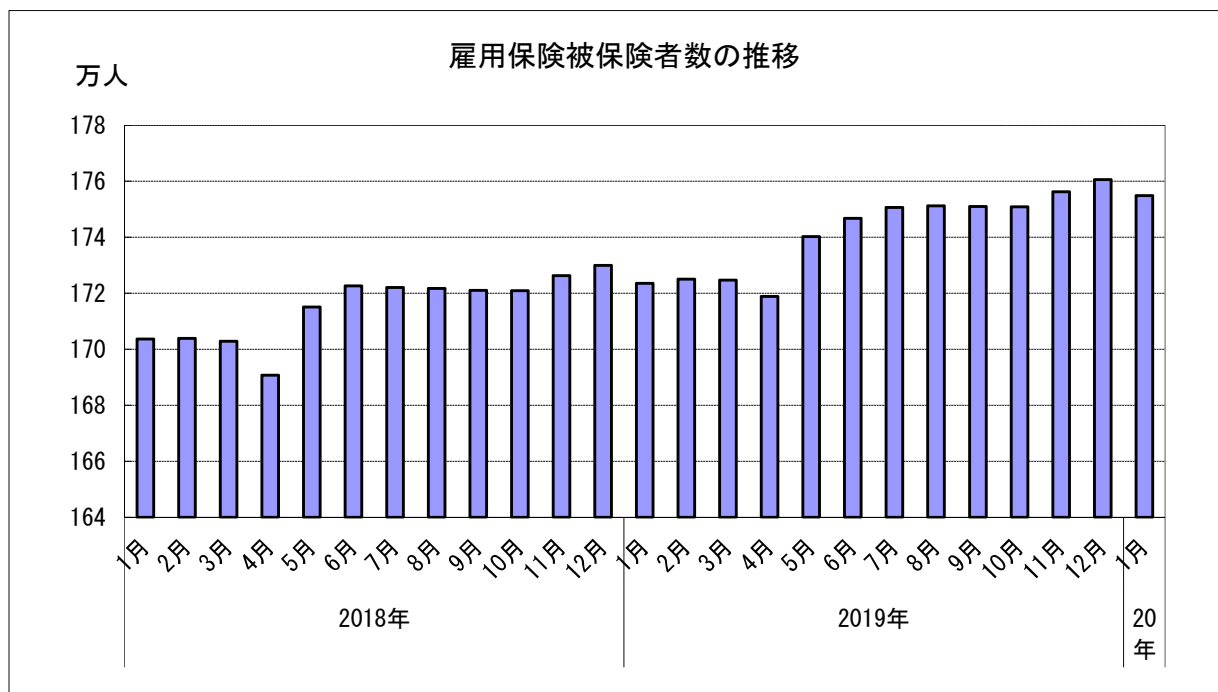
（1）前年同月比：124か月連続のプラス

		被保険者数	前年 同月比
2019年	1月	1,723,529	1.2
	2月	1,725,056	1.2
	3月	1,724,697	1.3
	4月	1,718,819	1.7
	5月	1,740,319	1.5
	6月	1,746,791	1.4
	7月	1,750,712	1.7
	8月	1,751,290	1.7
	9月	1,751,058	1.7
	10月	1,750,886	1.7
	11月	1,756,275	1.7
	12月	1,760,603	1.8
2020年	1月	1,754,855	1.8

		被保険者数	前年 同期比
2018年	1～3月	1,703,474	3.4
	4～6月	1,709,484	2.1
	7～9月	1,721,655	1.5
	10～12月	1,725,758	1.3
2019年	1～3月	1,724,427	1.2
	4～6月	1,735,310	1.5
	7～9月	1,751,020	1.7
	10～12月	1,755,921	1.7

	被保険者数	前年比
2016年度	1,632,726	1.9
2017年度	1,694,716	3.8
2018年度	1,720,331	1.5

資料出所：厚生労働省福岡労働局「雇用失業情勢について」



## 住宅投資

### 1 新設住宅着工戸数（2020年1月）

(1) 前年同月比：3か月連続のマイナス

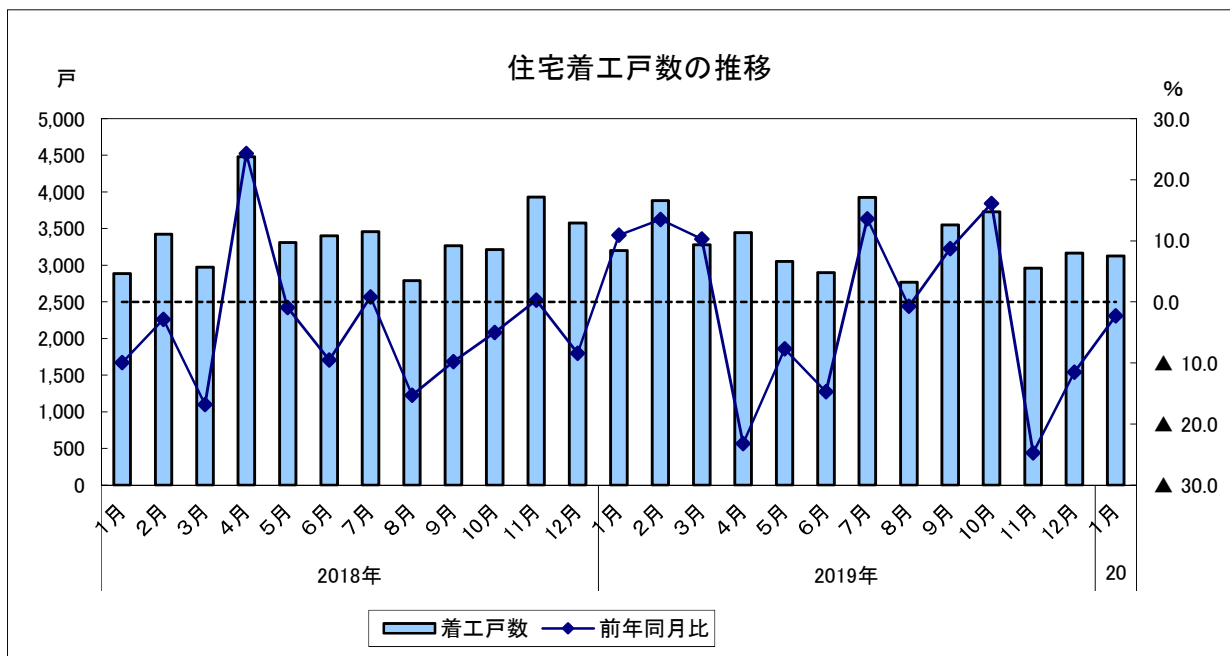
		着工戸数	前年同月比
2019年	1月	3,199	10.9
	2月	3,883	13.5
	3月	3,280	10.3
	4月	3,444	▲ 23.2
	5月	3,053	▲ 7.7
	6月	2,900	▲ 14.7
	7月	3,927	13.6
	8月	2,770	▲ 0.7
	9月	3,550	8.7
	10月	3,729	16.1
	11月	2,961	▲ 24.7
	12月	3,164	▲ 11.5
2020年	1月	3,126	▲ 2.3

		着工戸数	前年同期比
2018年	1～3月	9,280	▲ 9.9
	4～6月	11,191	4.5
	7～9月	9,512	▲ 8.0
	10～12月	10,721	▲ 4.4
2019年	1～3月	10,362	11.7
	4～6月	9,397	▲ 16.0
	7～9月	10,247	7.7
	10～12月	9,854	▲ 8.1

	着工戸数	前年比
2017年	42,557	▲ 0.7
2018年	40,704	▲ 4.3
2019年	39,860	▲ 2.1

資料出所：国土交通省「建築着工統計調査」

住宅着工戸数単位：戸



## 住宅投資

### 2 新設住宅着工戸数の内訳（2020年1月）

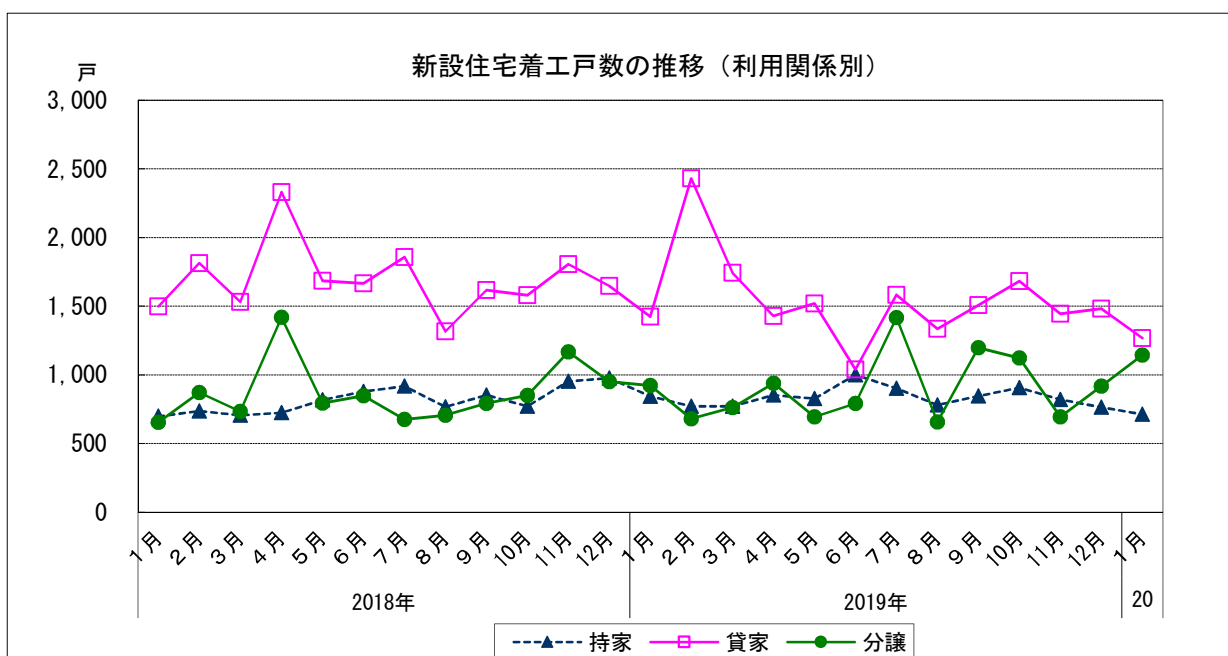
#### (1) 前年同月比（利用関係別）

- ア 持家：3か月連続のマイナス
- イ 貸家：3か月連続のマイナス
- ウ 分譲：3か月ぶりのプラス

	持家		貸家		分譲			持家		貸家		分譲			
	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比			
2019年	1月	843	20.9	1,424	▲4.9	922	41.2	2018年	1～3月	2,137	▲9.4	4,841	▲18.9	2,256	18.9
	2月	770	4.8	2,430	34.0	679	▲22.0		4～6月	2,419	▲5.1	5,683	▲5.0	3,059	44.6
	3月	771	9.4	1,742	13.9	760	3.7		7～9月	2,537	▲0.2	4,788	▲5.1	2,171	▲19.9
	4月	852	17.8	1,427	▲38.8	939	▲33.8		10～12月	2,697	▲0.9	5,032	▲19.1	2,967	33.8
	5月	826	1.0	1,519	▲9.9	693	▲12.6	2019年	1～3月	2,384	11.6	5,596	15.6	2,361	4.7
	6月	1,000	13.9	1,039	▲37.7	792	▲6.6		4～6月	2,678	10.7	3,985	▲29.9	2,424	▲20.8
	7月	900	▲2.0	1,581	▲14.9	1,416	109.8		7～9月	2,524	▲0.5	4,423	▲7.6	3,269	50.6
	8月	779	1.7	1,334	1.4	656	▲7.0		10～12月	2,490	▲7.7	4,607	▲8.4	2,734	▲7.9
	9月	845	▲0.9	1,508	▲6.7	1,197	51.3								
	10月	906	17.7	1,682	6.5	1,123	32.1								
	11月	820	▲13.9	1,444	▲20.0	694	▲40.5								
	12月	764	▲21.6	1,481	▲10.1	917	▲3.6								
2020年	1月	712	▲15.5	1,267	▲11.0	1,143	24.0								
									持家	前年比	貸家	前年比	分譲	前年比	
								2017年	10,172	0.7	23,214	▲4.8	8,943	10.8	
								2018年	9,790	▲3.7	20,344	▲12.3	10,453	16.8	
								2019年	10,076	2.9	18,611	▲8.5	10,788	3.2	

資料出所：国土交通省「建築着工統計調査」

住宅着工戸数単位：戸



## 公共投資

### 1 公共工事請負額（2020年2月）

（1）前年同月比：2か月連続のプラス

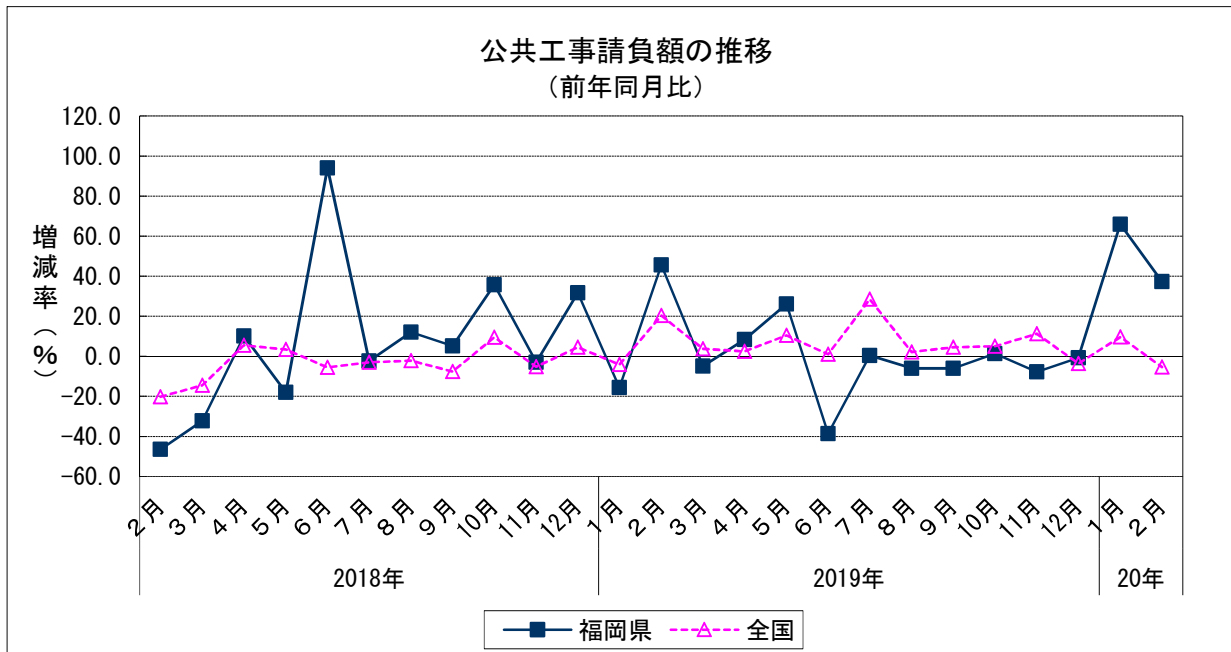
		請負額	前年同月比
2019年	2月	19,346	45.7
	3月	32,948	▲ 4.9
	4月	51,223	8.3
	5月	37,495	26.1
	6月	45,874	▲ 38.6
	7月	41,571	0.4
	8月	38,447	▲ 6.0
	9月	40,883	▲ 6.0
	10月	57,130	1.4
	11月	30,742	▲ 7.8
	12月	31,203	▲ 0.7
	2020年	1月	31,518
2月		26,554	37.3

		請負額	前年同期比
2018年	1～3月	70,421	▲ 26.2
	4～6月	151,750	28.9
	7～9月	125,790	4.6
	10～12月	121,125	21.4
2019年	1～3月	71,288	1.2
	4～6月	134,593	▲ 11.3
	7～9月	120,902	▲ 3.9
	10～12月	119,077	▲ 1.7

	請負額	前年比
2016年度	463,100	15.8
2017年度	408,122	▲ 11.9
2018年度	469,953	15.2

資料出所：西日本建設業保証株式会社

工事請負額単位：百万円



## 公共投資

### 2 公共工事請負額の内訳（2020年2月）

プラス：国（2か月連続）、市町村（2か月連続）、その他公共的団体等（5か月連続）  
 マイナス：県（2か月ぶり）

		国	前年同月比	県	前年同月比	市町村	前年同月比	その他	前年同月比
2019年	2月	2,280	25.3	9,870	60.2	4,663	7.1	2,531	169.5
	3月	5,919	▲26.2	14,259	▲4.5	10,965	17.2	1,804	▲22.2
	4月	6,553	27.4	9,776	92.6	29,128	1.4	5,764	▲31.1
	5月	10,760	42.2	4,968	9.7	11,858	▲14.2	9,907	158.8
	6月	8,012	5.6	5,927	38.6	27,323	▲3.9	4,610	▲86.6
	7月	5,881	130.1	6,711	▲23.4	20,542	▲17.8	8,436	65.3
	8月	4,714	▲39.5	10,618	5.7	12,662	▲35.8	10,450	214.2
	9月	6,501	7.7	11,858	▲6.7	16,928	▲4.2	5,593	▲21.0
	10月	5,679	▲46.2	15,907	▲4.9	21,265	▲6.9	14,278	129.1
	11月	2,052	▲57.8	8,930	▲18.6	15,079	5.4	4,680	45.7
	12月	3,023	▲24.8	11,728	▲2.1	8,942	▲6.0	7,508	26.9
	2020年	1月	8,480	351.8	12,093	40.1	8,746	30.7	2,198
2月		9,050	296.9	6,629	▲32.8	6,791	45.6	4,081	61.2

		国	前年同期比	県	前年同期比	市町村	前年同期比	その他	前年同期比
2018年	1～3月	16,089	▲6.1	26,652	▲7.7	19,697	▲29.0	7,982	▲63.2
	4～6月	20,301	6.9	13,878	16.0	70,976	26.7	46,594	51.5
	7～9月	16,388	17.3	31,512	38.7	62,372	▲1.7	15,517	▲22.8
	10～12月	19,434	126.5	39,669	45.3	46,659	25.4	15,363	▲42.4
2019年	1～3月	10,077	▲37.4	32,762	22.9	22,322	13.3	6,127	▲23.2
	4～6月	25,326	24.8	20,672	49.0	68,310	▲3.8	20,283	▲56.5
	7～9月	17,098	4.3	29,187	▲7.4	50,134	▲19.6	24,483	57.8
	10～12月	10,756	▲44.7	36,567	▲7.8	45,287	▲2.9	26,468	72.3

	国	前年比	県	前年比	市町村	前年比	その他	前年比
2016年度	57,389	19.1	117,985	15.8	186,276	▲1.1	101,447	65.2
2017年度	57,626	0.4	88,635	▲24.9	176,363	▲5.3	85,495	▲15.7
2018年度	66,200	14.9	117,821	32.9	202,329	14.7	83,601	▲2.2

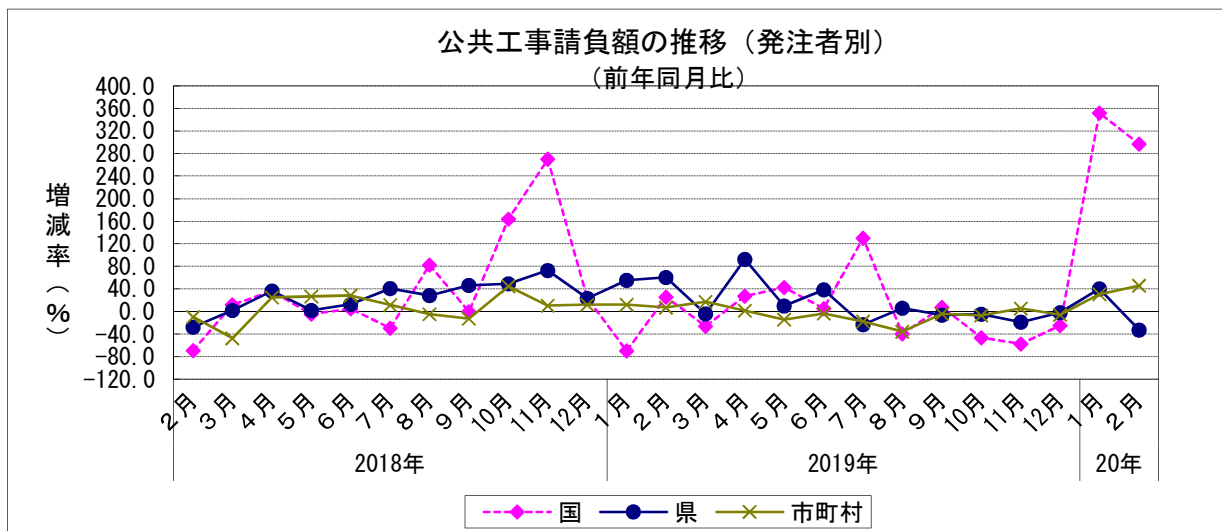
	国	前年比	県	前年比	市町村	前年比	その他	前年比
2018年4月～2019年2月累計	60,280	21.5	103,562	40.5	191,364	14.6	81,796	▲1.7
2019年4月～2020年2月累計	70,711	17.3	105,149	1.5	179,269	▲6.3	77,514	▲5.2

資料出所：西日本建設業保証株式会社

着工予定額単位：百万円

※その他公共的団体等には、独立行政法人等も含む。

※表示桁数の関係で、各月の合計と累計値が合わない場合がある



# 物 価

## 1 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合・福岡市）（2020年2月）

（1）前年同月比：41か月連続のプラス

(2015年=100)

		消費者物価指数	前年同月比
2019年	2月	101.8	0.6
	3月	102.0	0.8
	4月	102.3	0.9
	5月	102.1	0.6
	6月	102.0	0.7
	7月	102.1	0.8
	8月	102.4	1.0
	9月	102.4	1.0
	10月	102.5	0.8
	11月	102.6	0.6
	12月	102.6	1.0
	2020年	1月	102.4
	2月	102.2	0.4

(2015年=100)

		消費者物価指数	前年同期比
2018年	1～3月	101.2	0.8
	4～6月	101.4	0.6
	7～9月	101.3	0.5
	10～12月	101.8	0.7
2019年	1～3月	101.8	0.6
	4～6月	102.1	0.7
	7～9月	102.3	1.0
	10～12月	102.6	0.8

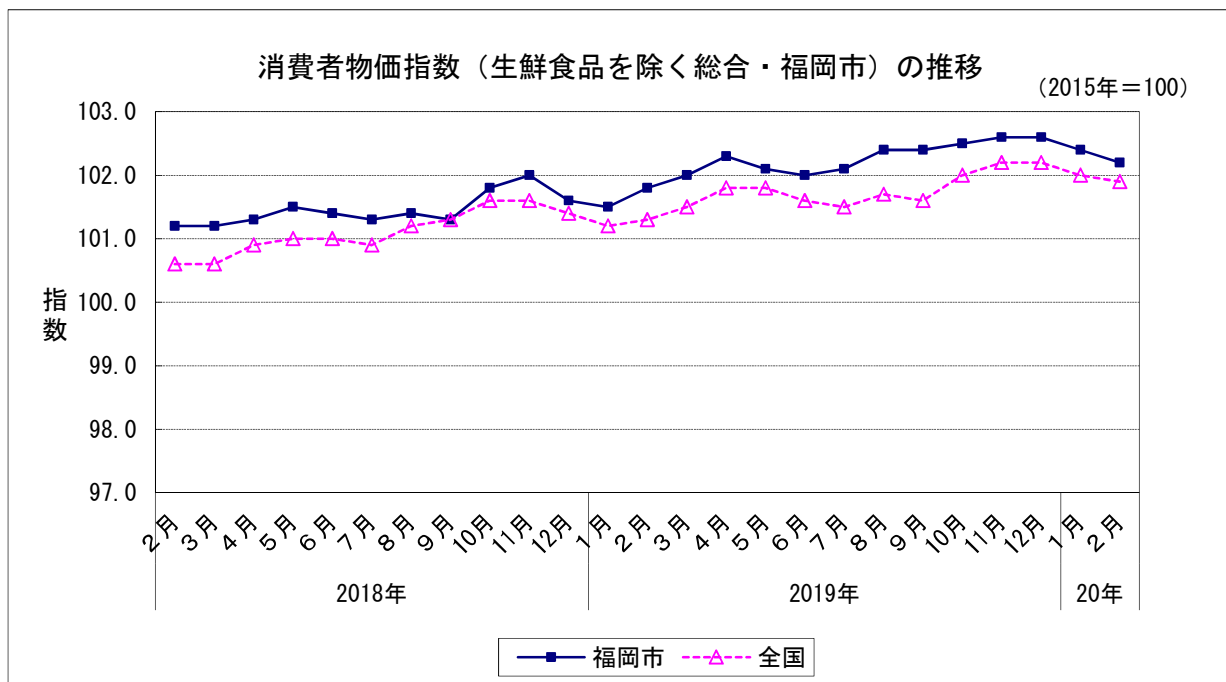
(2015年=100)

	消費者物価指数	前年比
2017年	100.8	0.6
2018年	101.4	0.6
2019年	102.2	0.8

資料出所：福岡県調査統計課「消費者物価指数」

※消費者物価指数は2016年8月公表分より基準改定を行い、2015年=100となった。

過去のデータも遡及して改定している。



# 物 価

## 2 企業物価指数（国内企業物価指数）（2020年2月）

（1）前年同月比：4か月連続のプラス

(2015年平均=100)

		指 数	前年同月比
2019年	2月	101.2	0.9
	3月	101.5	1.3
	4月	101.9	1.3
	5月	101.8	0.7
	6月	101.2	▲ 0.2
	7月	101.1	▲ 0.7
	8月	100.9	▲ 0.9
	9月	100.9	▲ 1.1
	10月	102.1	▲ 0.3
	11月	102.2	0.2
	12月	102.3	0.9
	2020年	1月	102.4
	2月	p102.0	0.8

(2015年平均=100)

		指 数	前年同期比
2018年	1～3月	100.3	2.5
	4～6月	101.0	2.6
	7～9月	101.9	3.1
	10～12月	101.9	2.2
	2019年	1～3月	101.2
	4～6月	101.6	0.6
	7～9月	101.0	▲ 0.9
	10～12月	102.2	0.3

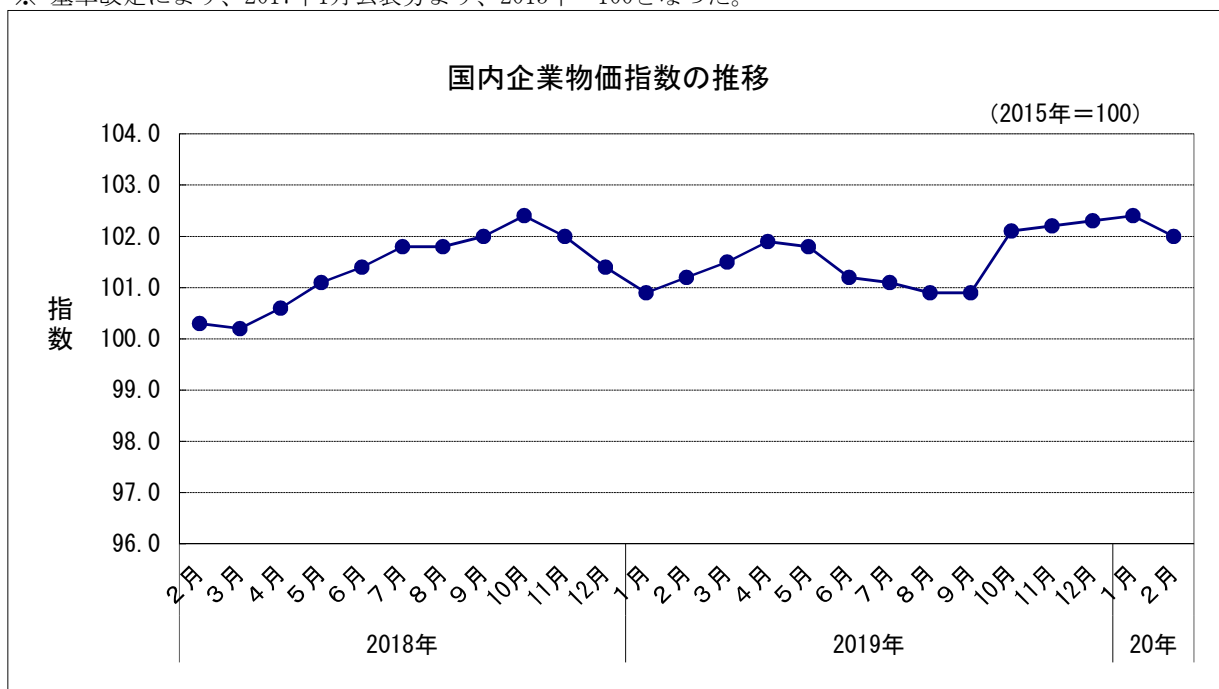
(2015年平均=100)

	指 数	前年比
2017年	98.7	2.3
2018年	101.3	2.6
2019年	101.5	0.2

資料出所：日本銀行「企業物価指数」

※ p は速報値。

※ 基準改定により、2017年1月公表分より、2015年=100となった。



## 物 価

### 3 原油価格とガソリン価格

- (1) 原油価格（ドバイ）（2020年2月）：2か月連続の下落
- (2) 原油価格（WTI）（2020年2月）：2か月連続の下落
- (3) ガソリン価格（2020年2月）：3か月ぶりの下落
- (4) 灯油価格（2020年2月）：3か月ぶりの下落

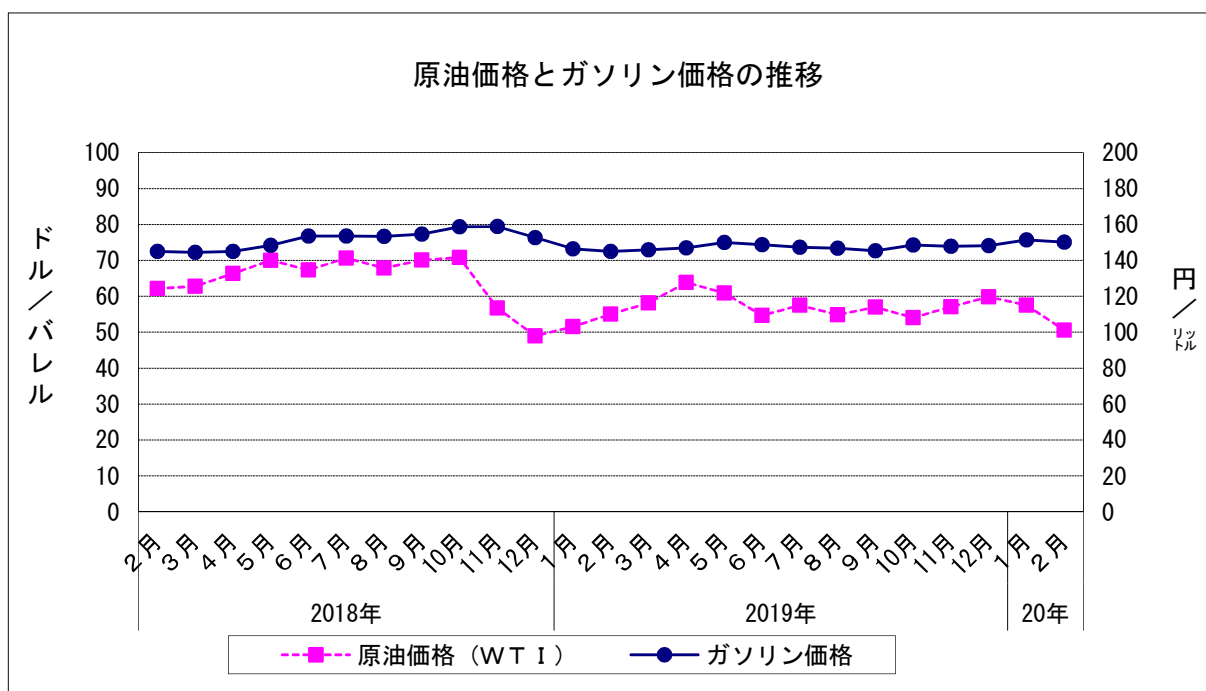
		原油価格(ドバイ)		原油価格(WTI)		ガソリン価格 (福岡地区)		灯油価格 (福岡地区)	
		ドル/バレル	前月差	ドル/バレル	前月差	円/リットル	前月差	円/18リットル	前月差
2019年	2月	64.47	4.56	54.98	3.43	145.0	▲ 1.5	1,563	▲ 18
	3月	66.78	2.31	58.17	3.19	145.8	0.9	1,572	9
	4月	70.84	4.07	63.87	5.70	146.9	1.1	1,595	22
	5月	69.52	▲ 1.32	60.87	▲ 3.01	150.0	3.2	1,631	36
	6月	61.71	▲ 7.81	54.71	▲ 6.16	148.7	▲ 1.3	1,625	▲ 6
	7月	63.05	1.34	57.55	2.84	147.3	▲ 1.3	1,607	▲ 18
	8月	59.03	▲ 4.03	54.84	▲ 2.70	146.7	▲ 0.7	1,604	▲ 3
	9月	60.94	1.91	56.97	2.12	145.3	▲ 1.3	1,596	▲ 8
	10月	59.23	▲ 1.70	54.01	▲ 2.96	148.5	3.1	1,622	26
	11月	61.91	2.67	57.07	3.06	147.9	▲ 0.6	1,615	▲ 7
	12月	64.68	2.77	59.80	2.73	148.3	0.4	1,617	2
	2020年	1月	63.70	▲ 0.98	57.53	▲ 2.28	151.3	3.1	1,662
2月		54.49	▲ 9.21	50.54	▲ 6.99	150.2	▲ 1.1	1,649	▲ 13

※ガソリン及び灯油価格は、2011年4月分より月次データが無くなったため、週次データを月毎に単純平均した。  
それに伴い、過去のデータも修正した。

資料出所：資源エネルギー庁、日本経済新聞

※原油価格（ドバイ）は、東京原油スポット市場の日々の終値を月毎に単純平均したもの。

※原油価格（WTI）は、NY商品市場の日々の終値を月毎に単純平均したもの。





# 金融

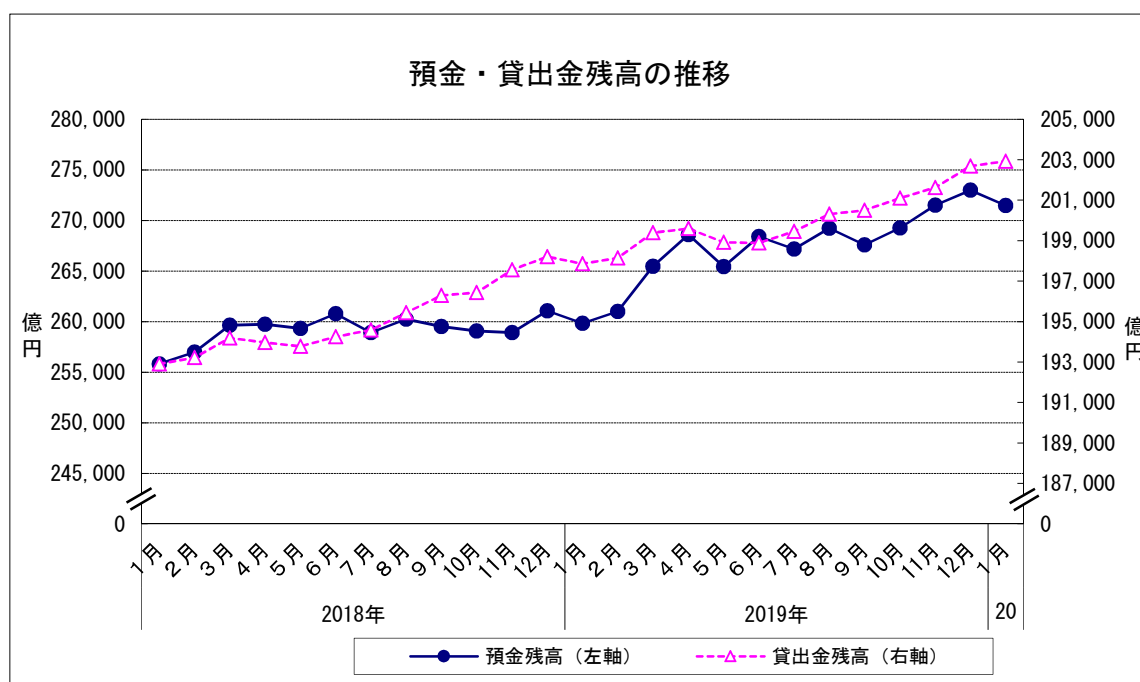
- 1 預金残高 (2020年1月)  
 (1) 前月比 : 4か月ぶりのマイナス  
 2 貸出金残高 (2020年1月)  
 (1) 前月比 : 7か月連続のプラス  
 (2) 前年同月比 : 113か月連続のプラス

		預金残高		貸出金残高		
		残高	前月比	残高	前月比	前年同月比
2019年	1月	259,837	▲ 0.47	197,851	▲ 0.18	2.56
	2月	261,000	0.45	198,149	0.15	2.55
	3月	265,452	1.71	199,386	0.62	2.67
	4月	268,603	1.19	199,606	0.11	2.91
	5月	265,442	▲ 1.18	198,924	▲ 0.34	2.65
	6月	268,404	1.12	198,884	▲ 0.02	2.38
	7月	267,173	▲ 0.46	199,454	0.29	2.50
	8月	269,245	0.78	200,317	0.43	2.50
	9月	267,591	▲ 0.61	200,506	0.09	2.15
	10月	269,260	0.62	201,098	0.30	2.38
	11月	271,497	0.83	201,618	0.26	2.05
	12月	272,984	0.55	202,682	0.53	2.26
2020年	1月	271,482	▲ 0.55	202,929	0.12	2.57

※預金残高、貸出金残高は国内銀行及び農業協同組合の合計

残高単位：億円

資料出所：日本銀行福岡支店、JA福岡信連



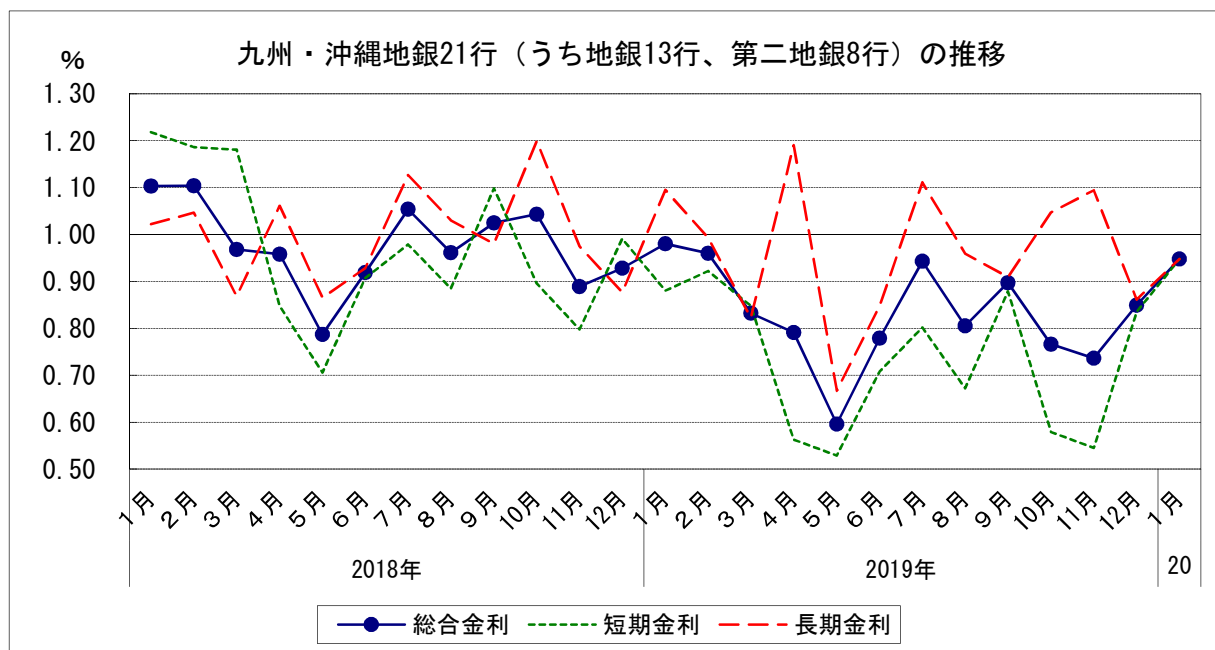
## 金融

### 3 金利(九州・沖縄地銀21行(うち地銀13行、第二地銀8行)貸出約定平均金利)(2020年1月)

- (1) 総合金利  
 ア 前月差： 2か月連続の上昇  
 イ 前年同月差： 30か月連続の下落
- (2) 短期金利  
 ア 前月差： 2か月連続の上昇  
 イ 前年同月差： 30か月ぶりの上昇
- (3) 長期金利  
 ア 前月差： 2か月ぶりの上昇  
 イ 前年同月差： 2か月連続の下落

		総合金利			短期金利			長期金利		
		前月差	前年同月差		前月差	前年同月差		前月差	前年同月差	
2019年	1月	0.980	▲ 0.052	▲ 0.123	0.880	▲ 0.111	▲ 0.338	1.095	0.218	0.073
	2月	0.960	▲ 0.020	▲ 0.144	0.922	0.042	▲ 0.264	0.993	▲ 0.102	▲ 0.053
	3月	0.832	▲ 0.128	▲ 0.136	0.848	▲ 0.074	▲ 0.333	0.822	▲ 0.171	▲ 0.047
	4月	0.791	▲ 0.041	▲ 0.167	0.563	▲ 0.285	▲ 0.284	1.190	0.368	0.129
	5月	0.596	▲ 0.195	▲ 0.191	0.529	▲ 0.034	▲ 0.177	0.667	▲ 0.523	▲ 0.198
	6月	0.779	0.183	▲ 0.140	0.708	0.179	▲ 0.199	0.848	0.181	▲ 0.080
	7月	0.943	0.164	▲ 0.111	0.802	0.094	▲ 0.177	1.111	0.263	▲ 0.016
	8月	0.805	▲ 0.138	▲ 0.156	0.672	▲ 0.130	▲ 0.213	0.959	▲ 0.152	▲ 0.071
	9月	0.897	0.092	▲ 0.128	0.879	0.207	▲ 0.219	0.909	▲ 0.050	▲ 0.071
	10月	0.766	▲ 0.131	▲ 0.277	0.579	▲ 0.300	▲ 0.317	1.047	0.138	▲ 0.152
	11月	0.736	▲ 0.030	▲ 0.153	0.545	▲ 0.034	▲ 0.253	1.094	0.047	0.119
	12月	0.849	0.113	▲ 0.079	0.835	0.290	▲ 0.156	0.861	▲ 0.233	▲ 0.016
2020年	1月	0.948	0.099	▲ 0.032	0.948	0.113	0.068	0.948	0.087	▲ 0.147

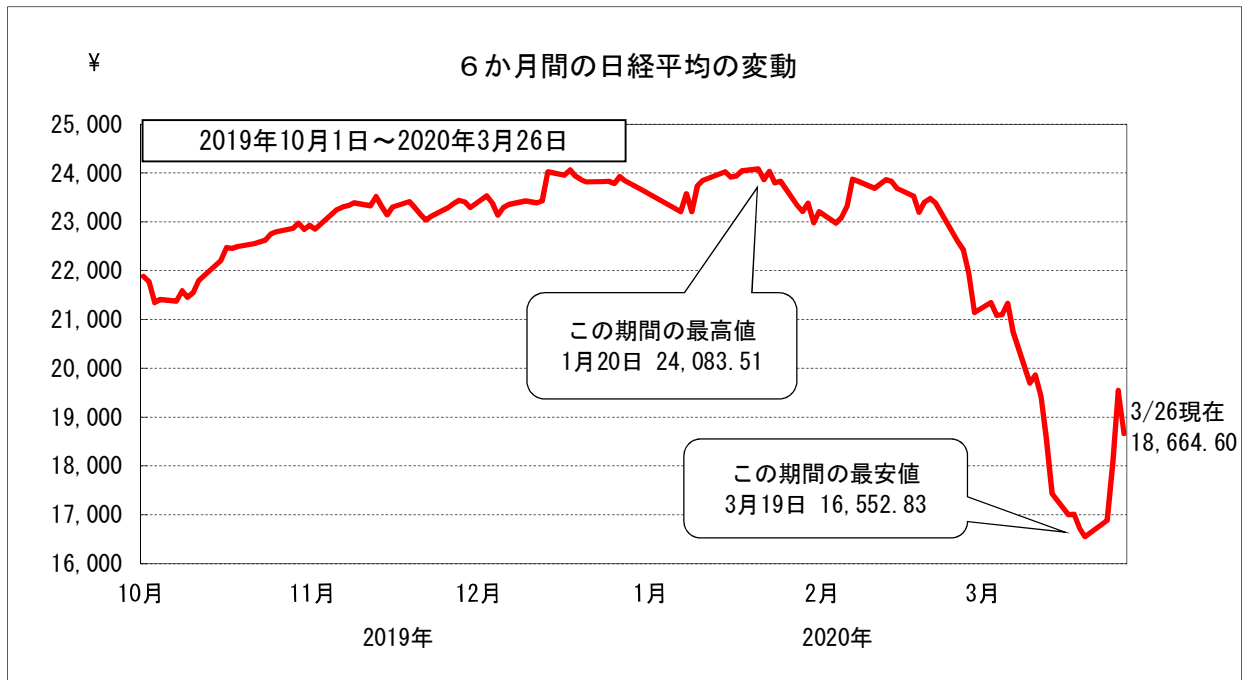
資料出所：日本銀行福岡支店「九州・沖縄地銀・第二地銀貸出約定平均金利」



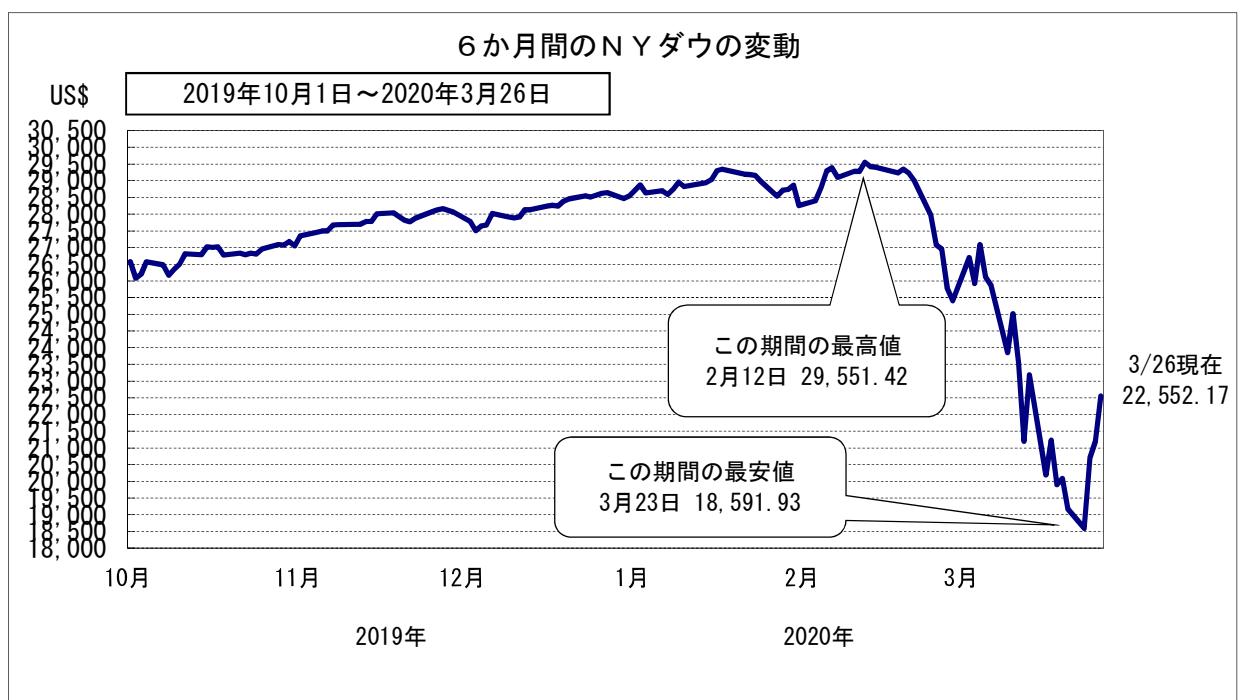
# 金融

## 4 株価の変動

(1) 株式相場（日経平均株価）は、このところ16,500～19,500円台で推移している。



※終値ベース



※終値ベース

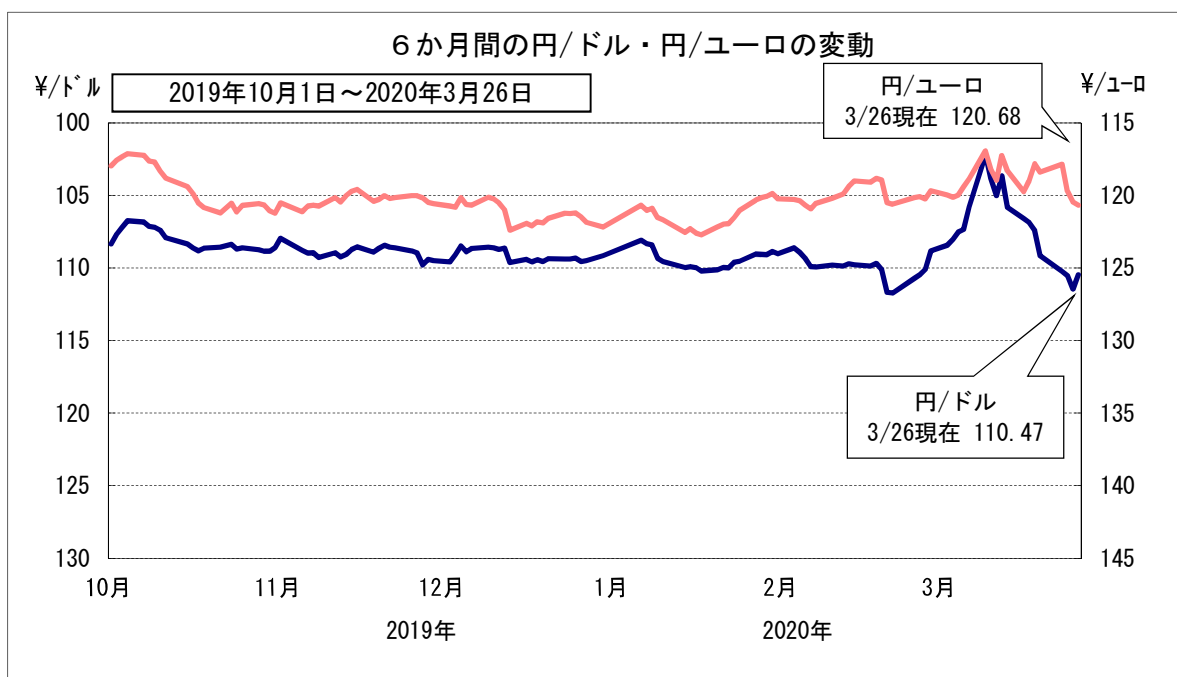
## 金融

### 5 為替の変動

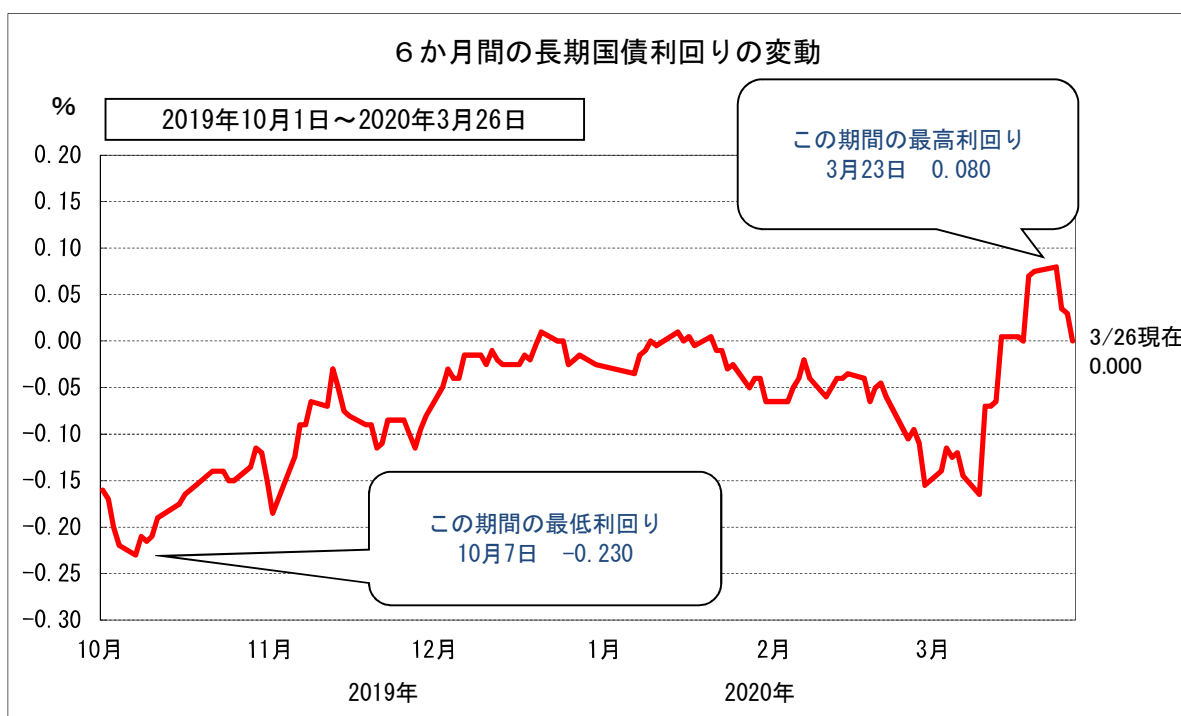
(1) 対米ドル円相場は、このところ107～111円台で推移している。

### 6 長期国債利回りの変動

(1) 長期金利は、このところ0.0～0.1%の間で推移している。



※東京外為市場の買値終値ベース



新発10年国債利回り  
日本相互証券

## 景気動向指数

### 1 福岡県の景気動向指数(CI) (2020年1月)

先行指数	123.0	(前月と比較して	6.4ポイント減少。)
一致指数	101.3	(前月と比較して	1.5ポイント減少。)
遅行指数	106.5	(前月と比較して	1.0ポイント上昇。)

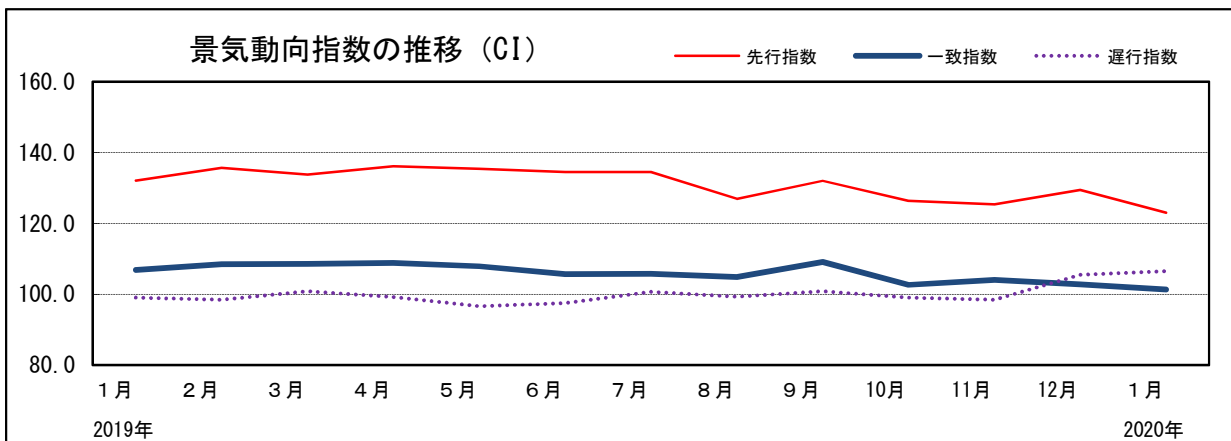
#### 福岡県

		先行指数	一致指数	遅行指数
2019年	1月	132.1	106.8	99.0
	2月	135.7	108.5	98.4
	3月	133.8	108.6	100.8
	4月	136.1	108.8	99.2
	5月	135.4	107.9	96.6
	6月	134.5	105.6	97.5
	7月	134.5	105.7	100.7
	8月	126.9	104.9	99.3
	9月	132.0	109.1	100.8
	10月	126.3	102.6	99.0
	11月	125.4	104.0	98.4
	12月	129.4	102.8	105.5
2020年	1月	123.0	101.3	106.5

#### 全国

		先行指数	一致指数	遅行指数
2019年	1月	96.3	100.5	104.8
	2月	96.7	101.6	104.6
	3月	96.1	101.0	104.7
	4月	96.1	101.7	104.7
	5月	95.1	102.4	104.6
	6月	93.7	99.3	104.6
	7月	93.6	99.5	104.7
	8月	92.2	98.9	104.5
	9月	92.2	100.7	104.2
	10月	91.4	96.1	103.5
	11月	90.6	95.2	103.6
	12月	90.9	94.4	103.7
2020年	1月	90.5	95.2	103.7

資料出所：福岡県調査統計課、内閣府「景気動向指数(CI)」



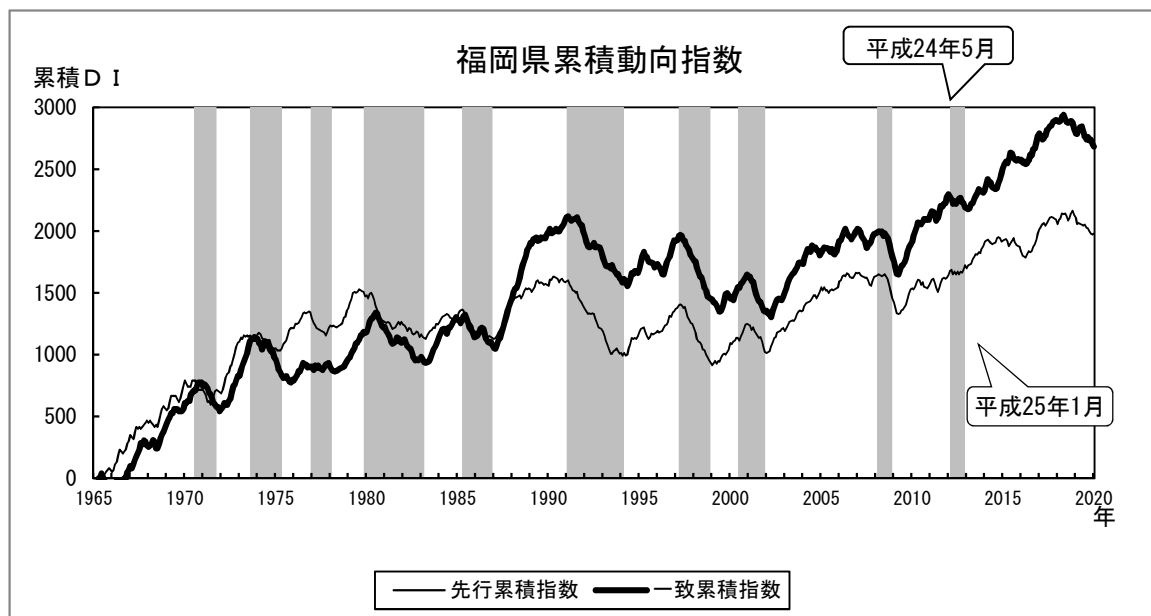
#### ○ 各指標の寄与度

	プラスの指標	寄与度	マイナスの指標	寄与度
先行系列	新設住宅着工床面積	1.13	最終需要在庫率指数	-3.35
	輸入通関実績	0.41	新規求人数	-3.03
			生産財生産指数	-0.65
			日経商品指数	-0.49
			乗用車新車登録台数	-0.44
一致系列	スーパー販売額	0.22	有効求人倍率	-0.78
	鉱工業生産指数<総合>	0.09	所定外労働時間<製造業>	-0.58
	鉱工業出荷指数<総合>	0.04	単位労働コスト<製造業>	-0.39
			輸出通関実績	-0.07
遅行系列	常用雇用指数<全産業>	2.44	鉱工業在庫指数<総合>	-1.83
	地銀貸出約定平均金利	0.95	消費者物価指数(福岡市)	-0.62
	勤労者世帯消費支出(福岡市)	0.32	法人事業税調停額	-0.48
	雇用保険受給者実人員	0.20		

寄与度0の指標は、便宜上プラスの指標に掲載している。

## 景気動向指数

### 2 (参考) 福岡県の累積動向指数 (DI) (1965年4月～2020年1月)



資料出所：福岡県調査統計課

#### (参考) 累積景気動向指数 (累積DI)

毎月公表している景気動向指数の月々の値を累積したものが累積景気動向指数 (累積DI) です。累積 (DI) はある基準年月 (1965年4月) を0とし、次式により月々累積して求めています。

$$\text{累積DI (当該月分)} = \text{前月の累積DI} + (\text{当該月のDI} - 50)$$

累積DIは、基調的な動きをわかりやすく、視覚的にとらえやすいという利点をもっています。なお、グラフのシャドウ部分は、景気の後退期をあらわしています。

#### 福岡県の景気基準日付 (景気の山、景気の谷)

谷	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
	昭和45年10月	昭和46年12月		14か月	
昭和46年12月	昭和48年11月	昭和50年7月	24か月	20か月	44か月
昭和50年7月	昭和52年3月	昭和53年4月	20か月	13か月	33か月
昭和53年4月	昭和55年2月	昭和58年5月	22か月	39か月	61か月
昭和58年5月	昭和60年7月	昭和62年2月	26か月	19か月	45か月
昭和62年2月	平成3年4月	平成6年5月	50か月	37か月	87か月
平成6年5月	平成9年6月	平成11年2月	37か月	20か月	57か月
平成11年2月	平成12年9月	平成14年2月	19か月	17か月	36か月
平成14年2月	平成20年5月	平成21年2月	75か月	9か月	84か月
平成21年2月	平成24年5月	平成25年1月	39か月	8か月	47か月

#### (参考) 景気基準日付

景気の拡張局面と景気の後退局面を分ける景気の転換点のことであり、景気動向指数の一致指数から作成されるヒストリカルDI (HDI) が50%を超える、もしくは切るときが景気の拡張局面と後退局面を分ける転換点となります。HDIが50%ラインを上から下に切るときが景気の「山」、下から上に切るときが景気の「谷」といわれています。

※HDI：通常使用している一致指数から不規則変動を除去したもの

地域経済動向の変遷

	2019年5月	2019年8月	2019年11月	2020年3月
北海道	↑ 緩やかに回復している	↓ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱い動きがみられる
東北	↓ 弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
北関東	↓ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
南関東	↓ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
甲信越	↓ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
東海	→ 緩やかに回復している	→ 緩やかに回復している	→ 緩やかに回復している	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
北陸	↓ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
近畿	↓ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↑ 緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
中国	↓ 弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↑ 緩やかな回復基調が続いている	↓ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
四国	↓ 弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↑ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	→ 一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
九州	→ 緩やかに回復している	↓ 緩やかな回復基調が続いている	↑ 緩やかに回復している	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる
沖縄	→ 着実に回復している	→ 着実に回復している	→ 着実に回復している	↓ 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱い動きがみられる

※ ↑ 上方修正 → 変更なし ↓ 下方修正

資料出所：内閣府「地域経済動向」

月例経済報告の変遷

	2020年	
	2月	3月
基 調 判 断	<p>景気は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、<u>当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、通商問題を巡る動向等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響にも留意する必要がある。</u></p>	<p>景気は、<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。</u></p> <p>先行きについては、<u>感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>
個 人 消 費	持ち直している。	<u>感染症の影響により、このところ弱い動きとなっている。</u>
設 備 投 資	<u>緩やかな増加傾向にあるものの、一部に弱さがみられる。</u>	<u>おおむね横ばいとなっている。</u>
住 宅 建 設	弱含んでいる。	弱含んでいる。
公 共 投 資	堅調に推移している。	底堅く推移している。
輸 出 入	輸出は、弱含んでいる。 輸入は、 <u>このところ弱含んでいる。</u>	輸出は、弱含んでいる。 輸入は、 <u>感染症の影響により、このところ減少している。</u>
国 際 収 支	貿易・サービス収支は、黒字となっている。	貿易・サービス収支は、黒字となっている。
生 産	引き続き弱含んでいる。	引き続き弱含んでいる。
企 業 の 向	企業収益は、 <u>高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでいる。企業の業況判断は、製造業を中心に引き続き慎重さが増している。</u>	企業収益は、 <u>製造業を中心に弱含んでいる。企業の業況判断は、感染症の影響により、悪化している。</u>
倒 産 件 数	このところ増加がみられる。	このところ増加がみられる。
雇 用 情 勢	改善している。	改善してきたが、 <u>感染症の影響がみられる。</u>
政 策 態 度	<p>政府は、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年（2016年）熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。</p> <p>このため、「経済財政運営と改革の基本方針2019」、「成長戦略実行計画」等に基づき、潜在成長率の引上げによる成長力の強化に取り組むとともに、成長と分配の好循環の拡大を目指す。さらに、誰もが活躍でき、安心して暮らせる社会づくりのため、全世代型社会保障を実現する。また、消費税率引上げ後の経済動向を引き続き注視するとともに、<u>臨時・特別の措置を含む令和元年度予算を着実に執行する。</u></p> <p>また、<u>新型コロナウイルス感染症に対しては、「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」（2月13日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）を速やかに実行するとともに、引き続き経済への影響を十分注視し、政府として対応に万全を期す。</u></p> <p><u>相次ぐ自然災害からの復旧・復興の取組を加速しつつ、こうした海外発の下方リスクを確実に乗り越え、民需主導の持続的な経済成長を実現していくため、「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」及びそれを具体化する令和元年度補正予算を迅速かつ着実に実行するとともに、令和2年度予算及び関連法案の早期成立に努める。</u></p> <p>日本銀行には、<u>経済・物価・金融情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。</u></p>	<p>政府は、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年（2016年）熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。</p> <p>このため、「経済財政運営と改革の基本方針2019」、「成長戦略実行計画」等に基づき、潜在成長率の引上げによる成長力の強化に取り組むとともに、成長と分配の好循環の拡大を目指す。さらに、誰もが活躍でき、安心して暮らせる社会づくりのため、全世代型社会保障を実現する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対しては、<u>感染拡大防止に加えて、事業の継続と雇用の維持、生活の下支えを当面最優先に全力で取り組む観点から、「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策—第2弾—」（3月10日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）等を速やかに実行する。</u></p> <p>さらに、「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」及びそれを具体化する令和元年度補正予算を迅速かつ着実に実行するとともに、令和2年度予算及び関連法案の早期成立に努める。今後も、<u>新型コロナウイルス感染症による内外経済や国民生活への影響を注意深く見極めながら、機動的に、必要かつ十分な経済財政政策を躊躇なく行うこととし、日本経済を確かな成長軌道へと戻すための思い切った措置を講じていく。</u></p> <p>日本銀行は、<u>3月16日、企業金融の円滑確保に万全を期すとともに、金融市場の安定を維持する観点から、金融緩和の強化を決定した。日本銀行には、経済・物価・金融情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。</u></p>

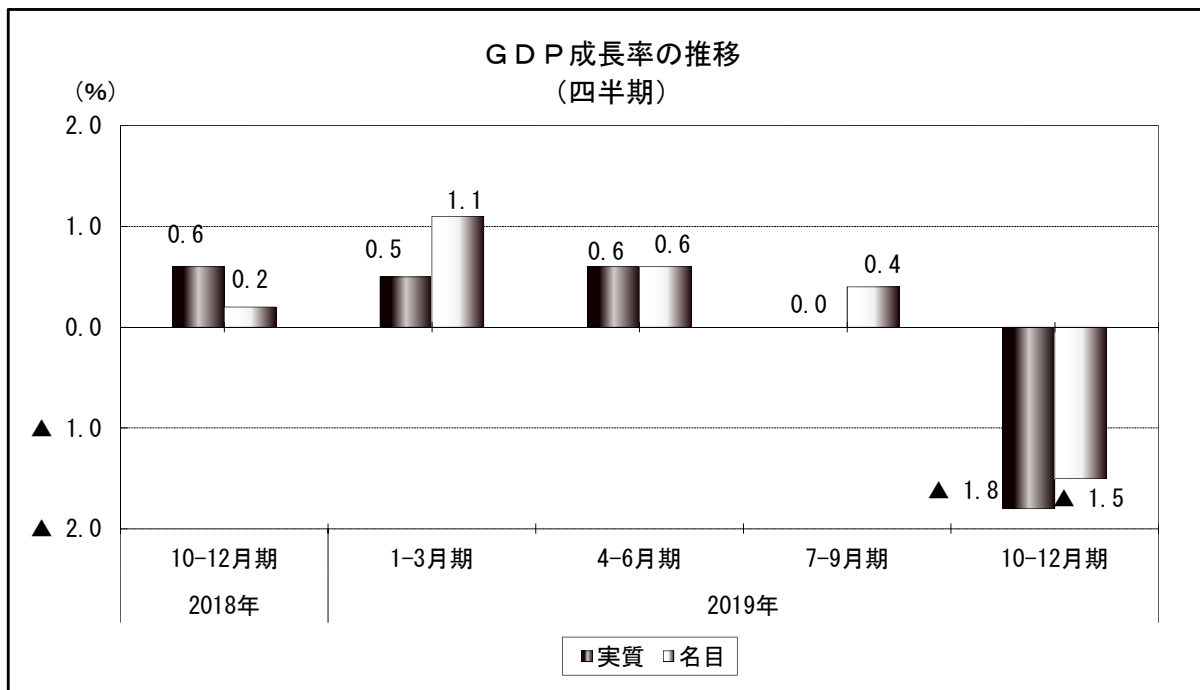
(備考) 下線部は、先月から変更した部分。



○2019年10～12月期四半期別GDP速報（2次速報値）

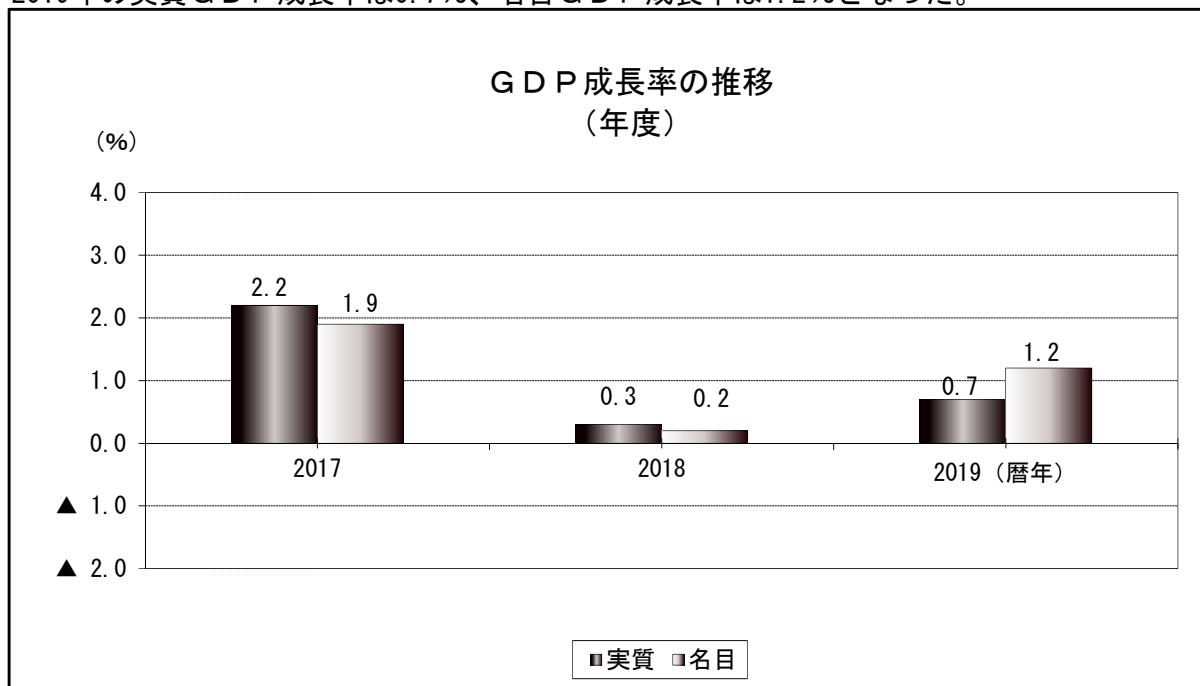
・ GDP成長率（季節調整済前期比）

2019年10～12月期の実質GDP（国内総生産・2011暦年連鎖価格）の成長率は、▲1.8%（年率▲7.1%）となった。また、名目GDPの成長率は、▲1.5%（年率▲5.8%）となった。



・ 2019年のGDP

2019年の実質GDP成長率は0.7%、名目GDP成長率は1.2%となった。



## ○2020年度の政府経済見通し（主要経済指標）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比増減率										
	(実績)	(実績見込み)	(見通し)	平成30年度		令和元年度		令和2年度						
	兆円 (名目)	兆円程度 (名目)	兆円程度 (名目)	% (名目)	% (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)					
国内総生産	548.4	558.3	570.2	0.1	0.3	1.8	0.9	2.1	1.4					
民間最終消費支出	304.7	308.5	314.2	0.5	0.1	1.2	0.6	1.8	1.0					
民間住宅	16.5	17.0	16.9	▲ 3.4	▲ 4.9	2.9	1.5	▲ 0.3	▲ 1.9					
民間企業設備	88.0	90.3	93.2	2.5	1.7	2.6	2.2	3.2	2.7					
民間在庫変動 ( )内は寄与度	1.5	1.7	1.9	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.0)					
政府支出	136.8	140.1	143.6	1.3	0.8	2.5	1.6	2.5	1.8					
政府最終消費支出	108.5	110.4	112.3	1.0	0.9	1.8	1.3	1.7	1.3					
公的固定資本形成	28.2	29.7	31.3	2.4	0.6	5.2	3.6	5.3	3.9					
財貨・サービスの輸出	100.6	96.4	99.1	2.3	1.6	▲ 4.2	▲ 1.2	2.8	2.4					
(控除)財貨・サービスの輸入	99.7	95.7	98.8	6.8	2.2	▲ 4.0	0.3	3.2	3.1					
内需寄与度				0.9	0.4	1.8	1.2	2.2	1.5					
民需寄与度				0.6	0.2	1.2	0.8	1.6	1.0					
公需寄与度				0.3	0.2	0.6	0.4	0.6	0.5					
外需寄与度				▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1					
国民所得	404.3	408.1	415.2	0.8			1.0							
雇用者報酬	284.7	289.3	293.8	3.0			1.6			1.6				
財産所得	27.0	27.4	28.1	5.9			1.3			2.7				
企業所得	92.5	91.5	93.3	▲ 6.6			▲ 1.1			2.0				
国民総所得	568.4	580.1	592.0	0.3	▲ 0.2	2.1	1.4	2.0	1.3					
労働・雇用	万人	万人程度	万人程度	%程度		%程度		%程度						
労働力人口	6,847	6,891	6,901	1.4		0.6		0.2						
就業者数	6,681	6,730	6,744	1.8		0.7		0.2						
雇用者数	5,955	6,015	6,048	1.8		1.0		0.6						
完全失業率	%	%程度	%程度											
	2.4	2.3	2.3											
生産	%	%程度	%程度											
鉱工業生産指数・増減率	0.3	▲ 1.7	2.1											
物価	%	%程度	%程度											
国内企業物価指数・変化率	2.2	0.3	1.0											
消費者物価指数・変化率	0.7	0.6	0.8											
GDPデフレーター・変化率	▲ 0.2	0.9	0.8											
国際収支	兆円	兆円程度	兆円程度	%	%程度		%程度							
貿易・サービス収支	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.4											
貿易収支	0.7	0.3	▲ 0.5											
輸出	80.3	75.9	78.0							2.6	▲ 5.5		2.7	
輸入	79.6	75.6	78.4							8.0	▲ 5.0		3.7	
経常収支	19.2	19.5	18.9											
経常収支対名目GDP比	%	%程度	%程度											
	3.5	3.5	3.3											

(注1) 消費者物価指数は総合である。

(注2) 令和元年10月に実施された消費税率引上げの物価上昇率への影響を機械的に試算すると、令和元年度、令和2年度ともに、消費者物価(総合)では0.5%ポイント程度、GDPデフレーターでは0.4%ポイント程度と見込まれる。また、消費税率引上げに伴い実施される教育無償化による消費者物価(総合)への影響を機械的に試算すると、幼児教育・保育無償化は令和元年度、令和2年度ともに▲0.3%ポイント程度、高等教育無償化は令和2年度に▲0.1%ポイント程度と見込まれる。

(注3) 世界GDP(日本を除く。)、円相場、原油輸入価格については、以下の前提を置いている。なお、これらは、作業のための想定であって、政府としての予測あるいは見通しを示すものではない。

	平成30年度 (実績)	令和元年度	令和2年度
世界GDP(日本を除く。)の 実質成長率(%)	3.3	2.9	2.9
円相場(円/ドル)	110.9	108.7	108.9
原油輸入価格(ドル/バレル)	72.0	67.1	65.6

(備考)

1. 世界GDP(日本を除く。)の実質成長率は、国際機関等の経済見通しを基に算出。

2. 円相場は、令和元年11月1日～11月30日の期間の平均値(108.9円/ドル)で同年12月以降一定と想定。

3. 原油輸入価格は、令和元年11月1日～11月30日の期間のスポット価格の平均値に運賃、保険料を付加した値(65.6ドル/バレル)で同年12月以降一定と想定。

資料：内閣府「令和2年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度（令和2年1月20日閣議決定）」

○ 海外主要国の経済成長率の見通し

○ IMFの世界経済見通し（2020年1月20日発表）

	2019年推計	2020年予測	2021年予測
日本	1.0	0.7	0.5
米国	2.3	2.0	1.7
ユーロ圏	1.2	1.3	1.4
中国	6.1	6.0	5.8
世界計	2.9	3.3	3.4

注) 単位：％、実質GDP成長率の前年比。

○ OECDの世界経済見通し（2020年3月2日発表）

	2019年予測	2020年予測	2021年予測
日本	0.7	0.2	0.7
アメリカ	2.3	1.9	2.1
ユーロ圏	1.2	0.8	1.2
世界計	2.9	2.4	3.3

注) 単位：％、実質GDP成長率の前年比

○ アジア開発銀行のアジア大洋州主要国・地域別の経済成長見通し  
(2019年12月11日発表)

	2019年予測	2020年予測
地域全体	5.2	5.2
中国	6.1	5.8
香港	-1.2	0.3
韓国	2.0	2.3
台湾	2.2	2.0
インド	5.1	6.5
インドネシア	5.1	5.2
マレーシア	4.5	4.7
フィリピン	6.0	6.2
シンガポール	0.6	1.2
タイ	2.6	3.0
ベトナム	6.9	6.8

注) 単位：％、実質GDPの前年比伸び率

○ 日銀の経済見通し

(2020年1月21日公表「経済・物価情勢の展望」)

—対前年度比、％。なお、<>内は政策委員見通しの中央値。

	2019年度		2020年度		2021年度	
	10月時点		10月時点		10月時点	
実質GDP 大勢見通し	+0.8~+0.9	+0.6~+0.7	+0.8~+1.1	+0.6~+0.9	+1.0~+1.3	+0.9~+1.2
	< +0.8 >	< +0.6 >	< +0.9 >	< +0.7 >	< +1.1 >	< +1.0 >

注1) 「大勢見通し」は、各政策委員が最も蓋然性の高いと考える見通しの数値について、最大値と最小値を1個ずつ除いて、幅で示したものであり、その幅は、予測誤差などを踏まえた見通しの上限・下限を意味しない。

2) 各政策委員は、既に決定した政策を前提として、また先行きの政策運営については市場の織り込みを参考にして、上記の見通しを作成している。

3) 教育無償化政策については、高等教育無償化等が2020年4月に導入されることを前提としている。なお、2019年10月に実施された消費税率引き上げの2019年度と2020年度の消費者物価への直接的な影響を、10~11月の実績値を踏まえて計算すると、それぞれ+0.5ポイントとなる。また、教育無償化政策の2019年度と2020年度の消費者物価への直接的な影響を一定の仮定に基づき計算すると、それぞれ-0.3ポイント、-0.4ポイント程度となる。

主要経済指標の国際比較(1)

国・地域名	実質GDP成長率(%)				鉱工業生産(%)				失業率(%)				備考				
	人口(万人)		名目GDP(10億ドル)		1人当たりGDP(1,000ドル)		19年		20年		2018年			2019年			
	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年	2018年		2018年	2018年		
日本	12,650	4,972	39.3	0.3	0.7	0.1	▲ 7.1	▲ 2.9	1.2	1.0	2.4	2.2	2.4	2.4	20年	2月	
アメリカ	32,735	20,580	62.9	2.9	2.3	2.1	2.1	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.5	3.9	3.5	3.7	3.6	3.5	3.5	
カナダ	3,699	1,712	46.3	2.0	1.6	1.1	0.3	▲ 1.1	0.5		5.8	5.7	5.6	5.5	5.6		
ユーロ圏	34,115	13,639	40.0	1.9	1.2	1.2	0.5	▲ 1.5	▲ 1.8	2.3	8.2	7.6	7.4	7.4			ILO基準
ドイツ	8,290	3,951	47.7	1.5	0.6	0.8	0.1	▲ 4.7	▲ 2.0	2.7	3.4	3.2	3.2	3.2			
フランス	6,473	2,780	43.0	1.7	1.3	1.1	▲ 0.2	0.3	▲ 2.5	1.2	9.0	8.5	8.2	8.2			
イタリア	6,048	2,076	34.3	0.7	0.3	0.2	▲ 1.2	▲ 1.4	▲ 2.6	3.7	10.6	10.0	9.8	9.8			
スペイン	4,645	1,428	30.7	2.4	2.0	1.6	2.1	0.3	▲ 1.3	0.2	15.3	14.1	13.7	13.7			
英国	6,644	2,829	42.6	1.3	1.4	2.0	0.1	▲ 1.3	0.1	▲ 0.1	4.1	3.8	3.8	3.9			後方3か月平均
スイス	848	706	83.2	2.7	0.9	1.7	1.3	5.5	4.6	-	2.6	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	
ロシア	14,680	1,657	11.3	2.5	1.3	1.7		3.5	2.3	1.1	6.5	6.5	4.6	4.7	4.6		
オーストラリア	2,517	1,420	56.4	2.7	1.8	0.6	0.5	3.8	2.5	-	5.3	5.2	5.1	5.3	5.1	5.1	
中国	139,538	13,368	9.6	6.7	6.1	6.0	6.0	6.2	5.7	-	3.8	3.6	-	-	-	-	期末値
韓国	5,164	1,720	33.3	2.7	2.0	1.7	5.1	1.5	▲ 0.0	▲ 1.3	3.8	3.8	3.7	4.0	3.3	3.3	
台湾	2,359	590	25.0	2.7	2.7	3.0	3.3	3.6	▲ 0.3	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	
香港	749	363	48.5	2.9	▲ 1.2	▲ 11.4	▲ 1.3	1.3	-	-	2.8	2.9	3.3	3.4	3.7	3.7	
シンガポール	564	364	64.6	3.4	0.7	2.2	0.6	7.0	▲ 1.5	18.2	2.1	2.3	-	-	-	-	四半期のみ
インドネシア	26,416	1,022	3.9	5.2	5.0	5.0	5.0	4.4	4.1	▲ 0.8	5.3	5.3	-	-	-	-	四半期のみ
マレーシア	3,239	359	11.1	4.7	4.3	4.4	3.6	3.1	2.3	▲ 0.0	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	
フィリピン	10,660	331	3.1	6.2	5.9	8.0	9.2	8.2	▲ 7.0	▲ 6.3	5.3	5.1	-	-	-	-	四半期のみ
タイ	6,779	505	7.4	4.2	2.4	0.6	1.0	3.7	▲ 3.6	▲ 4.6	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	原数値
ベトナム	9,458	241	2.6	7.1	7.0	7.0	7.0	10.2	9.1	▲ 5.5	2.2	2.2	-	-	-	-	四半期のみ
インド	133,422	2,719	2.0	6.1	5.1	4.7		3.8	0.1	2.0	-	-	-	-	-	-	
ブラジル	20,850	1,868	9.0	1.3	1.1	1.2	1.7	1.0	▲ 1.1	▲ 0.9	-	-	-	-	-	-	原数値
メキシコ	12,474	1,222	9.8	2.1	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.5	0.5	▲ 1.8	▲ 1.6	3.3	3.5	2.9	3.8	3.8	3.8	原数値
アルゼンチン	4,456	519	11.7	▲ 2.5		▲ 1.7		▲ 4.6	▲ 6.2	1.3	9.2	-	-	-	-	-	四半期のみ
トルコ	8,200	771	9.4	2.8		1.0	6.0	1.6	▲ 0.7	7.2	11.0	13.7	13.1	-	-	-	原数値
サウジアラビア	3,341	787	23.5	2.4		▲ 0.5		-	-	-	6.0	-	-	-	-	-	四半期のみ
南アフリカ	5,794	368	6.4	0.8	0.1	3.1	▲ 1.2	▲ 0.4	1.1	▲ 2.1	27.1	28.7	-	-	-	-	暦年のみ

(備考)1. 各国統計より作成。人口、名目GDP、1人当たりGDPについてはIMF、ユーロスタットより作成。

2. インデックスは年度(4月~3月)の数値。

3. GDP、鉱工業生産の前月(期)比、失業率は特に断りのない限り季節調整値。

(出所)内閣府「月例経済報告主要経済指標」

主要経済指標の国際比較(2)

(参考)国際機関の実質GDP見通し(%)

国・地域名	消費者物価(前年比%)										一般政府財政収支(名目GDP比%)		一般政府債務残高(名目GDP比%)		経常収支(名目GDP比%)		IMF, 2019年10月		OECD, 2019年11月	
	2018年		19年			20年		2017年	2018年	2017年	2018年	2017年	2018年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	
	4-6月	7-9月	10-12月	12月	1月	2月	(▲3.6)	(▲3.7)	(188.9)	(191.8)	▲3.2	▲3.2	▲3.2	▲3.2	*1.0	*0.7	*1.0	*0.2		
日本	1.0	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.7	0.4	▲3.2	▲3.2	235.0	237.1	2.4	3.5	*1.0	*0.7	*1.0	*0.2		
アメリカ	2.4	1.8	1.7	1.7	2.1	2.3	2.5	2.3	▲3.8	▲4.3	106.2	105.8	▲2.3	▲2.3	*2.3	*2.0	*2.3	*1.9		
カナダ	2.3	1.9	2.1	1.9	2.1	2.2	2.4	2.2	▲3.3	▲3.4	90.1	90.6	▲2.8	▲2.6	*1.5	*1.8	*1.6	*1.3		
ユーロ圏	1.7	1.2	1.4	1.0	1.0	1.3	1.4	1.2	▲1.0	▲0.6	86.8	85.0	3.2	2.9	*1.2	*1.3	*1.2	*0.8		
ドイツ	1.8	1.4	1.6	1.5	1.2	1.5	1.7	1.7	1.0	1.7	63.9	59.8	8.0	7.4	*0.5	*1.1	*0.6	*0.3		
フランス	1.8	1.1	1.0	1.0	1.1	1.5	1.5	1.4	▲2.7	▲2.6	98.5	98.6	▲0.6	▲0.7	*1.3	*1.3	*1.3	*0.9		
イタリア	1.2	0.6	0.8	0.4	0.3	0.5	0.2	0.2	▲2.4	▲2.1	131.3	132.1	2.8	2.6	*0.2	*0.5	*0.2	*0.0		
スペイン	1.7	0.7	0.9	0.3	0.4	0.8	1.1	0.7	▲3.1	▲2.7	98.1	97.0	1.8	0.8	*2.0	*1.6	2.0	1.6		
英国	2.5	1.8	2.0	1.8	1.4	1.3	1.8		▲1.8	▲1.4	87.1	86.9	▲3.3	▲3.9	*1.3	*1.3	*1.4	*0.8		
スイス	0.9	0.4	0.6	0.3	▲0.1	0.2	▲0.1	▲0.1	0.4	0.3	41.8	40.5	6.7	9.8	0.8	1.3	0.8	1.4		
ロシア	2.9	4.5	5.0	4.3	3.4	3.0	2.4	2.3	▲1.5	2.8	15.5	14.0	2.1	7.0	*1.1	*1.9	*1.0	*1.2		
オーストラリア	1.9	1.6	1.6	1.7	1.8		-	-	▲1.5	▲1.2	40.7	40.7	▲2.6	▲2.1	1.7	2.3	*1.7	*1.8		
中国	2.1	2.9	2.6	2.9	4.3	4.5	5.4	5.2	▲3.9	▲4.8	46.8	50.5	1.4	0.4	*6.1	*6.0	*6.1	*4.9		
韓国	1.5	0.4	0.7	0.0	0.3	0.7	1.5	1.1	2.3	2.8	39.8	40.7	4.9	4.7	2.0	2.2	*2.0	*2.0		
台湾	1.3	0.6	0.8	0.4	0.7	1.1	1.9	▲0.2	▲2.0	▲1.9	35.5	35.0	14.4	11.6	2.0	1.9	-	-		
香港	2.4	2.9	3.0	3.3	3.0	2.9	1.4	2.2	5.5	2.0	0.1	0.1	4.6	3.5	0.3	1.5	-	-		
シンガポール	0.4	0.6	0.8	0.4	0.6	0.8	0.8	0.3	5.8	4.0	106.9	108.3	16.0	17.7	0.5	1.0	-	-		
インドネシア	3.2	2.8	2.9	3.0	2.7	2.6	2.7	3.0	▲2.5	▲1.8	28.9	29.2	▲1.6	▲3.0	5.0	5.1	*5.0	*4.8		
マレーシア	1.0	0.7	0.6	1.3	1.0	1.0	1.6		▲2.4	▲3.6	55.2	56.2	3.0	2.3	4.5	4.4	-	-		
フィリピン	5.2	2.5	3.0	1.7	1.5	2.5	2.9	2.6	▲0.4	▲1.0	39.9	39.6	▲0.7	▲2.6	5.7	6.2	-	-		
タイ	1.1	0.7	1.1	0.6	0.4	0.9	1.1	0.7	▲0.9	▲0.3	41.9	42.1	11.0	7.7	2.9	3.0	-	-		
ベトナム	3.5	2.8	2.7	2.2	3.7	5.2	6.4	5.4	▲4.8	▲4.6	58.2	57.5	3.0	3.0	6.5	6.5	-	-		
インド	3.4		3.1	3.5	5.8	7.4	7.6	6.6	▲7.0	▲6.7	69.8	69.8	▲1.8	▲2.5	*4.8	*5.8	*4.9	*5.1		
ブラジル	3.7	3.7	4.3	3.2	3.4	4.3	4.2	4.0	▲7.9	▲6.8	84.1	87.9	▲0.4	▲0.8	*1.2	*2.2	*1.1	*1.7		
メキシコ	4.9	3.6	4.2	3.3	2.9	2.8	3.2	3.7	▲1.1	▲2.3	54.0	53.6	▲1.7	▲1.8	*0.0	*1.0	*▲0.1	*0.7		
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-	53.8	52.9	▲6.7	▲5.2	57.1	86.3	▲4.9	▲5.4	▲3.1	▲1.3	*▲2.7	*▲2.0		
トルコ	16.3	15.2	18.0	13.5	10.3	11.8	12.2	12.4	▲2.3	▲3.6	28.3	29.1	▲5.6	▲3.6	0.2	3.0	*0.9	*2.7		
サウジアラビア	2.5	▲1.2	▲1.6	▲1.1	▲0.0	0.3	0.4		▲0.4	1.1	17.2	19.1	1.4	8.3	*0.2	*1.9	*0.0	*1.4		
南アフリカ	5.3	4.7	5.0	4.9	4.2	4.0	4.5	4.6	▲4.4	▲4.4	53.0	56.7	▲2.4	▲3.4	*0.4	*0.8	*0.3	*0.6		
世界															*2.9	*3.3	*2.9	*2.4		

(出所)IMF "World Economic Outlook" (19年10月)

(\*)は20年1月にアップデートされた数字

OECD "Economic Outlook 106" (19年11月)

(\*)は20年3月にアップデートされた数字

(備考) 1. 各国統計より作成。ただし、一般政府財政収支、一般政府債務残高、経常収支については特に断りのない限りIMFより作成。

2. 日本の財政収支及び債務残高のカッコ内は、国・地方合計の年度(4月~3月)の値。内閣府より作成。

3. インドは年度(4月~3月)の数値。

(出所)内閣府「月例経済報告主要経済指標」

「県内経済の動向」データ一覧

			入手先
生産	(1～6)	鉱工業指数	県：調査統計課「鉱工業指数」 全国：経済産業省「生産・出荷・在庫指数確報」
	(8, 9)		
	(7)	四輪自動車生産台数(九州)	九州経済産業局
	(10)	所定外労働時間(製造業)	県：調査統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」 全国：厚生労働省「毎月勤労統計調査」
貿易	(1～6)	通関データ	門司税関、長崎税関「貿易統計」
設備投資	(1)	法人企業景気予測調査	財務省福岡財務支局調査結果
	(2)	建築着工	国土交通省「建築着工統計調査」
	(3)	企業短期経済観測調査(九州・沖縄)	日本銀行福岡支店調査結果
	(4)	九州地域設備投資動向	日本政策投資銀行調査結果
企業景況	(1)	法人企業景気予測調査	財務省福岡財務支局調査結果
	(2)	中小企業景況調査	中小企業基盤整備機構調査結果
	(3)	福岡県中小企業動向調査(小企業編)	日本政策金融公庫福岡支店調査結果
	(4)	九州の経営動向調査	(株)西日本シティ銀行調査結果
	(5)	企業短期経済観測調査(九州・沖縄)	日本銀行福岡支店調査結果
企業収益	(1)	企業短期経済観測調査(九州・沖縄)	日本銀行福岡支店調査結果
企業倒産	(1, 2)	倒産データ	東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業倒産状況(負債1,000万円以上)」
消費	(1)	二人以上世帯消費支出(除く自動車等購入等)	総務省「家計調査」
	(2)	二人以上世帯サービス支出額(九州)	
	(3)	小売業販売額(全国・九州)	
	(4)	百貨店販売額	
	(5)	スーパー販売額	経済産業省「商業動態統計」
	(6)	コンビニエンス・ストア及び専門量販店販売額(九州・沖縄、福岡県)	
	(7, 8)	新車登録台数	普通車・小型車：福岡県自動車販売店協会 軽自動車：福岡県軽自動車協会
	(9)	延べ宿泊者数	観光庁「宿泊旅行統計調査」
	(10)	インターネットを利用した支出状況(九州・沖縄)	総務省「家計消費状況調査」
	雇用	(1)	求人・求職状況
(2)		きまって支給する給与	県：調査統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」
(3)		就業状態	総務省「労働力調査」
(4)		雇用保険被保険者数	厚生労働省福岡労働局「雇用失業情勢について」
住宅投資	(1, 2)	新設住宅着工戸数	国土交通省「建築着工統計調査」
公共投資	(1, 2)	公共工事請負額	西日本建設業保証株式会社
物価	(1)	消費者物価指数	県：調査統計課「消費者物価指数」 全国：総務省「消費者物価指数」
	(2)	企業物価指数	日本銀行「企業物価指数」
	(3)	原油価格とガソリン価格	資源エネルギー庁、日本経済新聞
金融	(1, 2)	預金・貸出金残高	日本銀行福岡支店、福岡県信用農業協同組合連合会
	(3)	金利(九州・沖縄地銀21行貸出約定平均金利)	日本銀行福岡支店「九州・沖縄地銀21行貸出約定平均金利」
	(4)	株価の変動	日本銀行ホームページ、財務省ホームページ、日本経済新聞
	(5, 6)	為替の変動・長期国債利回りの変動	
景気動向指数	(1, 2)	福岡県の景気動向指数	県：調査統計課 全国：内閣府「景気動向指数」
地域経済	(1)	地域経済動向の変遷	内閣府「地域経済動向」
日本経済	(1)	月例経済報告の変遷	内閣府「月例経済報告」
	(2)	GDP速報	内閣府総合社会経済研究所「四半期別GDP速報」
	(3)	政府経済見通し(主要経済指標)	内閣府
	(4)	海外主要国の経済成長見通し・日銀の経済見通し	日本銀行、経済協力開発機構、国際通貨基金、アジア開発銀行
海外経済	(1, 2)	主要経済指標の国際比較	内閣府「月例経済報告」

注)本資料における前月比、前年同月比、前年比、及び前期比は、それぞれ前月、前年同月等に対する増減比を表す。「▲」はマイナスを表す。



県内経済の動向  
－令和2年3月－

福岡県企画・地域振興部調査統計課

電話：（092）651－1111

（内線：2780，2784）

直通：（092）643－3190